

アニコム

# 家庭どうぶつ白書 2012

White Paper on Household Animals 2012



ペットはいません。家族ならいますが。



#### 「家庭どうぶつ」を英訳するにあたって

"How many people are in your family?"  
"I have 5 people and a dog in my household."

「ペット (pet)」という言葉には、支配者としての飼い主と被支配者としての動物という基本構造を伺わせるニュアンスがある。一方で、動物行動学者のマイケル・W・フォックス氏が『イヌの心がわかる本』(1979)で提唱したことがきっかけとなり、「コンパニオンアニマル (companion animal、伴侶動物)」として接しようという考え方も生まれた。この言葉には「家族」という意味合いが含まれている。日本では「ペットの家族化」を象徴するように「家庭動物」という言葉が登場し、動物の愛護および管理に関する法律でも使われるようになってきている。この名称はきわめて日本的であり英訳が困難であるのだが、本書では「家庭どうぶつ」を household animal と訳すことにした。

# アニコム「家庭どうぶつ白書2012」の発行にあたって

Introduction

## ～どうぶつと、もっと家族になる社会を目指して～

アニコムグループでは2010年より、「どうぶつ健保」の保険金支払い実績、独自に実施したアンケート調査の結果など、家庭どうぶつに関わるさまざまなデータを「家庭どうぶつ白書」として1冊にまとめ、年次発行させていただいております。これらは、家庭どうぶつと彼らを取り巻く環境を対象とした日本国内独自の疫学データとして、予防啓発、学術研究などさまざまなシーンでご活用いただけるようになりました。

今年度も、直近1年間の集積データを中心にまとめたアニコム「家庭どうぶつ白書2012（<http://www.anicom-page.com/hakusho/>よりダウンロード可能）」を発行させていただきます。

今年度の新しい試みとして、犬、猫の寿命（P.8）、賠償責任特約の支払い状況を基にした事故分析（P.10～11）、他犬種と比較した際の各犬種における疾患別リスク（P.28～44）、都道府県別の疾患罹患率（P.53～55）などを掲載いたしました。また、TOPICとして「予防とどうぶつ医療」の考察を行い、具体事例として「S T O P 誤飲プロジェクト（一部抜粋）」をご紹介します。これらは、長谷川篤彦先生（帝京大学医真菌研究センター）、杉浦勝明先生（東京大学）、林谷秀樹先生（東京農工大学）、松島雅人先生（東京慈恵会医科大学）、小林哲也先生（日本小動物がんセンター）、荒田明香先生（東京大学）、小林創太先生（動物衛生研究所）の貴重なご助言をいただき実現いたしました。改めて御礼申し上げます。

本書を、日頃からアニコム「どうぶつ健保」の運営に多大なるご協力をいただいている動物病院さま、ペットショップさま、代理店さま、パートナー企業さま、メディアさまに恩返しの気持ちを込めてお届けしたいと思います。そして、契約者さまを始め、より多くの方々とこれらのデータを共有していくことで、どうぶつとの暮らしに少しでも役に立ち、さらに世界の家庭どうぶつを取り巻く環境がよりよいものとなる、その一助となればと強く願っております。

We, at Anicom, issued the “White Paper on Household Animals 2012” in order to introduce to the public the new achievements concerning household animals and veterinary medicine.

Anicom is the leading animal health insurer in Japan and we provided various data base here which we could gather from our insurance claims experience and through our various surveys.

We hope that this White Paper will be utilized widely and could be of help to you and to the public to deepen the understanding about household animals in Japan. Your kind collaborations and comments would be most appreciated.

Sincerely,

アニコム「家庭どうぶつ白書」制作チーム一同

Anicom Holdings, Inc.

Team of “White Paper on Household Animals 2012” project



## 目次

	アニコム「家庭どうぶつ白書2012」の発行にあたって	1
<b>第1部</b>	<b>家庭どうぶつと家族</b>	<b>3</b>
<b>第1章</b>	<b>日本の家庭どうぶつ</b>	
1.	日本の犬・猫の頭数推移	4
2.	人気の品種と名前	5
3.	犬と猫の平均寿命	8
4.	マイクロチップ	9
5.	賠償責任特約事故	10
6.	家庭におけるケガや事故	12
<b>第2部</b>	<b>どうぶつ医療を取り巻く環境</b>	<b>13</b>
<b>第1章</b>	<b>医療提供体制</b>	
1.	保険制度の普及	14
2.	夜間救急の受診状況	15
<b>【トピック】</b>	<b>予防とどうぶつ医療</b>	
1.	予防は「よりよく生きる」ための手段	16
2.	予防の種類	
①	発症予防と重症化予防	16
②	遺伝要因と環境要因、それぞれに対する予防	17
3.	予防には分野間の連携が必要	18
事例紹介	アニコムSTOP誤飲プロジェクト	19
<b>第3部</b>	<b>どうぶつの疾患統計</b>	<b>21</b>
<b>第1章</b>	<b>疾患(大分類単位)別の統計</b>	
1.	犬	22
2.	猫	24
3.	鳥・うさぎ・フェレット	26
<b>第2章</b>	<b>品種別の統計</b>	
1.	ミニチュア・ダックスフンド…28 / 2.チワワ…29	
3.	トイ・プードル…30 / 4.柴…31	
5.	混血犬(10kg未満) …32 / 6.ヨークシャー・テリア…33	
7.	ポメラニアン…34 / 8.ウェルシュ・コーギー・ペンブローク…35	
9.	パピヨン…36 / 10.シー・ズー…37	
11.	ミニチュア・シュナウザー…38 / 12.フレンチ・ブルドッグ…39	
13.	ラブラドル・レトリバー…40	
14.	キャバリア・キング・チャールズ・スパニエル…41	
15.	ゴールデン・レトリバー…42 / 16.マルチーズ…43	
17.	パグ…44	
<b>第3章</b>	<b>疾患(小分類単位)別の統計</b>	
1.	犬と猫の保険金請求理由	45
2.	犬と猫の歯周病	46
3.	犬の甲状腺機能低下症	47
4.	犬と猫の糖尿病	48
5.	異物誤飲	50
6.	犬のリンパ腫	52
<b>第4章</b>	<b>都道府県別の統計</b>	
1.	犬の感染症	53
2.	犬の腫瘍疾患	54
3.	犬のアレルギー性皮膚炎(アトピー性皮膚炎を含む)	55
<b>参考資料</b>		
①	疾患(大分類単位)別罹患率(どうぶつ種別)	56
②	疾患(大分類単位)別罹患率(犬、品種別)	58
③	アニコム「どうぶつ健保」の契約頭数(犬、品種別、年齢別)	60
④	アニコム「どうぶつ健保」の契約頭数(どうぶつ種別、年齢別)	62
⑤	疾患(大分類単位)別のオッズ比(犬、品種別)	63
	傷病名一覧表	66
	あとがきに代えて	72



# 第1部

## 家庭どうぶつと家族

### 1. Household Animals and the Family

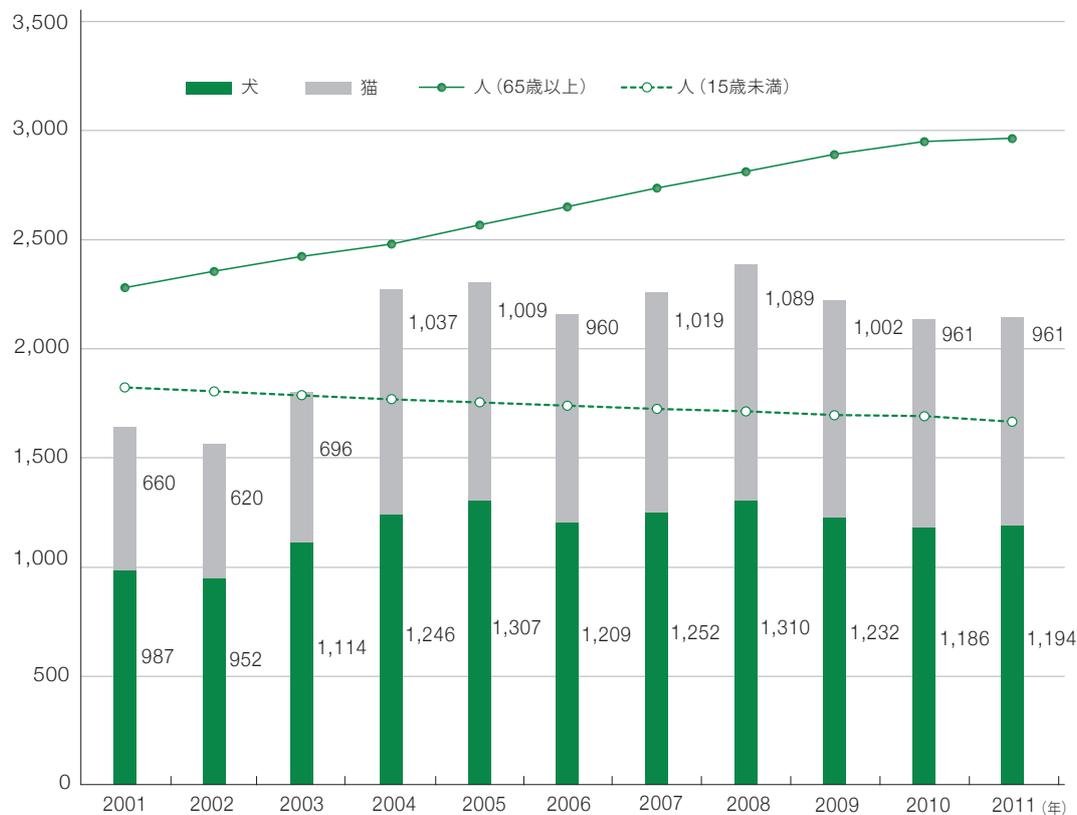


## 第1章 日本の家庭どうぶつ

## 1. 日本の犬・猫の頭数推移

## 1-1-1 日本の犬・猫・人（65歳以上、15歳未満）の数

(万頭、万人)



(犬・猫：万頭、人：万人)

	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
犬	987	952	1,114	1,246	1,307	1,209	1,252	1,310	1,232	1,186	1,194
猫*	660	620	696	1,037	1,009	960	1,019	1,089	1,002	961	961
人 (65歳以上)	2,287	2,363	2,431	2,488	2,576	2,660	2,746	2,822	2,901	2,960	2,975
人 (15歳未満)	1,828	1,810	1,791	1,773	1,759	1,744	1,729	1,718	1,701	1,696	1,670

1-1-1

ペットフード協会 犬猫飼育率全国調査、総務省統計局統計より抜粋、改変。  
\*外猫を含まない。

## 2. 人気の品種と名前

## 1-1-2 犬の品種ランキング(全年齢)

順位	品種	頭数	割合 (%)
1	ミニチュア・ダックスフンド Miniature Dachshunds	50,341	16.8
2	チワワ Chihuahuas	46,424	15.5
3	トイ・プードル Toy Poodles	45,393	15.1
4	柴 Shiba	14,656	4.9
5	混血犬(体重10kg未満) mixed breeds	12,542	4.2
6	ヨークシャー・テリア Yorkshire Terriers	10,625	3.5
7	ポメラニアン Pomeranians	9,369	3.1
8	ウェルシュ・コーギー・ ペンブローク Pembroke Welsh Corgis	9,034	3.0
9	パピヨン Papillons	8,973	3.0
10	シー・ズー Shih Tzus	8,240	2.7
11	ミニチュア・シュナウザー Miniature Schnauzers	8,124	2.7
12	フレンチ・ブルドッグ French Bulldogs	6,805	2.3
13	ラブラドル・レトリバー Labrador Retrievers	6,422	2.1
14	キャバリア・キング・ チャールズ・スパニエル Cavalier King Charles Spaniels	5,745	1.9
15	ゴールデン・レトリバー Golden Retrievers	5,377	1.8
16	マルチーズ Malteses	5,057	1.7
17	パグ Pugs	4,246	1.4

1-1-2  
2011年4月1日～2012年3月31日までの間に、アニコム損保の保険契約で満期を迎えた犬299,648頭において各品種の頭数と、全体に占める割合を示した。

## 1-1-3 犬の品種ランキング(0歳のみ)

順位	品種	頭数	割合 (%)
1	トイ・プードル Toy Poodles	13,030	22.0
2	チワワ Chihuahuas	11,895	20.1
3	ミニチュア・ダックスフンド Miniature Dachshunds	6,254	10.6
4	混血犬(体重10kg未満) mixed breeds	4,148	7.0
5	柴 Shiba	3,539	6.0
6	ポメラニアン Pomeranians	2,261	3.8
7	ヨークシャー・テリア Yorkshire Terriers	1,949	3.3
8	ミニチュア・シュナウザー Miniature Schnauzers	1,268	2.1
9	フレンチ・ブルドッグ French Bulldogs	1,225	2.1
10	パピヨン Papillons	1,112	1.9
11	シー・ズー Shih Tzus	1,072	1.8
12	マルチーズ Malteses	1,006	1.7
13	ウェルシュ・コーギー・ ペンブローク Pembroke Welsh Corgis	972	1.6
14	カニンヘン・ダックスフンド Kaninchen Dachshunds	879	1.5
15	パグ Pugs	760	1.3
15	ゴールデン・レトリバー Golden Retrievers	760	1.3
17	キャバリア・キング・ チャールズ・スパニエル Cavalier King Charles Spaniels	743	1.3

1-1-3  
2011年4月1日～2012年3月31日までの間に、アニコム損保の保険契約で満期を迎えた0歳の犬59,121頭において各品種の頭数と、全体に占める割合を示した。

## 2. 人気の品種と名前

### 1-1-4 犬の名前ランキング(全品種)

【総合ランキング】			【男の子部門】			【女の子部門】		
順位	名前	頭数	順位	名前	頭数	順位	名前	頭数
1 (1)	ココ	855	1 (3)	ソラ	379	1 (2)	モモ	645
2 (4)	モモ	676	2 (5)	レオ	375	2 (1)	ココ	622
3 (3)	チョコ	666	3 (2)	チョコ	351	3 (4)	ハナ	409
4 (2)	マロン	659	4 (1)	マロン	335	4 (3)	サクラ	382
5 (7)	モコ	566	5 (4)	コタロウ	329	5 (7)	モコ	381
6 (6)	ソラ	517	6 (7)	レオン	242	6 (5)	マロン	324
7 (5)	ココア	505	7 (6)	ココ	233	7 (8)	ココア	320
8 (9)	モカ	485	8 (8)	ココア	185	8 (6)	チョコ	315
9 (10)	ハナ	419	8 (12)	モコ		9 (9)	モカ	303
10 (8)	サクラ	390	10 (10)	モカ	182	10 (10)	ナナ	268



【漢字の名前 男の子】			【漢字の名前 女の子】		
順位	名前	頭数	順位	名前	頭数
1 (1)	空	183	1 (1)	姫	92
2 (2)	小太郎	158	2 (3)	空	76
3 (14)	福	94	3 (4)	小梅	74
4 (3)	虎太郎	56	4 (2)	花	56
5 (4)	海	53	5 (5)	杏	47
6 (8)	太郎	46	6 (8)	凜	46
7 (11)	小鉄	42	7 (12)	蘭	40
8 (5)	蓮	41	8 (10)	小豆	39
9 (7)	小次郎	40	9 (10)	華	37
10 (9)	陸	37	10 (6)	桃	36
10 (13)	龍	37			

漢字で表記される人気の名前では、男の子は「空」、女の子では「姫」が前年に引き続き1位を獲得した。

### 1-1-5 犬の品種別名前ランキング

犬の品種別の調査では、柴やフレンチ・ブルドッグでは、前年に引き続き「コタロウ」「コテツ」「ハナ」「アズキ」などの和風の名前が人気だった。フレンチ・ブルドッグではほかにも「ブンタ」「オハギ」「ミカン」「ニコ」「ハナコ」などユニークな名前が上位にランクインした。ポメラニアンでは、「ボンタ」「ボン」「モコ」「コロ」など、毛並みや体型、仕草などにちなんだ名前が人気で、前年と同様に上位にランクインしている。

柴				フレンチ・ブルドッグ				ポメラニアン			
順位	男の子	順位	女の子	順位	男の子	順位	女の子	順位	男の子	順位	女の子
1 (1)	コタロウ	1 (3)	モモ	1 (1)	コタロウ	1 (1)	モモ	1 (1)	ボンタ	1 (3)	モコ
2 (2)	ソラ	2 (2)	ハナ	2 (2)	コテツ	2 (2)	ハナ	2 (6)	コタロウ	2 (1)	モモ
3 (7)	リュウ	3 (1)	サクラ	3 (-)	ブブ	3 (14)	ミルク	3 (2)	レオ	3 (1)	ココ
4 (4)	コテツ	4 (5)	ナナ	3 (3)	ブル	4 (6)	コウメ	4 (8)	モコ	4 (15)	アン
4 (-)	フク	5 (7)	リン	3 (5)	ブンタ	4 (3)	ココ	5 (4)	コロ	4 (6)	ヒメ
6 (8)	タロウ	6 (4)	アズキ	3 (11)	リキ	4 (3)	サクラ	6 (8)	レオン	4 (10)	リン
7 (6)	リク	7 (6)	ココ	3 (11)	レオ	7 (5)	アズキ	7 (11)	ボン	7 (5)	サクラ
8 (3)	コロ	8 (11)	ハル	8 (-)	オハギ	7 (6)	ヒメ	8 (20)	クウ	7 (10)	チョコ
9 (9)	ヤマト	9 (-)	キナコ	8 (7)	カイ	7 (-)	ミカン	9 (4)	ココ	9 (4)	コロ
10 (12)	リキ	9 (10)	ヒメ	8 (5)	コジロウ	10 (-)	ニコ	9 (5)	マロン	9 (9)	マロン
				8 (-)	ゴンタ	10 (-)	ハナコ				

1-1-4、1-1-5

2011年10月1日～2012年9月30日までの間に、アニコム損保の「どうぶつ健保」に新規契約した0歳の犬83,164頭の名前を集計した。( )は前年順位。

## 1-1-6 猫の名前ランキング (全品種)

【2012年 総合ランキング】		
順位	名前	頭数
1 (3)	ソラ	143
2 (1)	モモ	123
3 (4)	ココ	118
4 (2)	レオ	106
5 (5)	マロン	101
6 (6)	リン	95
7 (7)	サクラ	83
8 (9)	メイ	79
9 (8)	コタロウ	75
10 (11)	ハナ	68

【2012年 男の子部門】		
順位	名前	頭数
1 (2)	ソラ	115
2 (1)	レオ	103
3 (3)	コタロウ	75
4 (5)	マロン	65
5 (4)	レオン	64
6 (6)	コテツ	53
7 (17)	マル	45
8 (8)	ココ	40
9 (-)	フク	35
10 (7)	レン	33

【2012年 女の子部門】		
順位	名前	頭数
1 (1)	モモ	109
2 (2)	サクラ	81
3 (4)	ココ	78
4 (5)	ハナ	67
5 (6)	メイ	66
6 (3)	リン	64
7 (9)	ミミ	57
8 (8)	ヒメ	56
9 (11)	ナナ	45
10 (7)	ルナ	44



1-1-6  
2011年2月1日～2012年1月31日までの間に、アニコム損保の「どうぶつ健保」に新規契約した0歳の猫9,330頭の名前を集計した。( )は前年順位。

## 1-1-7 猫の品種ランキング (全年齢)

順位	品種	頭数	割合 (%)
1	混血猫 mixed breeds	8,986	28.4
2	スコティッシュ・フォールド Scottish Fold	4,360	13.8
3	アメリカン・ショートヘア American Shorthair	4,174	13.2
4	日本猫 Japanese cats	2,434	7.7
5	ロシアンブルー Russian Blue	2,131	6.7
6	ペルシャ (チンチラ) Persian	1,524	4.8
7	アビシニアン Abyssinian	1,268	4.0
8	メイン・クーン Maine Coon	1,158	3.7
9	ノルウェージャン・ フォレスト・キャット Norwegian Forest Cats	1,003	3.2
10	ラグドール Ragdoll	856	2.7

## 1-1-8 猫の品種ランキング (0歳のみ)

順位	品種	頭数	割合 (%)
1	スコティッシュ・フォールド Scottish Fold	1,412	20.4
2	アメリカン・ショートヘア American Shorthair	1,144	16.5
3	混血猫 mixed breeds	682	9.8
4	ロシアンブルー Russian Blue	518	7.5
5	マンチカン Munchkin	370	5.3
6	ノルウェージャン・ フォレスト・キャット Norwegian Forest Cats	352	5.1
7	ペルシャ (チンチラ) Persian	331	4.8
8	メイン・クーン Maine Coon	316	4.6
9	ラグドール Ragdoll	306	4.4
10	日本猫 Japanese cats	278	4.0

1-1-7  
2011年4月1日～2012年3月31日までの間に、アニコム損保の保険契約で満期を迎えた猫31,587頭において各品種の頭数と、全体に占める割合を示した。

1-1-8  
2011年4月1日～2012年3月31日までの間に、アニコム損保の保険契約で満期を迎えた0歳の猫6,931頭において各品種の頭数と、全体に占める割合を示した。

## 第1章 日本の家庭どうぶつ

## 3. 犬と猫の平均寿命

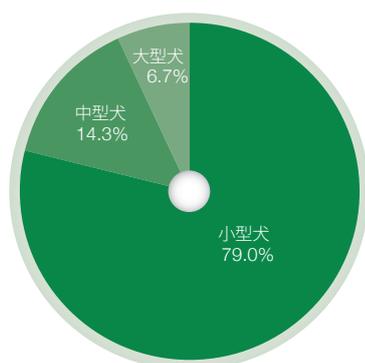
## 1-1-9 どうぶつ種別の平均寿命

(歳)			
犬 (男の子)	犬 (女の子)	猫 (男の子)	猫 (女の子)
13.3	13.3	13.3	14.3

## 1-1-10 大きさ別\* (犬) の平均寿命

(歳)					
小型犬 (男の子)	小型犬 (女の子)	中型犬 (男の子)	中型犬 (女の子)	大型犬 (男の子)	大型犬 (女の子)
13.8	13.7	13.1	13.2	11.2	11.8

## 【参考】犬の大きさ構成比



\*大きさ別では各犬種の標準的な体重を基に、小型犬 (10kg未満)、中型犬 (10～20kg未満)、大型犬 (20kg以上) の3種に分類した。

## 1-1-11 地域別 (犬) の平均寿命

(歳)					
北海道 (男の子)	北海道 (女の子)	東北地方 (男の子)	東北地方 (女の子)	関東地方 (男の子)	関東地方 (女の子)
13.2	13.6	12.4	12.0	13.5	13.4

(歳)					
中部地方 (男の子)	中部地方 (女の子)	近畿地方 (男の子)	近畿地方 (女の子)	中国地方 (男の子)	中国地方 (女の子)
13.0	13.1	13.2	13.5	13.0	13.0

(歳)			
四国地方 (男の子)	四国地方 (女の子)	九州地方 (男の子)	九州地方 (女の子)
12.7	11.5	13.4	12.8

1-1-9～1-1-11

対象：2011年4月1日～2012年3月31日までの間に、アニコム損保の保険契約で満期を迎えた犬299,648頭および猫31,587頭。

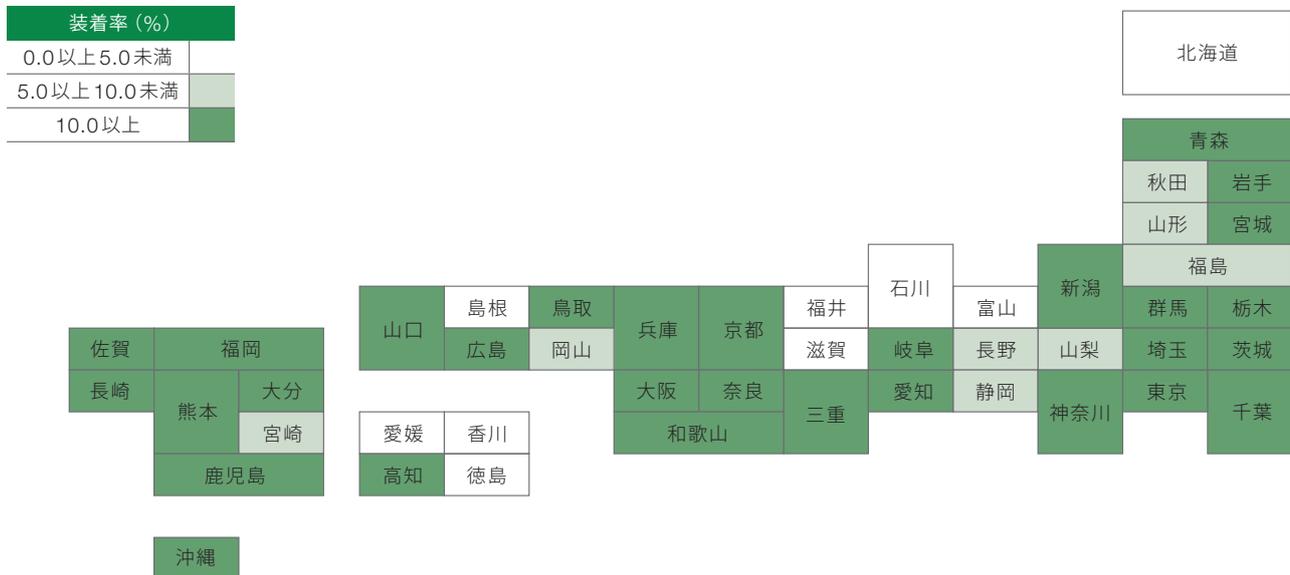
算出方法：各どうぶつ種および年齢において、次年度契約を継続したどうぶつを生存、死亡解約の届け出があったどうぶつを死亡としてカレント生命表を作成し、0歳時点の平均余命を平均寿命として算出した。また、犬においてはさらに大きさ別、地域別に分類し同様に算出した。



# 第1章 日本の家庭どうぶつ

## 4. マイクロチップ

1-1-12 都道府県別マイクロチップ装着率



県名	装着どうぶつ* (頭)	契約どうぶつ** (頭)	装着率 (%)
北海道	327	27,329	1.2
青森県	532	2,376	22.4
岩手県	238	1,345	17.7
宮城県	880	5,426	16.2
秋田県	39	589	6.6
山形県	39	577	6.8
福島県	147	1,548	9.5
茨城県	687	3,426	20.1
栃木県	526	3,104	16.9
群馬県	488	2,742	17.8
埼玉県	6,186	25,712	24.1
千葉県	5,410	22,817	23.7
東京都	9,368	50,716	18.5
神奈川県	5,884	37,003	15.9
新潟県	699	3,141	22.3
富山県	17	889	1.9

県名	装着どうぶつ* (頭)	契約どうぶつ** (頭)	装着率 (%)
石川県	28	1,278	2.2
福井県	54	1,347	4.0
山梨県	79	815	9.7
長野県	124	1,835	6.8
岐阜県	1,400	4,879	28.7
静岡県	767	9,946	7.7
愛知県	8,438	30,536	27.6
三重県	834	3,996	20.9
滋賀県	103	2,483	4.1
京都府	786	6,088	12.9
大阪府	4,620	30,855	15.0
兵庫県	2,715	17,045	15.9
奈良県	491	4,696	10.5
和歌山県	386	1,509	25.6
鳥取県	74	416	17.8
島根県	19	442	4.3

県名	装着どうぶつ* (頭)	契約どうぶつ** (頭)	装着率 (%)
岡山県	190	2,569	7.4
広島県	576	5,529	10.4
山口県	268	2,009	13.3
徳島県	9	348	2.6
香川県	36	764	4.7
愛媛県	12	613	2.0
高知県	112	465	24.1
福岡県	3,107	9,464	32.8
佐賀県	170	620	27.4
長崎県	352	1,386	25.4
熊本県	279	1,277	21.8
大分県	223	1,958	11.4
宮崎県	32	427	7.5
鹿児島県	141	953	14.8
沖縄県	95	819	11.6
全国	57,987	336,110	17.3

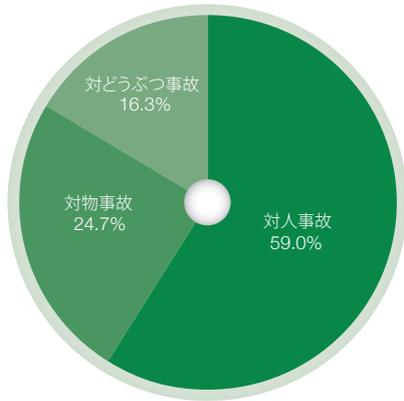
1-1-12  
 \* 2011年4月1日～2012年3月31日までの間に、アニコム損保の保険契約で満期を迎えた犬・猫・鳥・うさぎ・フェレット（性別不明含む）のうち、マイクロチップの装着を申告しているどうぶつ数。  
 \*\* 2011年4月1日～2012年3月31日までの間に、アニコム損保の保険契約で満期を迎えた犬・猫・鳥・うさぎ・フェレットの総数。

## 5. 賠償責任特約事故

### 1-1-13 賠償責任特約事故※の分類と発生割合

※「賠償責任特約」:ご契約いただいているどうぶつが、咬みついたり引っかいたりすることなどによって他人\*に身体障害や財物損壊の被害を与え、法律上の「損害賠償責任」が生じた場合「賠償損害」を補償する特約\*\*。

\*保険契約者および被保険者にあてはまらない者。  
\*\*傷病の診療費用を補償する主契約に特約として追加する。



- 対人事故  
他人の身体に障害を与えた事故。治療費や休業損害、慰謝料などが発生する。
- 対物事故  
他人の器物に損壊を与えた事故。
- 対どうぶつ事故  
他のどうぶつ（犬、猫など）の身体に傷害を与えた事故。動物病院での治療費などが発生する。

事故分類	件数 (件)	平均保険金額 (円)
対人事故	541	120,000
うち対人+対物	66	
うち対人+対どうぶつ	21	
うち対人+対物+どうぶつ	2	
対物事故	227	71,000
対どうぶつ事故	150	32,000
うち対物+対どうぶつ	2	
総計	918	94,000

### 1-1-14 犬の品種別事故発生率

品種	対人事故 (件)	対物事故 (件)	対どうぶつ事故 (件)	総計 (件)	対象契約 (頭)	発生率 (%)
秋田	12	2	7	21	1,047	2.0
バーニーズ・マウンテン・ドッグ	15	10	2	27	3,125	0.9
ボーダー・コリー	31	9	10	50	6,314	0.8
ゴールデン・レトリバー	29	17	11	57	14,348	0.4
柴	83	13	41	137	35,892	0.4
ラブラドル・レトリバー	35	18	4	57	17,257	0.3
ジャック・ラッセル・テリア	12	5	9	26	8,832	0.3
ウェルシュ・コーギー・ペンブローク	38	8	12	58	21,718	0.3
ビーグル	18	1	1	20	7,763	0.3
フレンチ・ブルドッグ	18	10	0	28	13,584	0.2
ミニチュア・ダックスフンド	37	29	5	71	90,826	0.1
トイ・プードル	21	26	2	49	72,663	0.1
チワワ	14	12	1	27	65,721	0.0

### 1-1-15 首輪・リードに起因する事故 ※自宅敷地外の事故のみ

リード・首輪の状況	件数 (件)	割合 (%)
リードをしていなかったこと	32	40.5
リード・首輪が外れてしまった・すっぽ抜けてしまった	35	44.3
リードや首輪が破損した	12	15.2
総計	79	-

リードを付けずに散歩をさせていたことに起因する事故のほか、リード（含む金具）の破損や首輪サイズの不適合が原因となった事故、急に犬が走り出したことに対応しきれず、リードを手から離してしまったという事故がみられた。

#### 【実際の事故例】

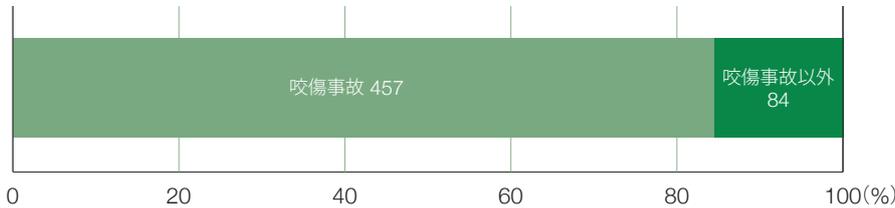
秋田犬、6歳、女の子

◆被害状況 犬の臀部への咬傷 ◆損害賠償請求額 70,000円

◆詳細 散歩中、他の犬を見かけた際に興奮して暴れたため、止めようとして首輪をつかんだところ外れてしまい、その犬の臀部に咬みついた。

## 第1章 日本の家庭どうぶつ

## 1-1-16 対人事故の発生分類



## 1-1-17 対人事故の発生状況および発生場所

	対人事故の発生原因	件数 (件)	割合 (%)
咬傷事故	被害者が加害犬をなでようとして咬まれる	111	20.5
	来客の瞬間に室内犬が玄関に飛び出して咬んだ	46	8.5
	目を離している際に咬んだ	42	7.8
	加害犬が被害者に近寄り、突然咬んだ	35	6.5
	首輪・リードを外していたことに起因するもの	35	6.5
	自転車などですれ違いざまに咬んだ	34	6.3
	犬同士のケンカを止めようとして咬まれた	28	5.2
	なんらかの出来事に驚いて咬んだ	25	4.6
	子供に対して咬んだ	19	3.5
	食べ物や物をとろうとして咬まれる	18	3.3
	首輪・リードの不具合によるもの	16	3.0
	被害者(犬)が近づいたため咬んだ	14	2.6
	狭い道などでのすれ違いざまに咬んだ	13	2.4
	物音に興奮して咬む	7	1.3
	その他	14	2.6
咬傷事故以外	興奮し飛びかかる、吠えたため驚かせて転倒させるなど	84	15.5
合計		541	100.0

対人事故発生場所	件数 (件)
路上	247
自宅	117
公園	51
玄関	44
友人宅	17
集合住宅敷地内	14
一般駐車場	7
ドッグラン	5
ショッピングセンター	5
動物病院	5
その他	29
合計	541

## ○被害者が加害犬をなでようとして咬まれる

被害者は、かわいがり・遊ぼうとして手を出したり、犬を真正面から覗き込んだために顔を咬まれたなど。家族はどうぶつの性格や状態をよく観察し、見知らぬ相手が不用意に手を出す状況にならないように注意したい。

## 【実際の事故例】

バーニーズ・マウンテン・ドッグ、2歳、男の子

◆被害状況 手指の裂傷。◆損害賠償請求額 120,000円。

◆詳細 散歩道を散歩しているときに見知らぬ男性がお座りをしていた契約犬に近づいた。男性が急に手をさし出したため、契約犬が飛びついて左手指を咬んだ。

## ○来客の瞬間に室内犬が玄関に飛び出して咬む

もっとも多い事例は宅配業者などが来訪した際に犬が飛び出し、咬傷事故となるケース。玄関はテリトリーの入り口でもあり、防御反応が働きやすい場所でもあるため、普段からピンポンの音に反応するどうぶつなどはとくに注意したい。

## 【実際の事故例】

ボーダー・コリー、4歳、男の子

◆被害状況 顔面と手指の咬傷。◆損害賠償請求額 80,000円。

◆詳細 自宅に宅配便が来た際の事故。玄関を開けた途端、宅配業者に飛びかかり、顔と手指を咬んだ。被害者は救急車で搬送された。

## ○目を離している際に咬んだ

散歩中のお散歩仲間との立ち話中や、排泄物の片づけなどで少し目を離した際に事故が起こることが多い。

## ○首輪・リードを外していたことに起因する事例

庭や私有地でリードをつけずに放していたり、遊んでいる際に見知らぬ人と出会う、敷地内にいたはずが脱走してしまい事故となるなどのケースが発生している。

その他、自転車やランニングをしている人、スケートボードなどですれ違う際に事故となるケース、犬同士のケンカを避けよう・止めようとして家族が咬まれるケース、出会い頭や、排せつ中あるいは地面をかいでいるなどに集中しており、被害者に気づかず、びっくりして咬んでしまうケースなどがみられた。

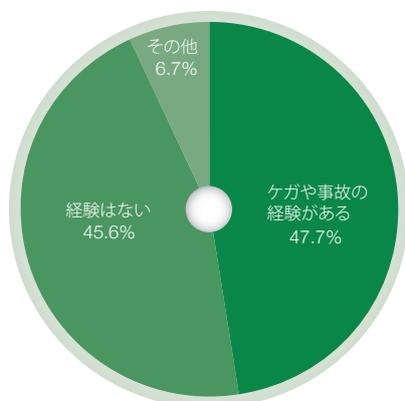
通常よりどうぶつの反応をよく観察し、散歩中や来客などの際にはどうぶつが出す恐怖・威嚇などのサインに常に気をつけていただきたい。

1-1-13～1-1-17

2008年4月～2012年4月の間に、ペット賠償責任特約保険金を支払った918件に対して発生状況を分析した。

## 6. 家庭におけるケガや事故

## 1-1-18 ケガや事故の経験



経験のあるケガや事故	頭数 (頭)	割合 (%)
異物誤飲	351	15.1
脱臼 (膝蓋骨脱臼など)	160	6.9
外傷 (切り傷、刺し傷など)	160	6.9
骨折 (ヒビも含む)	125	5.4
咬傷 (他のどうぶつに咬まれる)・ケンカ	96	4.1
椎間板ヘルニア	74	3.2
靭帯損傷・断裂 (捻挫も含む)	67	2.9
交通事故	28	1.2
熱中症	25	1.1
中毒	25	1.1

## 1-1-19 ケガや事故の発生場所

	ケガや事故の発生場所	頭数 (頭)	割合 (%)
自宅内	リビング	434	39.1
	ケージの中、周辺	83	7.5
	イス・ソファ、その周辺	71	6.4
	寝室	66	5.9
	キッチン	60	5.4
	ベランダ・庭	49	4.4
	玄関	25	2.2
	階段、その周辺	22	2.0
自宅外	散歩中	253	22.8
	公園・ドッグラン	134	12.1
	車内・車の周辺	17	1.5
	旅行先	15	1.4
	ペットホテル、トリミング	11	1.0

## 1-1-20 事故別の発生場所

異物誤飲		脱臼	
発生場所	頭数 (頭)	発生場所	頭数 (頭)
リビング	162	リビング	62
キッチン	25	イス・ソファ、その周辺	21
ケージの中、周辺	25	散歩中	20
散歩中	24	公園・ドッグラン	17
寝室	19	ケージの中、周辺	8
公園・ドッグラン	17	階段、その周辺	5

外傷		骨折	
発生場所	頭数 (頭)	発生場所	頭数 (頭)
散歩中	60	リビング	32
リビング	22	イス・ソファ、その周辺	11
公園・ドッグラン	18	公園・ドッグラン	11
ベランダ・庭	17	寝室	10
ケージの中、周辺	7	散歩中	9

1-1-18~1-1-20

調査方法：アニコム損保のペット保険「どうぶつ健保」契約者に対し、インターネット上でアンケートを実施。  
 実施期間：2012年10月10日～10月15日（有効回答数2,329）。



## 第 2 部

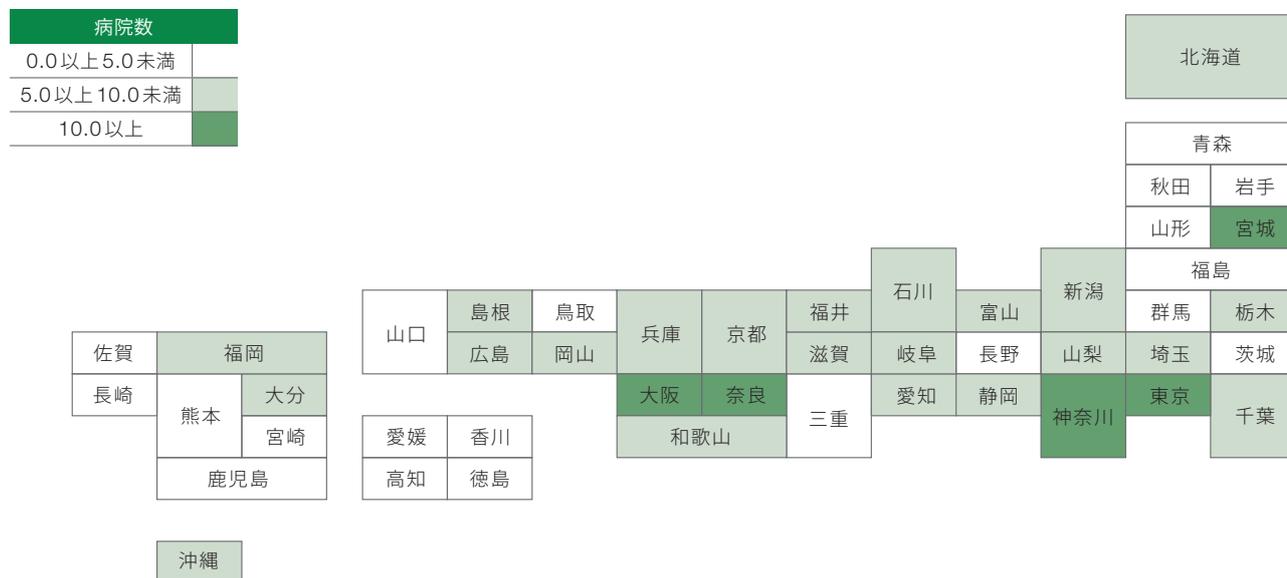
# どうぶつ医療を取り巻く環境

## 2. Circumstances of animal health care

# 第1章 医療提供体制

## 1. 保険制度の普及

### 2-1-1 犬1万頭あたりの保険対応病院数

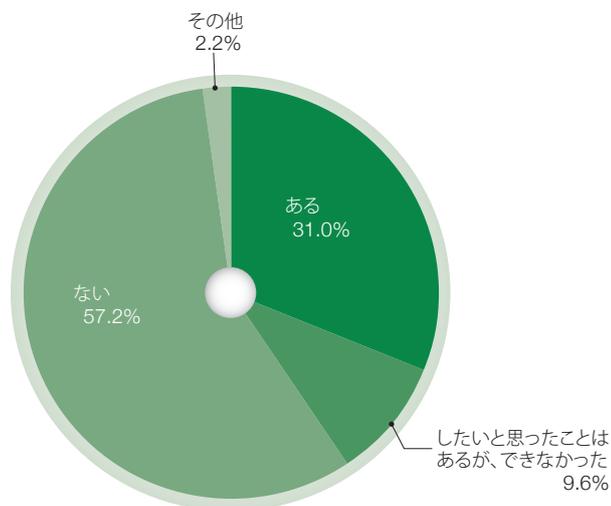


県名	犬の登録頭数* (頭)	対応病院数** (件)	1万頭あたり病院数	県名	犬の登録頭数* (頭)	対応病院数** (件)	1万頭あたり病院数	県名	犬の登録頭数* (頭)	対応病院数** (件)	1万頭あたり病院数
北海道	277,654	274	9.9	石川県	52,658	42	8.0	岡山県	104,627	53	5.1
青森県	74,555	26	3.5	福井県	34,712	26	7.5	広島県	144,160	113	7.8
岩手県***	(77,796)	35 (35)	4.5	山梨県	59,314	39	6.6	山口県	89,378	43	4.8
宮城県***	(48,181)	84 (56)	11.6	長野県	128,133	47	3.7	徳島県	43,227	10	2.3
秋田県	48,526	10	2.1	岐阜県	140,670	78	5.5	香川県	72,831	28	3.8
山形県	46,458	17	3.7	静岡県	243,285	184	7.6	愛媛県	85,603	21	2.5
福島県***	(102,334)	48 (45)	4.4	愛知県	473,337	328	6.9	高知県	46,705	11	2.4
茨城県	192,065	95	4.9	三重県	160,073	66	4.1	福岡県	269,607	169	6.3
栃木県	120,253	77	6.4	滋賀県	87,134	45	5.2	佐賀県	50,076	22	4.4
群馬県	138,277	63	4.6	京都府	122,529	107	8.7	長崎県	78,533	38	4.8
埼玉県	382,256	365	9.5	大阪府	375,334	404	10.8	熊本県	117,575	37	3.1
千葉県	344,601	281	8.2	兵庫県	328,325	262	8.0	大分県	72,056	37	5.1
東京都	500,646	755	15.1	奈良県	63,744	68	10.7	宮崎県	68,460	23	3.4
神奈川県	466,951	543	11.6	和歌山県	48,341	28	5.8	鹿児島県	107,397	50	4.7
新潟県	107,719	66	6.1	鳥取県	27,283	10	3.7	沖縄県	64,765	42	6.5
富山県	49,869	26	5.2	島根県	40,128	21	5.2	全国***	(6,778,141)	5,217 (5,186)	7.7

2-1-1  
 \*厚生労働省 都道府県別の犬の登録頭数 (2010年度末)。  
 \*\*2012年9月末時点のアニコム損保対応病院数。  
 \*\*\* ( ) 内は、岩手県：陸前高田市および大槌町の1～3月分以外、宮城県：仙台市以外の市町村、福島県：相双保健福祉事務所管内の市町村以外。

## 2. 夜間救急の受診状況

## 2-1-2 夜間救急受診の経験



## 2-1-3 夜間救急受診した病院を探した方法

受診した病院を探した方法	人数 (人)	割合 (%)
普段から調べていた	313	27.9
かかりつけの動物病院に教えてもらった	276	24.6
インターネットで検索した	271	24.2
友人・知人に教えてもらった	148	13.2

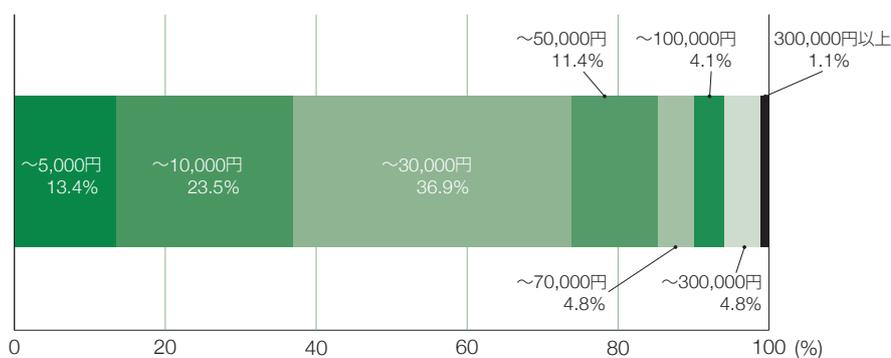
※「救急夜間の経験がある」1,120人の回答（複数回答）

## 2-1-4 夜間救急通院の際に困ったこと

救急通院の際に困ったこと	人数 (人)	割合 (%)
診療費が予想よりも高かった	333	22.7
病院へ電話してもつながらなかった	226	15.4
すぐに通院できる病院が見つからなかった	195	13.3
どうぶつを病院へ連れて行く手段がなかった	74	5.0
どうしたらいいのかわからなかった (病院を探す手段がわからなかった)	54	3.7

※「救急夜間の経験がある」または「通院したかったができなかったことがある」1,466人の回答（複数回答）

## 2-1-5 夜間救急受診にかかった診療費



※「救急夜間の経験がある」1,120人の回答を集計

## 2-1-6 普段から備えていること

普段から備えていること	人数 (人)	割合 (%)
かかりつけの病院を決めている	3,018	83.6
保険証や予防接種証明書・検査データなどをすぐに取り出せるようにまとめている	1,787	49.5
夜間の緊急時に通院できる病院を調べている	1,757	48.7
普段の様子を観察し、緊急かどうか判断できるようにしている	1,597	44.2
留守中に事故がないよう家の中を整理している	1,202	33.3
応急処置の方法を勉強している	322	8.9

2-1-2～2-1-6

調査方法：アニコム損保のペット保険「どうぶつ健保」契約者に対し、インターネット上でアンケートを実施。  
実施期間：2012年8月17日～8月22日（有効回答数：3,610）。

## 1. 予防は「よりよく生きる」ための手段



予防は、ヒトが社会性動物であるがゆえに生まれた行為である。

ヒトのもつコミュニケーション能力は、会話のように時間的および空間的に同時に存在する相手に限定されるコミュニケーションだけにとどまらない。絵や文字として残すといった時間を超えたコミュニケーション、そして、電気の活用によって古くは電話・電報、今では携帯電話・ファクシミリ・インターネットといった空間を超えたコミュニケーションをも普及させた。動物は、痛い、苦しいなどといったネガティブな経験をすると、その経験を繰り返さないように学習し、それを回避する行動をとる。それに加えてヒトの場合は、高いコミュニケーション能力によって他の個体の経験も知り、それを自分の体験のように共通認識できる。そこで、そのネガティブな経験をした本人だけでなく他人もそれを共有して、同じ経験を繰り返さないことを目的とした「予防」につながる行為が積み重ねられることとなる。

どんな命も生まれた時から致死率100%という事実が

ある。この観点から生命体を考えると、予防は、死なない（病気もケガも老衰もしない）ことが最終目標なのではなく、「よりよく生きる」ことを共通目標とした助け合いの手段ともいえる。疾患関連因子の疫学調査、ワクチンや疾患の早期発見につながる検査の開発など、社会全体で予防の研究が進み、痛い、苦しいなどといったネガティブな経験を部分的に減らすことはできる。しかし、生命である以上ネガティブな経験をゼロにすることはできない。したがって、悲しい、悔しいといった感情もゼロにはならない。この人間らしい悲しみや悔しさは、自分もしくは誰かへの愛情や期待から生まれるものであるから、「よりよく生きる」ために、また新たな予防手段が見つかり広まっていく。そうやって予防は発展し続ける。

家庭どうぶつ医療の場合、対象は種を越えた家族である。純粋にその命を助けたいというヒトの愛情が起点となっていることに注目したい。どうぶつ医療の根幹が「絆中心の医療」である所以である。

## 2. 予防の種類



### ① 発症予防と重症化予防

予防は、発症予防（1次予防）と重症化予防（2次予防）とに大きく分けられる（図1）。発症予防は、そもそも発症しないように予防行為を行うことで、健康増進・衛生管理・予防接種などが含まれる。重症化予防として

は、意識向上や保険加入等による早期来院の実現や、健康診断などによる早期発見によって早期治療につながることで、より適切な治療法が受けられることがあげられる。

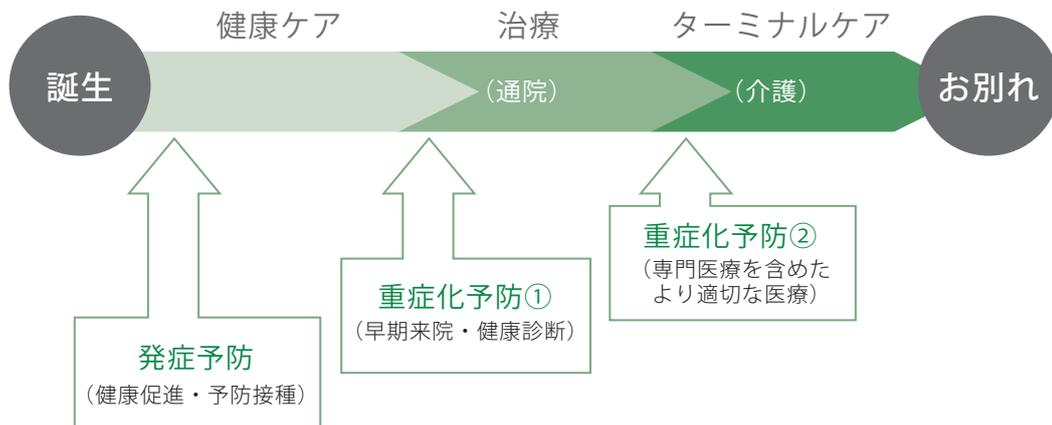


図1 発症予防と重症化予防



## ② 遺伝要因と環境要因、それぞれに対する予防

健康と病気の間は連続的である(図2)。それらの状態は、遺伝要因と環境要因の相互作用の結果から、起きているといえる(図3)。遺伝的要因とは、種、性、毛色など、生まれながらの形質、体質であり、それらの表現型に対して、1つもしくは複数の遺伝型が存在する。遺伝子レベルで見ればその個体の生涯にとって不変的である。しかし、発現するかどうか、また、そのタイミングに関しては、環境要因との相互作用で決まるとされている。環境的要因とは、食事内容、運動の量や質、住環境、地域など、生まれてから可変的に影響を受ける要因である。

予防対策については、これら2つの要因に対しそれぞれに用意するべきである。人の医療では、遺伝的要因に対する対策は倫理上たてにくい。しかし、家庭どうぶつの医療においては、繁殖に関しても管理下にあることから効果の期待できる対策ではある。実際、犬のペット保険の普及率が80%のスウェーデンでは、保険会社の提供する疾患統計を、

ブリーダーの団体であるスウェーデンケネルクラブに提供し、繁殖の際の予防対策に役立てているといった例もある(参照：<http://www.agriapet.co.uk/>)。この際、注意しなくてはならないのは、種の多様性を同時に維持できるかという視点である。犬ゲノムがすべて解読されたとはいえ、すべての遺伝情報とそれらの関係性が解明された訳ではない。安易に遺伝子検査が可能となった疾患だけにとらわれ、その疾患のキャリア個体が繁殖に供さないようなことになれば、たとえその検査対象疾患が減っても、ほかの疾患のリスクが増加する可能性や、遺伝子レベルでの多様性の低下が懸念される。常染色体劣性遺伝であれば、仮にキャリアであっても相手に優性ホモを選ぶことで発症は防げるはずだ。

遺伝的要因をあえて認識したうえで、環境的要因に対して注意を払っていくことは有用である。遺伝子検査で肥満体質であることが明らかになっていたほうが、明らかになっていない場合よりも、肥満対策への意識が高まり、結果的に肥満になりにくくなる可能性がある。

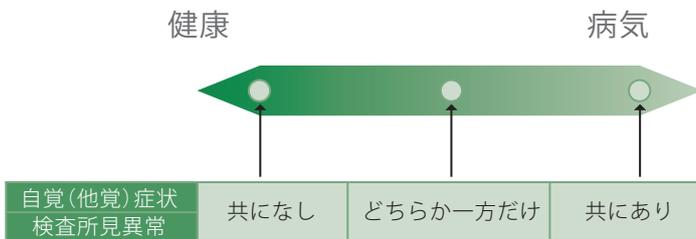


図2 健康と病気の連続性

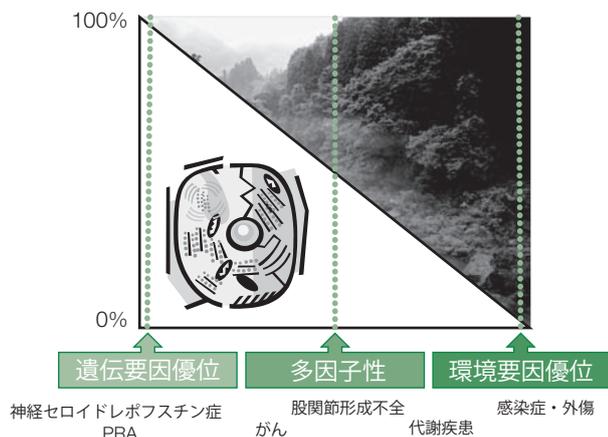
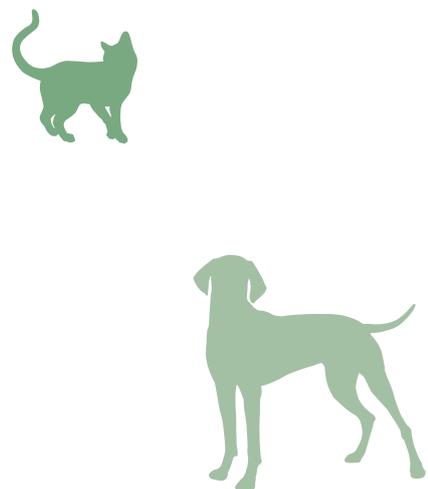


図3 遺伝的要因と環境要因の関係





### 3. 予防には分野間の連携が必要

予防は、狭義に定義すると予め防ぐという行為そのものを指すが、前述のように、人単独ではなく、社会活動として存在するものである。つまり、さまざまな分野が連携して初めて実現するといえる。予防は、予想・予測・予報などの行為からなり、どうぶつ医療においては以下の関連3分野がそれぞれ重要な役割を果たしている（図4）。

#### A. 臨床現場は「予想（＝予め想う）」の宝庫

「予想」は、本人や他人の観察や経験に基づき「予め想う」だけであるため主観的なものだが、すべての発端となる気づきがなければ何も始まらない。また近年では、人の代わりにコンピューターが膨大なデータを基に予想するというデータマイニングと呼ばれる試みも行われている。

#### B. 「予測（＝予め測る）」のためには研究が必要

何かを目的として「予測」する際には、科学的根拠が重んじられるため、デザインされた研究が必要となる。予想、アイデアを基に仮説を構築し、より多くのデータをさまざまな角度から分析したり（疫学研究）、実際に試したりしながら検証を重ね（実験的研究）、対照群と比較するなどして客観的に仮説を検証する。研究者は、そこで得た知見をそのプロセスも含め論文などにして公共化する。その公共化された知見は、それぞれの分野に有効活用されるだけでなく、（時に批判的に）厳密な評価を得て次の研究にも活かされ、社会全体の知はさらに高まる。

#### C. 「予報（＝予め報じる）」が広報に組み込まれ、予防を実現

予測された情報を基に、具体的にヒト・モノ・カネといった要素が用意され、さらに効果的にさまざまな立場から広く「予報」していくことで、より多くの人がなんらかの手間やコストをかけて「予め防ぐ」という行為を行うようになる。すなわち、社会的に体制が整い、社会を構成する個人個人に受け入れられてはじめて予防が実現することになる。予報は広報に組み込まれることが重要で、ここでいう広報（Public Relations）には、教育・啓発といった意味合いも含まれる。

ここまで述べてきたそれぞれのステップに関わる専門家同士が、社会の一員として互いの役割を認識しながら連携（分業と協力）していくことで、初めて予防が実現すると言えるだろう。また、予防には時間やお金などのコストがかかるため、その効果検証が重要である。予防普及の有無を実際に比較することは難しいが、シミュレーションによりその効果を予測することはできる。客観的な予測によって計画（plan）された予防方法を実際に社会に広め（do）、その効果を検証し（see）、改善（action）し続けるという management cycle、いわゆる PDCA マネージメントサイクルに則った社会構築を目指す必要がある。

（島村麻子）

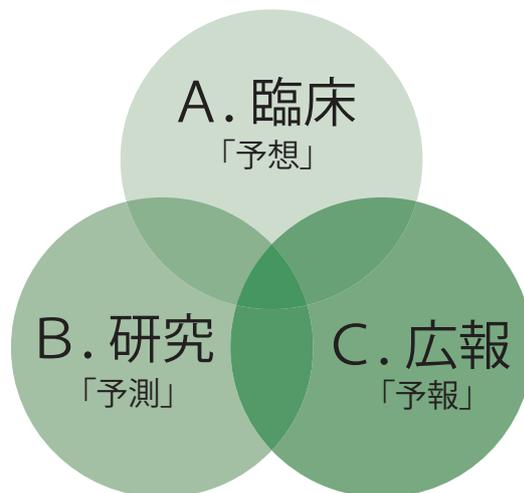


図4 予防の関連3分野



## 事例紹介 アニコムSTOP誤飲プロジェクト（一部抜粋）



### A. 臨床

犬の誤飲事故の約半数の現場は、飼い主さんと一緒にいる時で（48%）、散歩中や留守番中などよりも多く発生している（図5）。また、動物病院における聞き取り調査によると「口にくわえたので、取ろうとしたら飲みこんでしまった」という声がよく聞かれるとの報告もある。誤飲の発生要因の1つとして、「飼い主さんとどうぶつとの奪い合い」が背景にあると推測する動物行動学者もいる。

### B. 研究

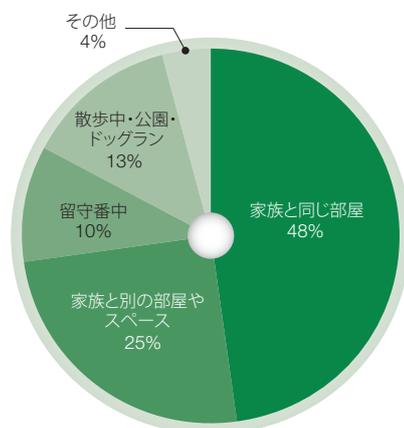
犬の誤飲発生との関連が考えられる24要因について、飼い主さんにアンケートを実施した結果、そのうち11要因と誤飲歴に強い関連が認められた（表1）。これらのうち【A群】7要因は、特定の飼育条件や特定の行動パターンに関するものであった。対策案として「飼い主さんが誤飲リスクを認識することで環境整備等への意欲を高める」などの施策【対策案A】を具体的に考えていけば誤飲発生を抑制できる可能性がある。残りの【B群】4要因は、飼い主さんの誤飲リスクに対する意識に関するものであった。しつけ指導やパピークラスに通ったことがある、チョコレートなど犬が食べてはいけないものをよく知っている、といったこれらのことは、一見誤飲発生のリスクを低減すると考えられるが、本調査からは逆に増加するという結果が得られた。これは犬の誤飲を経験した飼い主さんが再発防止のために勉強しているということを反映しているものとも解釈できる。一方で、誤飲リスクに対する意識が高い飼い主さんが、「犬がモノをくわえただけで慌てた声

を出す」などの言動により、犬も慌てて（モノを取り上げられないように？）飲み込んでしまう、といった事故が起きている可能性もある。これらに関しては、時間的因果関係を考慮した研究を行っていきたいと考えている。

また、要因候補すべてに対して対策を行うことが難しい場合は、時間的、経済的な費用対効果を考え優先順位をつけるなど、より効率的な対策を立てることも重要になる。その点を考慮した詳細な分析（コストベネフィット分析など）についても検討が必要であると考えている。

### C. 広報

広報は、「何を、誰に、どうやって」伝えるかをデザインし、戦略的に行って初めて効果がある。誤飲予防を目的とした広報としては、「何を＝誤飲の発生状況など誤飲の怖さ」を「誰に＝飼い主さん」に「どうやって＝HP・新聞・テレビなどのメディアをつかって」伝えることは、誤飲予防への意識を高めるうえで重要である（図6）。その一方で、誤飲の怖さを伝えるだけでは、犬が何かモノをくわえた時に、人が慌てて声をかけるようになり、そのことでかえって犬がモノを飲みこんでしまい、誤飲事故につながる可能性も示唆されている。そこで、アニコムの発行するSTOP誤飲新聞（図7）では、発生状況を伝えるだけでなく、「口にくわえても、慌てない」「貸して・ちょうだいの練習は効果的」などと、単に誤飲の怖さを伝えるだけにはとどまらないよう配慮した内容を心がけている。



2012年10月10日～15日に実施したアニコム損保契約者に対する『どうぶつのケガや事故の経験に関するインターネット調査（有効回答数2,329）』から、誤飲事故経験を有する301件を基に集計

図5 誤飲発生状況

表1 誤飲経験との関連が認められた11要因

【A群：7要因】

特定の飼育条件や特定の行動パターンに関するもの

要因	オッズ比※
多頭飼育である	1.4 (1.2~1.6)
避妊・去勢手術をしている	1.6 (1.4~1.9)
ご飯を食べるのが早い	1.6 (1.4~1.8)
食糞をすることがある	1.6 (1.1~1.5)
散歩の時などによく草を食べる	1.4 (1.2~1.7)
散歩の時などに拾い食いをする	2.0 (1.7~2.4)
何でもよく口にする	2.3 (1.7~2.7)

【対策案A】

飼い主さんが誤飲リスクを認識することで環境整備等への意欲を高める。

【B群：4要因】

飼い主さんの誤飲リスクに対する意識に関するもの

要因	オッズ比※
しつけの指導を受けたことがある	1.7 (1.5~2.0)
パピークラスを受けたことがある	1.6 (1.3~1.9)
飼い主が、犬が食べてはいけないものを中程度知っている	1.7 (1.3~2.3)
飼い主が、犬が食べてはいけないものをよく知っている	2.6 (1.9~3.6)

【対策案B】

飼い主さんへ誤飲リスクをお伝えする時には、「万が一、口にくわえても、慌てないようにしましょう」とのメッセージを追加する。

※犬種調整済み。( )内は、95%信頼区間。

2012.02.07  
アニコム損保ニュースリリース  
「犬のチョコレート中毒は2月が最多！誤飲に注意」

掲載実績  
●全国紙（朝日新聞）1紙  
●地方紙・専門紙（東京新聞、富山新聞、北国新聞、河北新報、保険毎日新聞）5紙  
●テレビ（フジテレビ系スーパーニュース・めざましテレビ、日本テレビ系 スッキリ、TBS系 ひるおび!）4番組

図6 メディアを活用した広報例

STOP 誤飲新聞 2012年秋創刊号

誤飲事故による保険金請求件数は、1ヶ月あたり約1,100件！

請求年月	件数
2012年4月	1,036
2012年5月	1,152
2012年6月	1,041
2012年7月	1,167
2012年8月	1,113

ワゴンちゃんの「竹串」の誤飲に注意！

STOP 誤飲新聞 2012年秋創刊号

どうぶつさんが食べてはいけないもののリスト

- たまねぎ、ねぎ、にんにく、にんにく
- チョコレート、お菓類
- 生のかぼちゃ、エビなどの魚介類
- レーズン・ブドウ
- 生卵の殻
- 骨や肉の骨
- 生肉

※アニコム損保ホームページよりダウンロード可 [www.anicom-page.com/labo/imgs/goin001.pdf](http://www.anicom-page.com/labo/imgs/goin001.pdf)

図7 STOP 誤飲新聞



## 第3部

# どうぶつの疾患統計

### [本書における罹患率について]

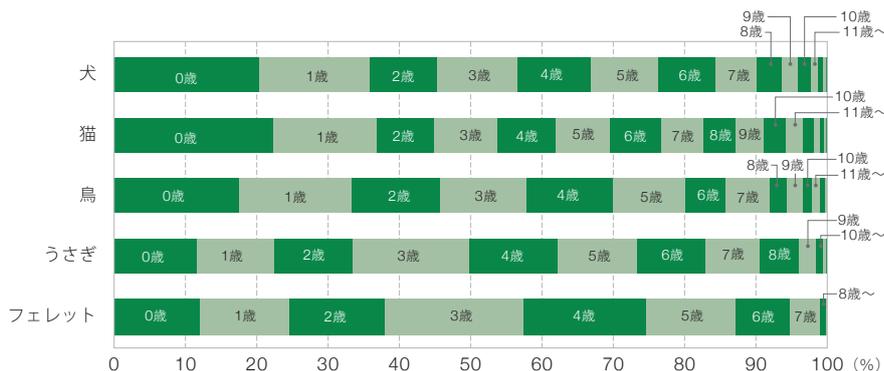
本書では、「罹患率=保険金支払いのあったどうぶつの数/保険に契約しているどうぶつの数」と定義した。保険契約期間は1年間であるため、継続契約であるかどうかにかかわらず、あくまで1年間で保険金支払いがあったどうぶつを「罹患どうぶつ」としてカウントしている。また、アニコム「どうぶつ健保」に契約しているどうぶつには、新規契約時に年齢制限があること、ペットショップからどうぶつを迎える際に保険契約を検討するケースが多いことにより、若齢どうぶつが多い(3-0-1)。そこで、年齢(または年齢・性別)による各群の母集団が10,000頭となるように補正した後に、全体平均を算出し、罹患率としている。

### [オッズ比について]

犬の各品種間における疾患別リスクを表すために、各犬種群とその犬種以外の対照群とに分け、当該犬種の「他の犬種に対するオッズ比」を求めた。オッズ比が1から離れて大きくなるほど他犬種と比較してリスクが高いとみなすことができる。しかし、あくまで他犬種との比較であるため、当該疾患の罹患率も加味したうえでご活用いただきたい。

\*オッズ比・・・ある事象の起こりやすさを2つの群で比較して示した指標。オッズ比が1とは、対象とする事象の起こりやすさが両群で同じということであり、1より大きい(小さい)とは、事象が第1群(第2群)でより起こりやすいということを意味する。

3-0-1 アニコム損保の「どうぶつ健保」契約どうぶつの年齢構成



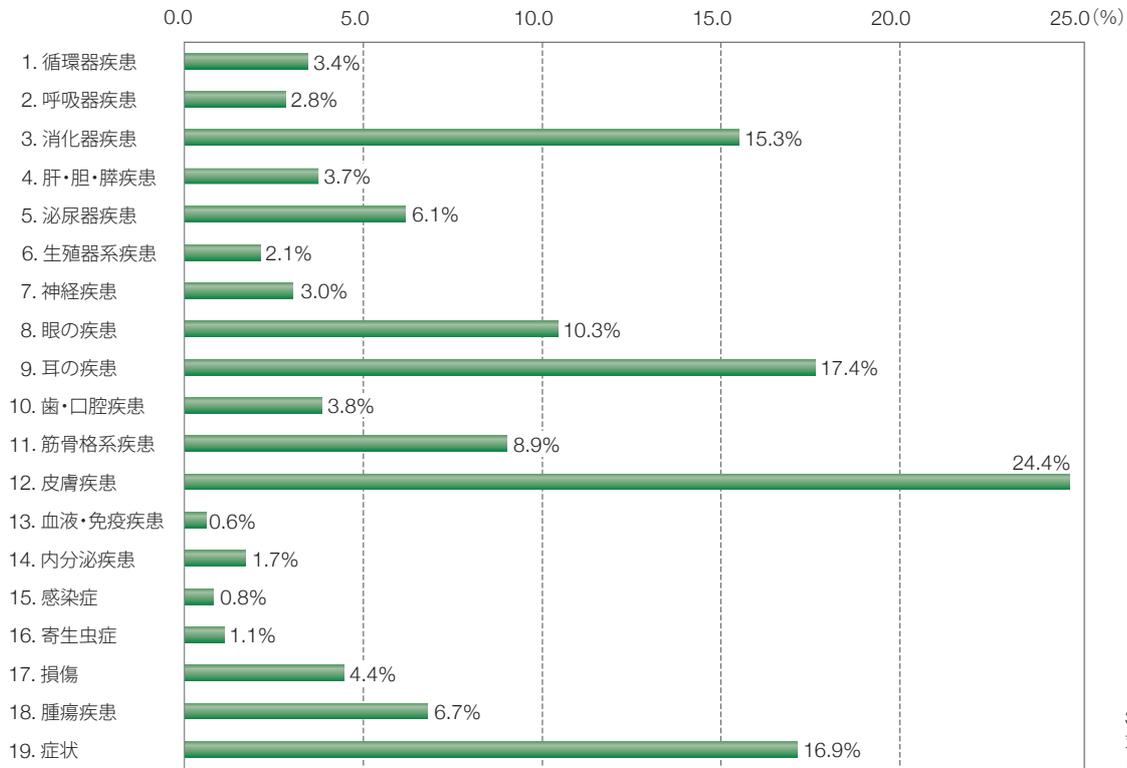
対象：2011年4月1日～2012年3月31日までの間に、アニコム損保の保険契約で満期を迎えた犬299,555頭、猫31,573頭、鳥427羽、うさぎ2,394頭、フェレット2,021頭(解除・取消を除く)。

## 3. Statistics on household animal diseases

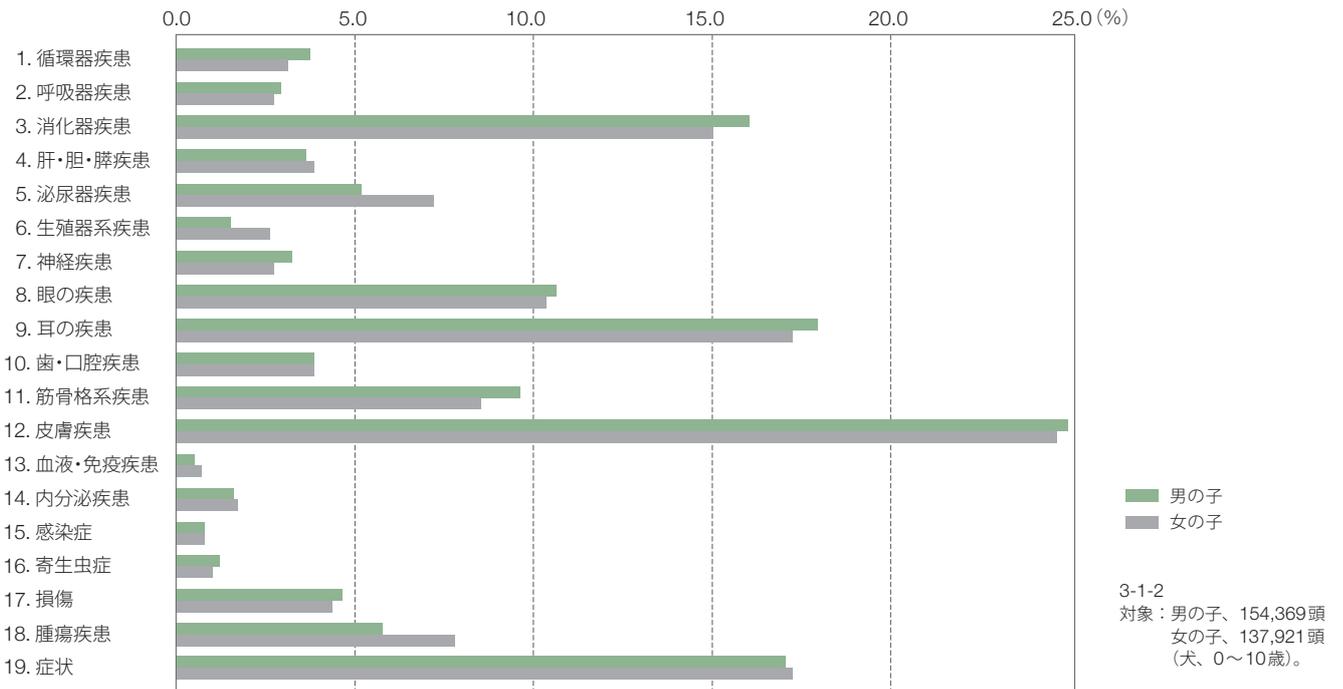
2011年4月1日～2012年3月31日までの間に、アニコム損保の保険契約で満期を迎えたどうぶつを対象とした。契約満了または死亡解約となった各個体の1年ごとの契約について、その契約が開始した年齢ごとに1契約=1頭とみなして算出している。罹患率でとくに記載のないものは、0～10歳の平均とした。

# 1. 犬

## 3-1-1 犬の疾患（大分類単位）別の罹患率



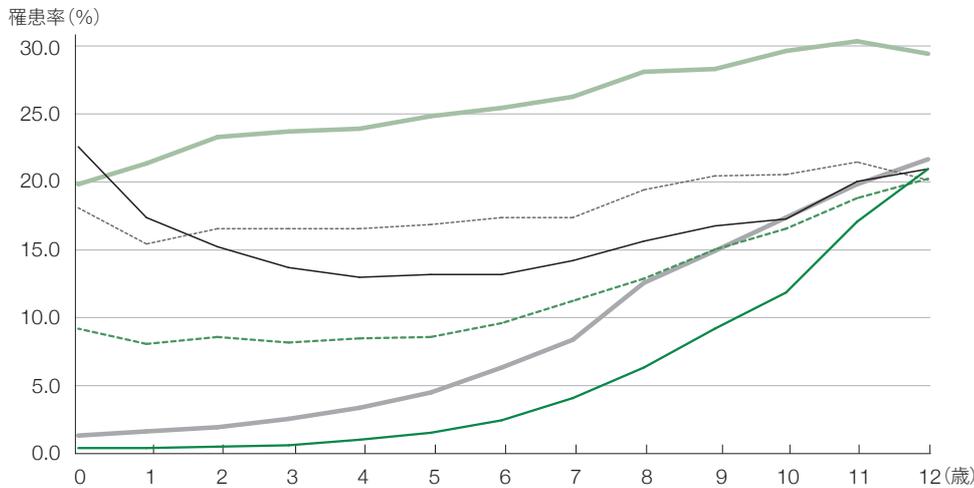
## 3-1-2 犬の罹患率の男女比較



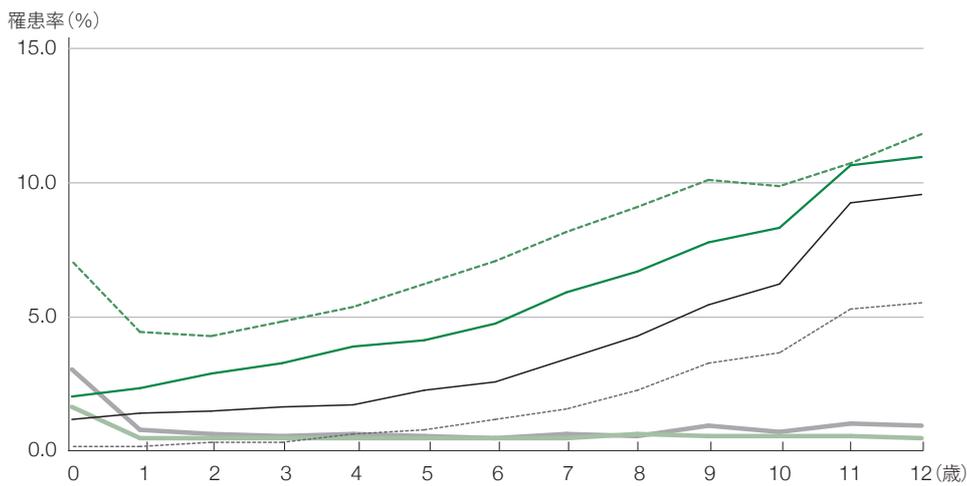


# 第1章 疾患（大分類単位）別の統計

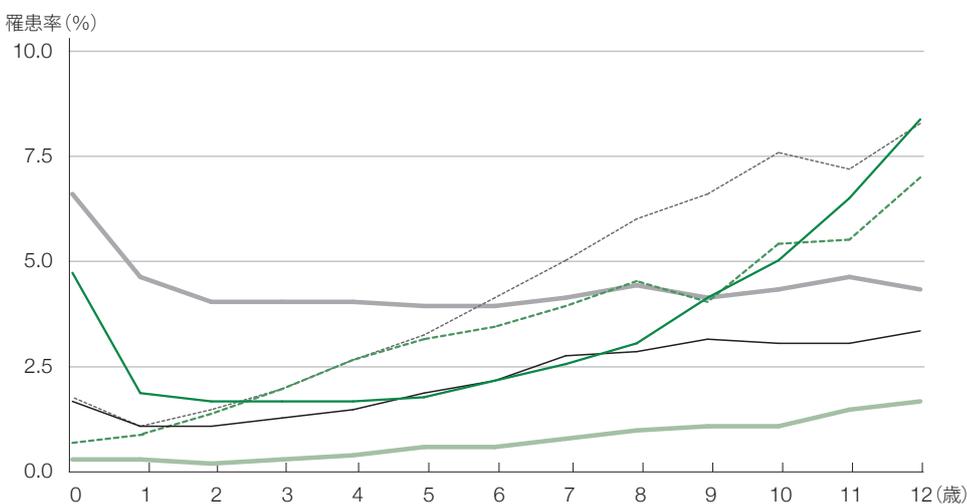
## 3-1-3 犬の罹患率の年齢推移①



## 3-1-4 犬の罹患率の年齢推移②

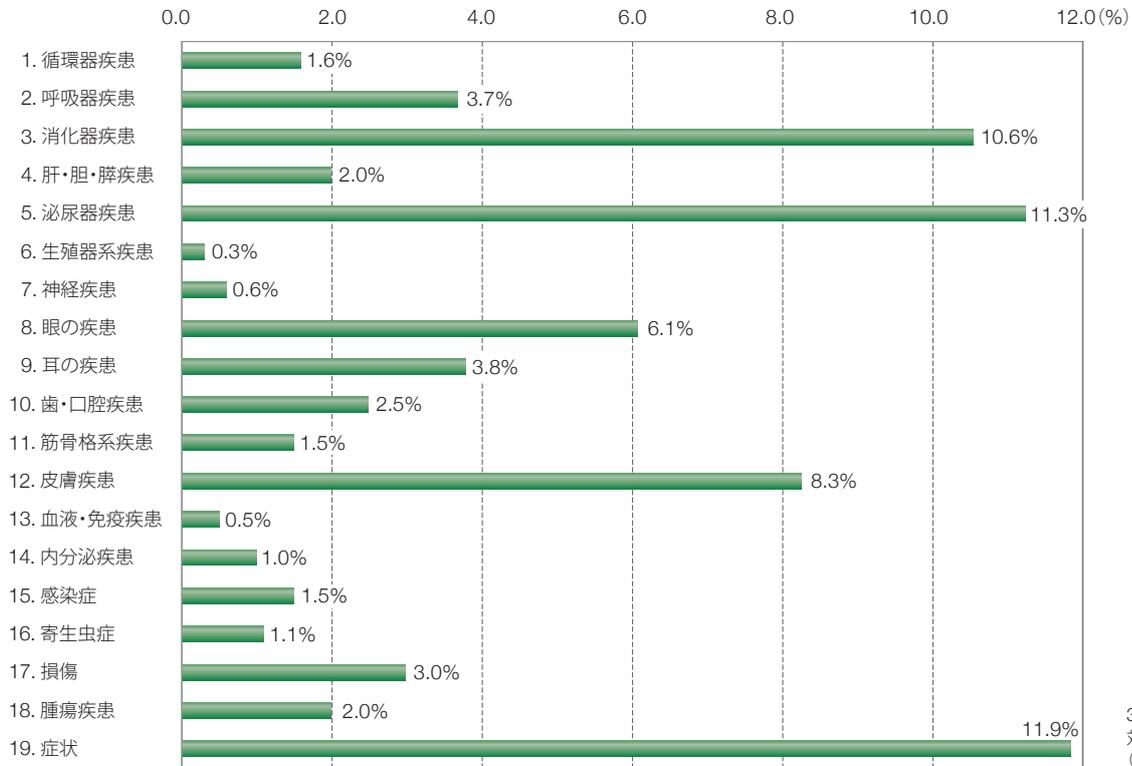


## 3-1-5 犬の罹患率の年齢推移③



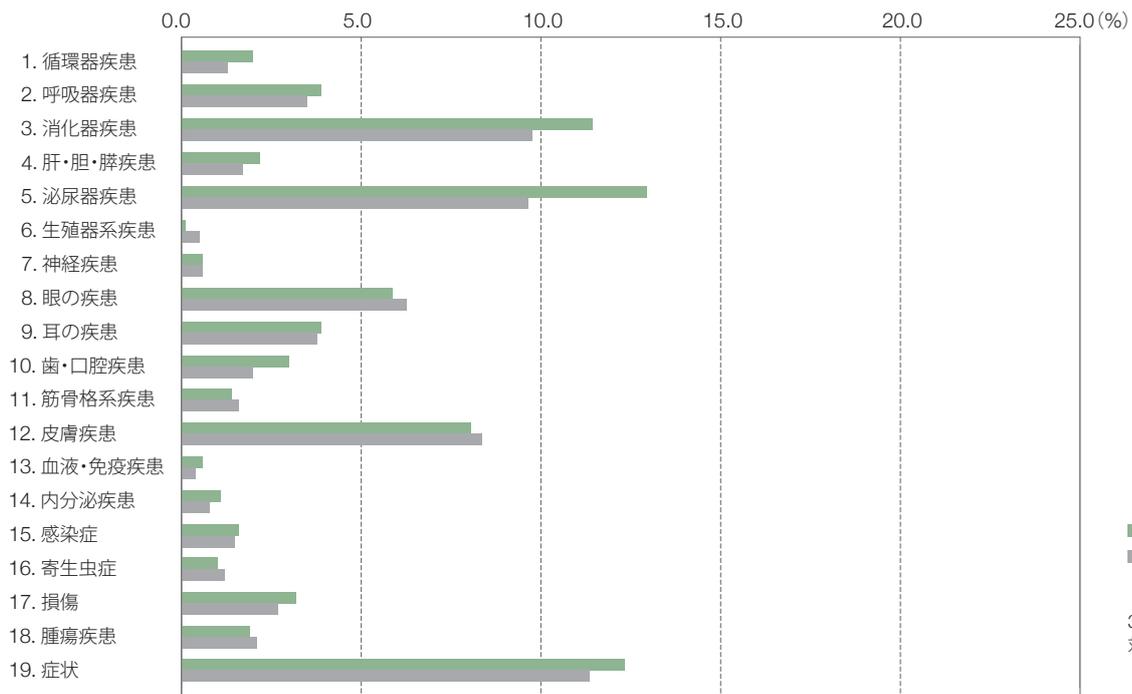
2. 猫

3-1-6 猫の疾患（大分類単位）別の罹患率



3-1-6  
対象：29,783頭  
(猫、0～10歳)。

3-1-7 猫の罹患率の男女比較

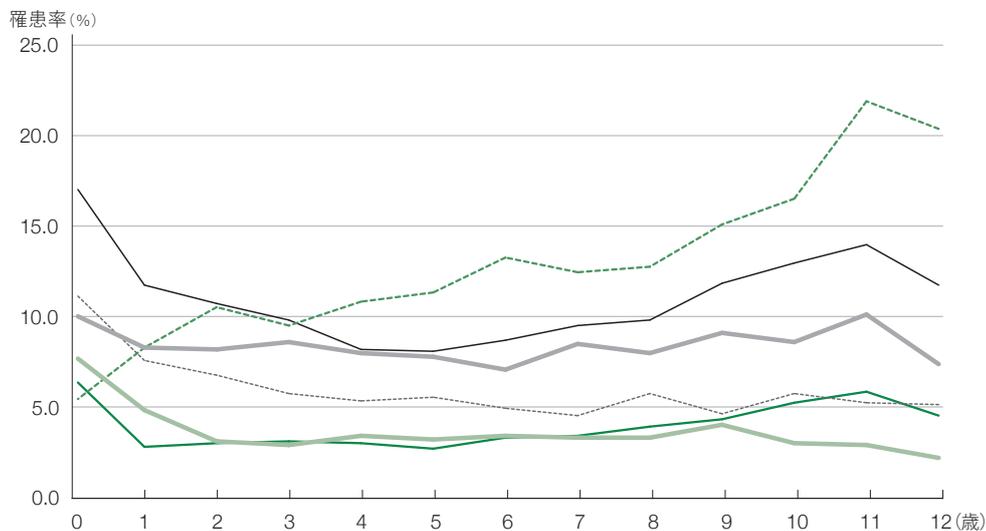
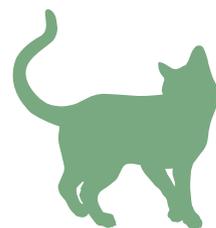


3-1-7  
対象：男の子、16,200頭  
女の子、13,583頭  
(猫、0～10歳)。



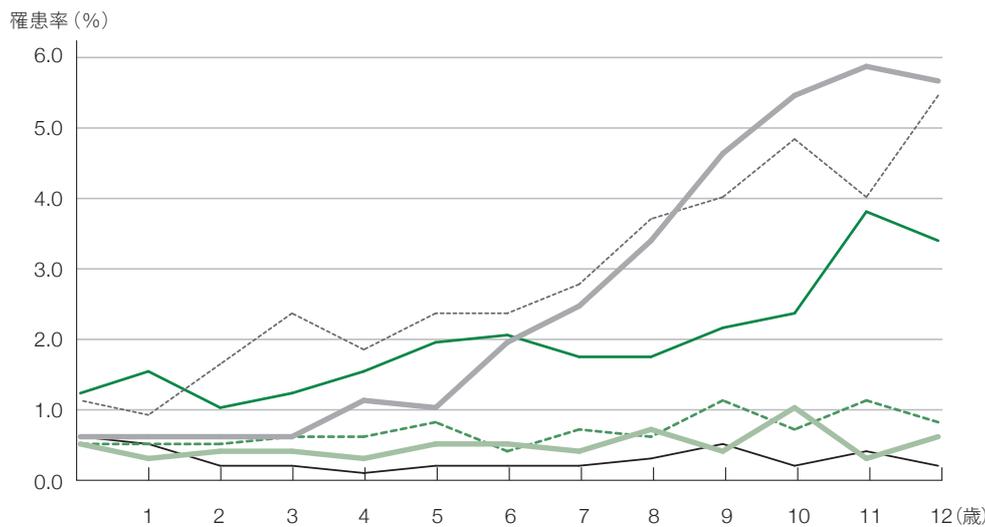
# 第1章 疾患（大分類単位）別の統計

## 3-1-8 猫の罹患率の年齢推移①



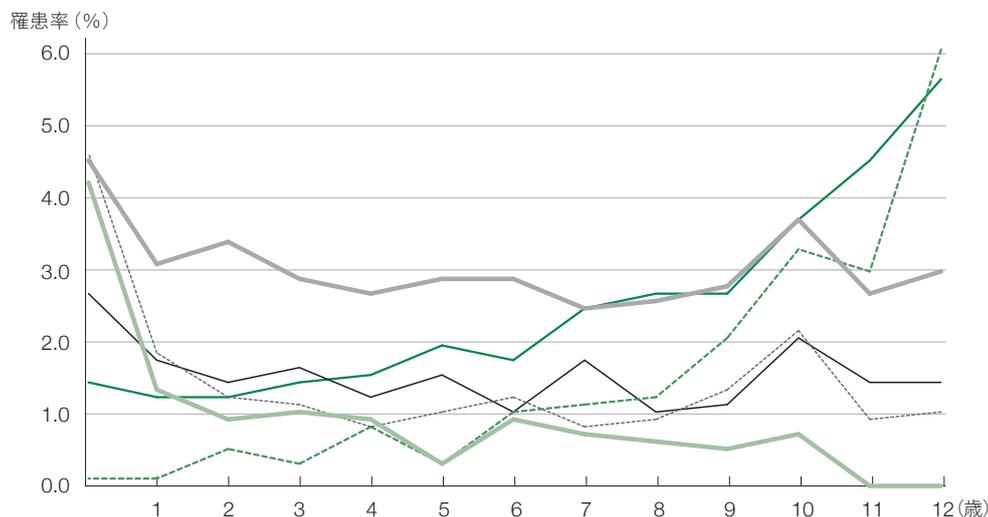
- 2. 呼吸器疾患
- 3. 消化器疾患
- - - 5. 泌尿器疾患
- ⋯ 8. 眼の疾患
- 9. 耳の疾患
- 12. 皮膚疾患

## 3-1-9 猫の罹患率の年齢推移②



- 1. 循環器疾患
- 6. 生殖系疾患
- - - 7. 神経疾患
- ⋯ 10. 歯・口腔疾患
- 13. 血液・免疫疾患
- 18. 腫瘍疾患

## 3-1-10 猫の罹患率の年齢推移③

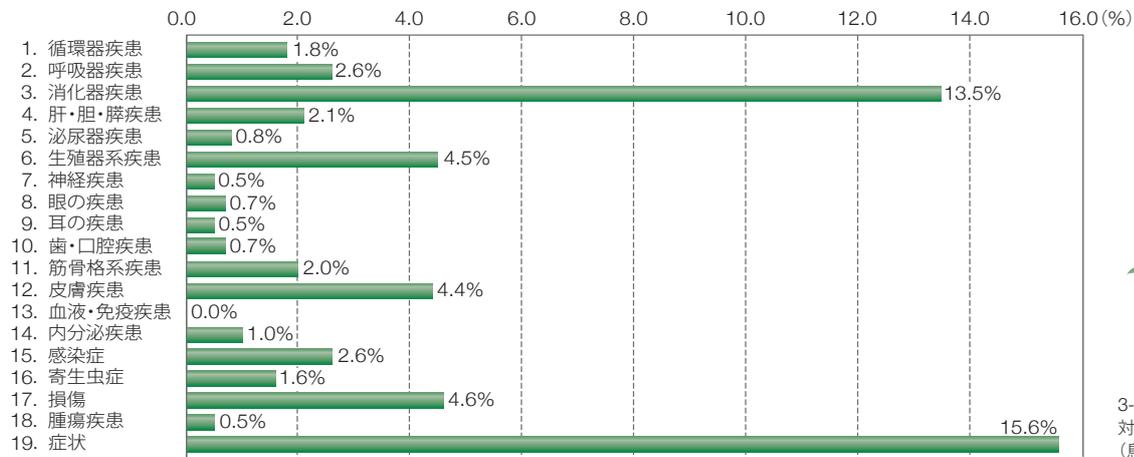


- 4. 肝・胆・脾疾患
- 11. 筋骨格系疾患
- - - 14. 内分泌疾患
- ⋯ 15. 感染症
- 16. 寄生虫症
- 17. 損傷

3-1-8～3-1-10  
対象：31,002頭（猫、0～10歳）。

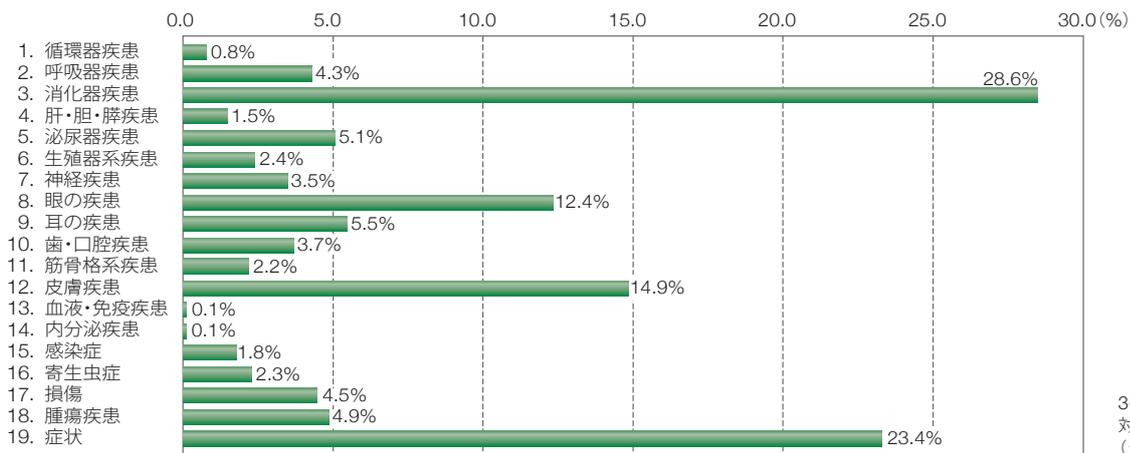
### 3. 鳥・うさぎ・フェレット

3-1-11 鳥の疾患（大分類単位）別の罹患率



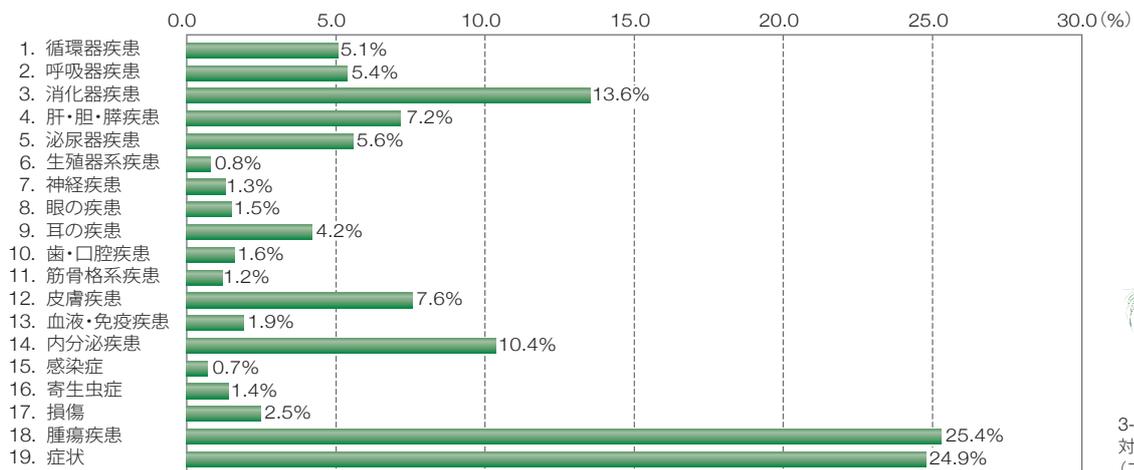
3-1-11  
対象：366羽  
(鳥、0～6歳)。

3-1-12 うさぎの疾患（大分類単位）別の罹患率



3-1-12  
対象：2,016頭  
(うさぎ、0～6歳)。

3-1-13 フェレットの疾患（大分類単位）別の罹患率

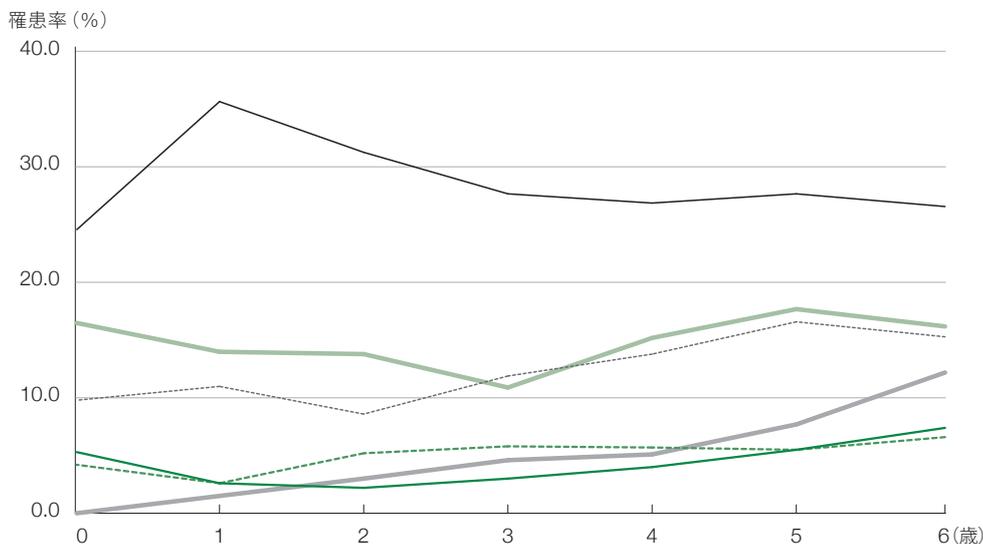


3-1-13  
対象：1,916頭  
(フェレット、0～6歳)。

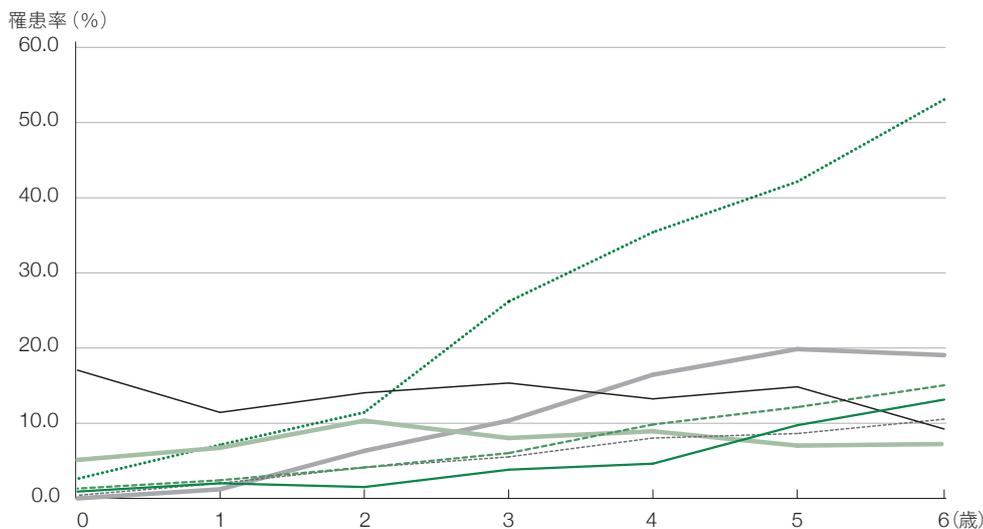


第1章 疾患（大分類単位）別の統計

3-1-14 うさぎの罹患率の年齢推移



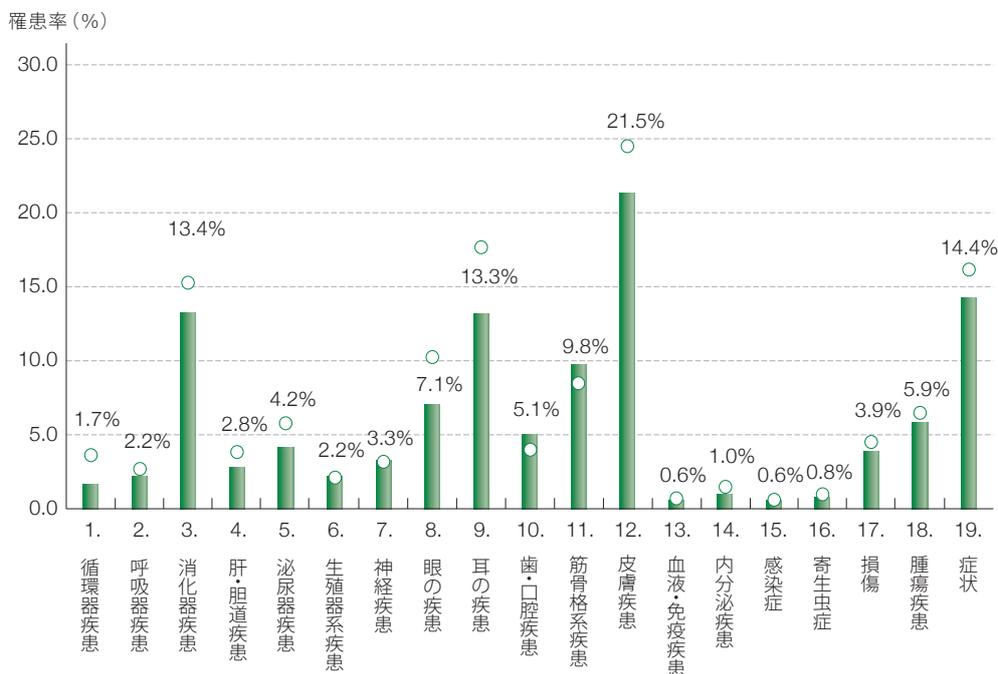
3-1-15 フェレットの罹患率の年齢推移



## 第2章 品種別の統計

### 1. ミニチュア・ダックスフンド

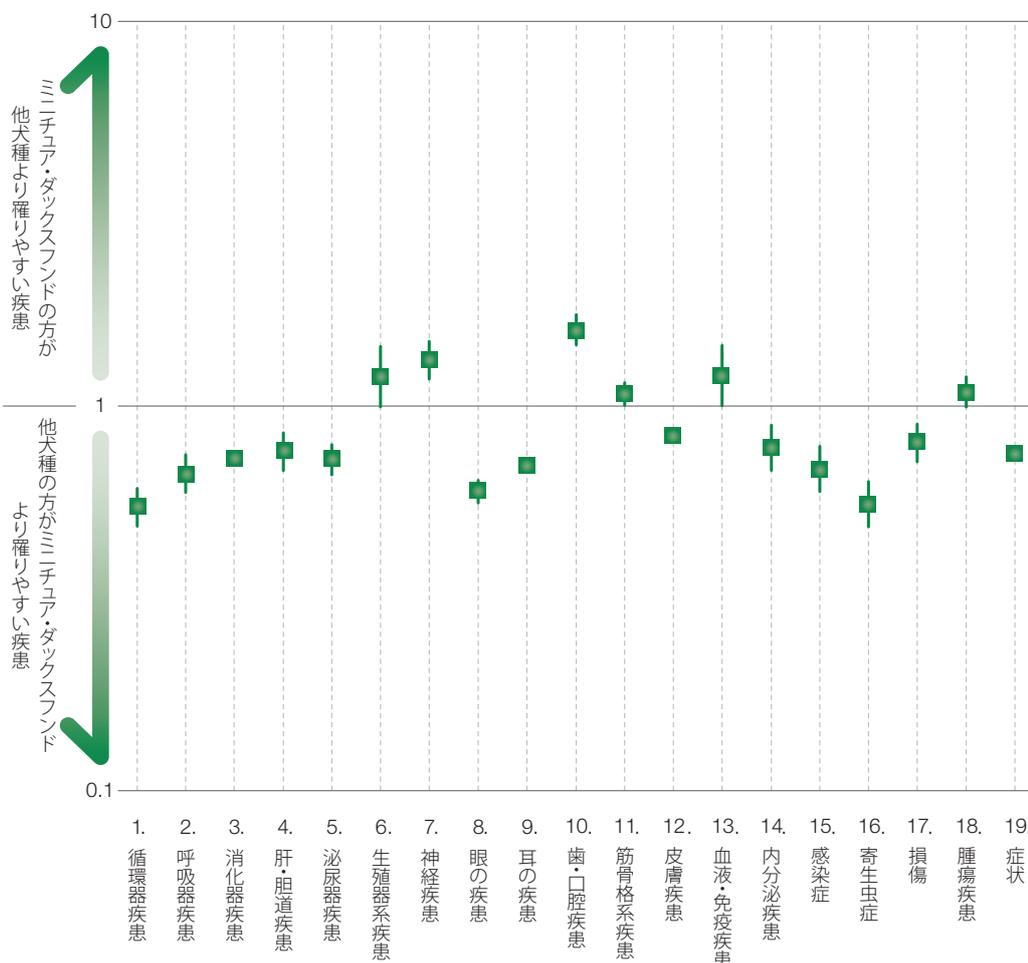
#### 3-2-1 疾患（大分類単位）別の罹患率



■ ミニチュア・ダックスフンド  
○ 犬全体平均

3-2-1  
対象：49,058頭（ミニチュア・ダックスフンド、0～10歳）。

#### 3-2-2 疾患別のお他犬種との比較



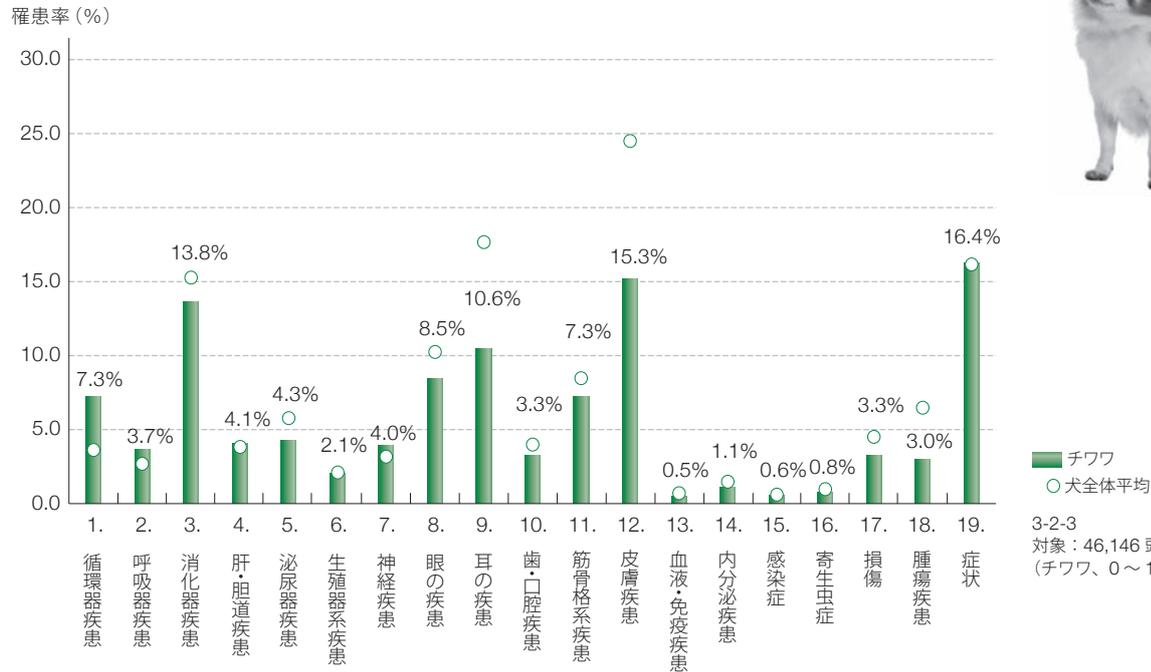
3-2-2  
対象：犬全体299,648頭（うちミニチュア・ダックスフンド50,341頭）。  
疾患別にミニチュア・ダックスフンドとそれ以外の犬種に関してオッズ比とその95%信頼区間を示した。数値は巻末の参考資料（P.63）に記載した。



## 第2章 品種別の統計

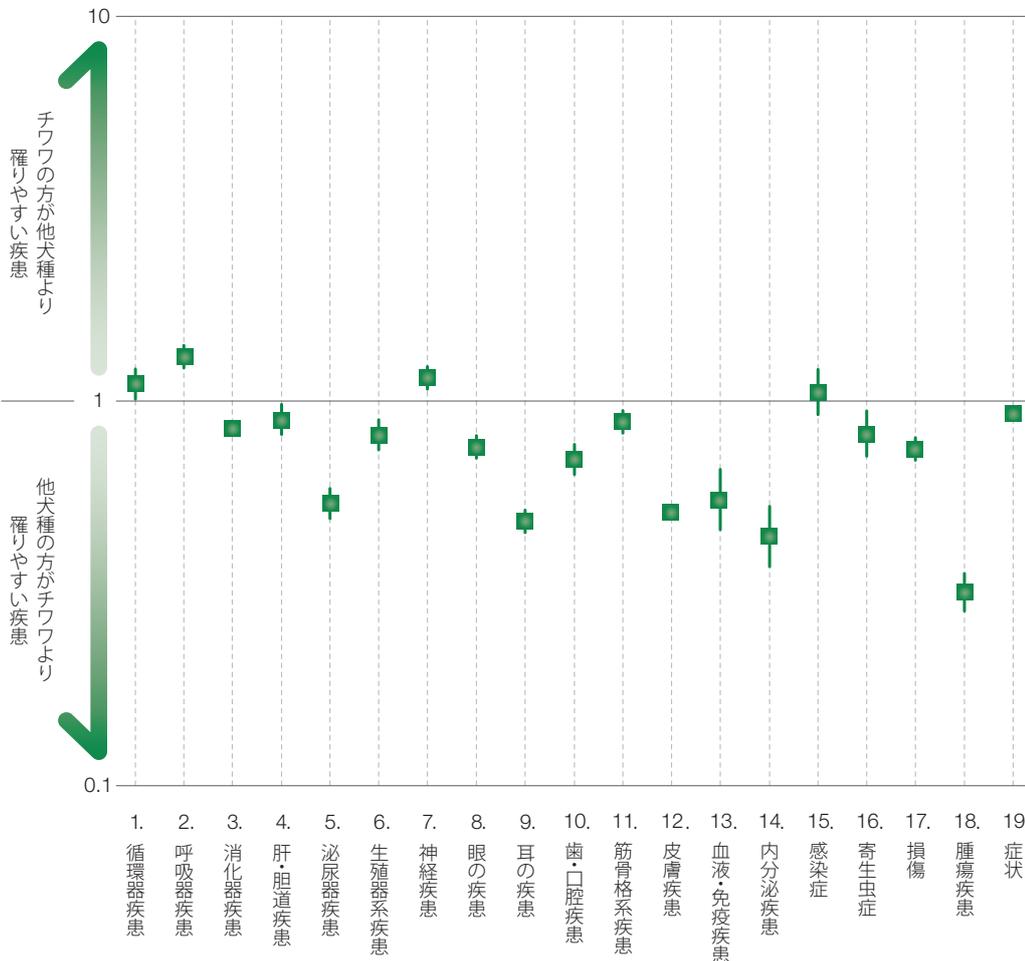
### 2. チワワ

#### 3-2-3 疾患（大分類単位）別の罹患率



3-2-3  
対象：46,146頭  
(チワワ、0～10歳)。

#### 3-2-4 疾患別の他犬種との比較

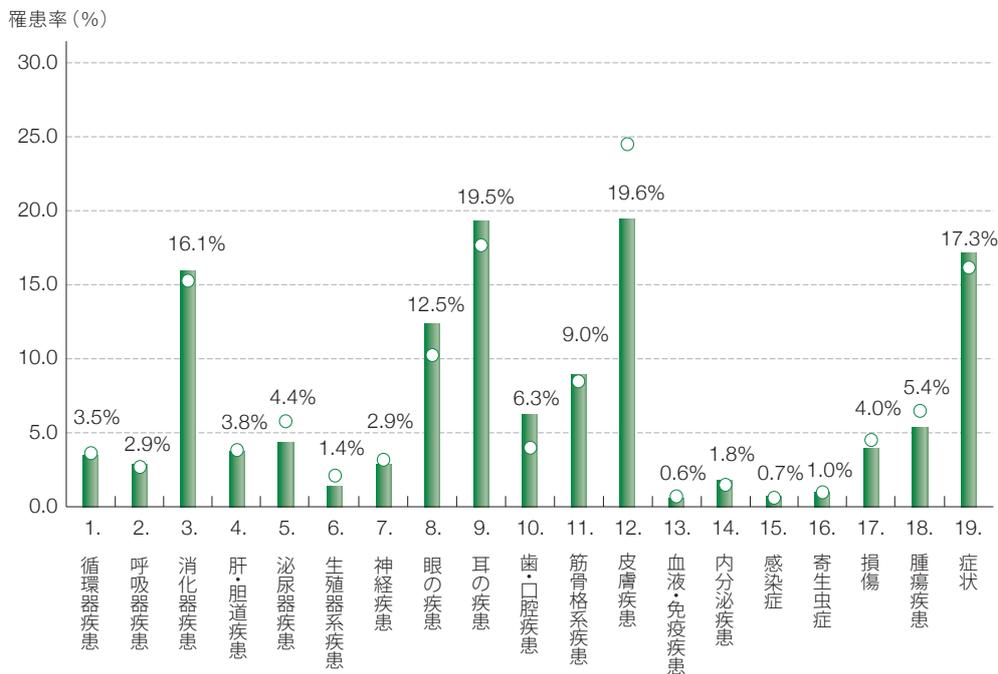


3-2-4  
対象：犬全体299,648頭（うちチワワ46,424頭）。  
疾患別にチワワとそれ以外の犬種に関してオッズ比とその95%信頼区間を示した。数値は巻末の参考資料（P.63）に記載した。

## 第2章 品種別の統計

### 3. トイ・プードル

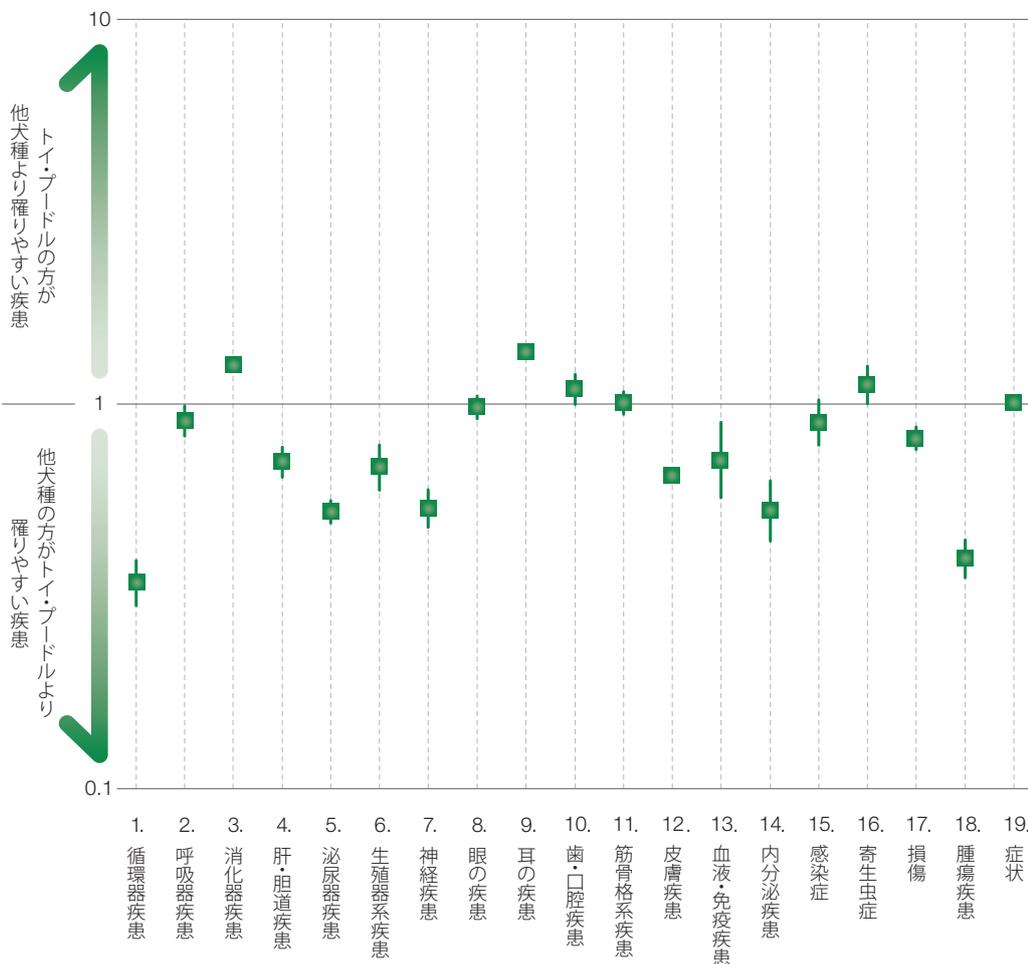
#### 3-2-5 疾患（大分類単位）別の罹患率



■ トイ・プードル  
○ 犬全体平均

3-2-5  
対象：45,182 頭  
(トイ・プードル、0～10歳)。

#### 3-2-6 疾患別の他犬種との比較

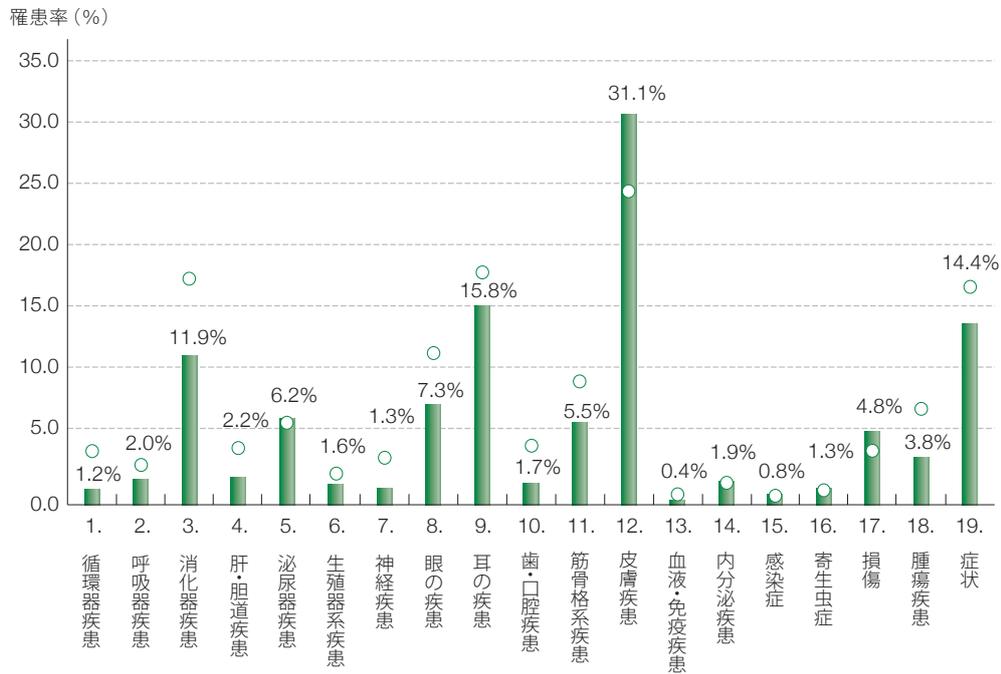


3-2-6  
対象：犬全体299,648頭（うちトイ・プードル45,393頭）。  
疾患別にトイ・プードルとそれ以外の犬種に関してオッズ比とその95%信頼区間を示した。数値は巻末の参考資料（P.63）に記載した。

第2章 品種別の統計

4. 柴

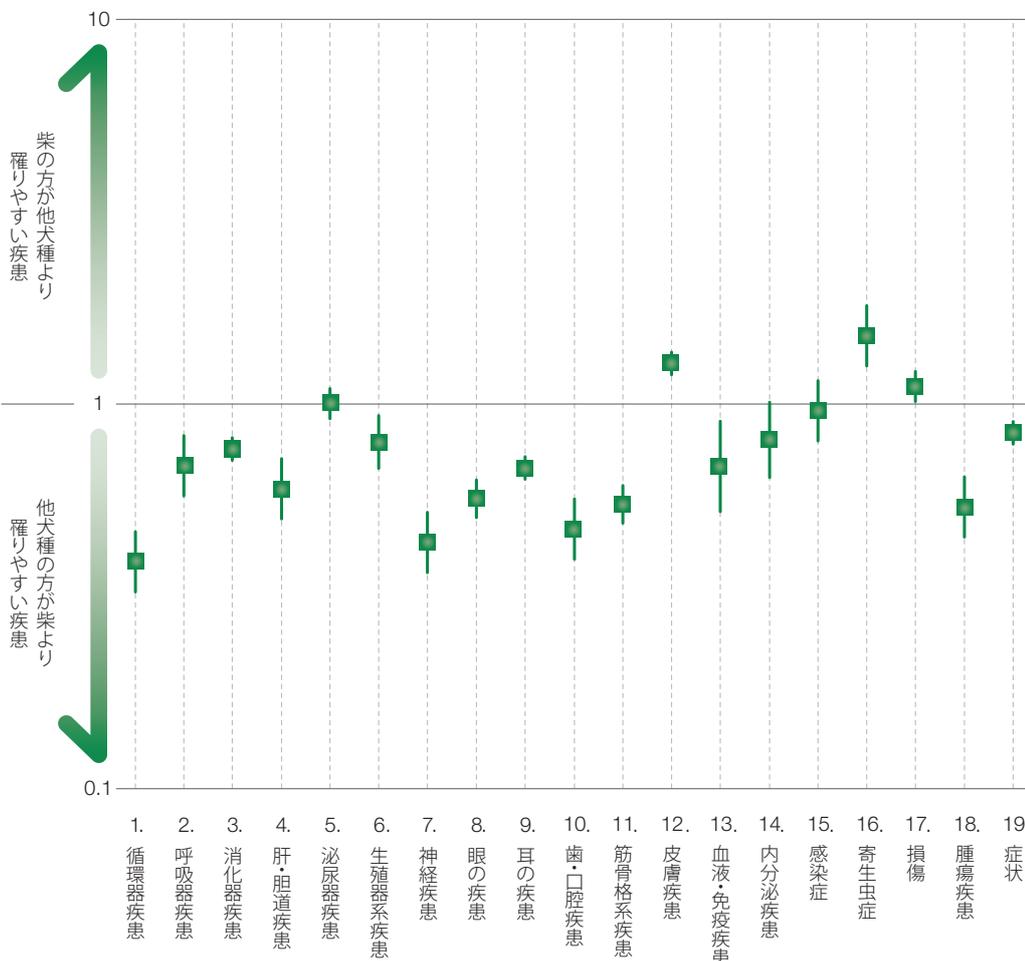
3-2-7 疾患（大分類単位）別の罹患率



■ 柴  
○ 犬全体平均

3-2-7  
対象：14,335頭  
(柴、0～10歳)。

3-2-8 疾患別の他犬種との比較

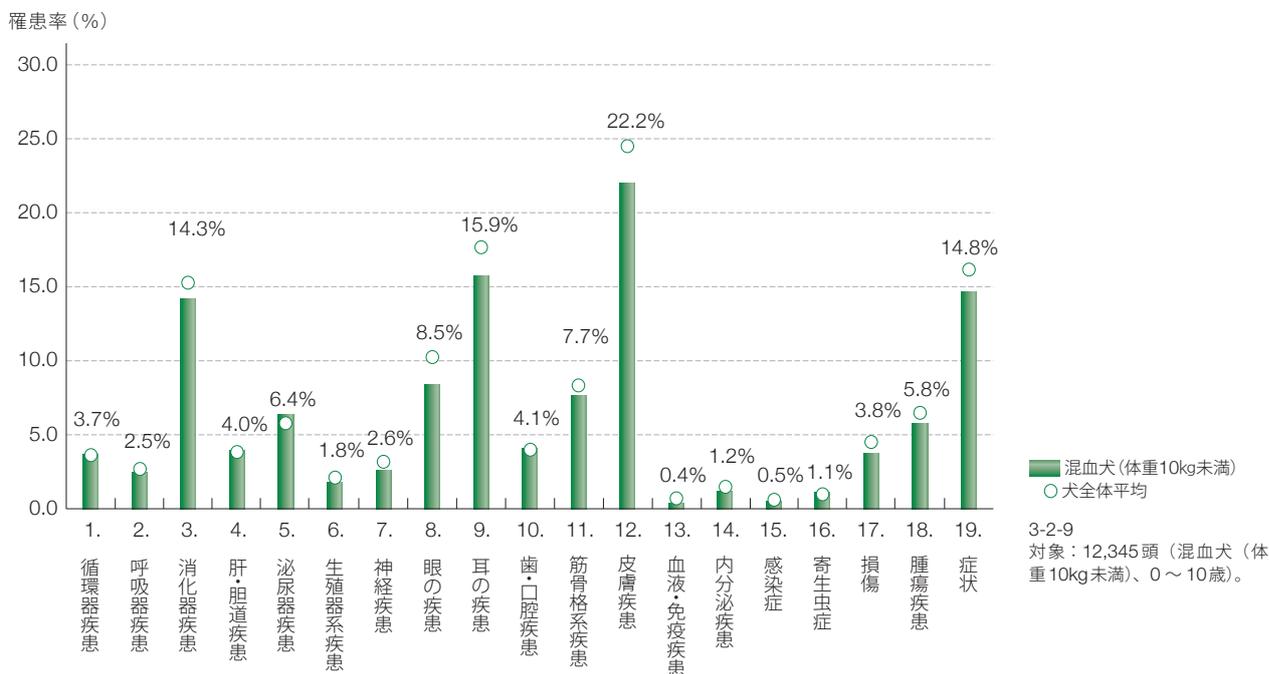


3-2-8  
対象：犬全体299,648頭（うち柴14,656頭）。  
疾患別に柴とそれ以外の犬種に関してオッズ比とその95%信頼区間を示した。数値は巻末の参考資料（P.63）に記載した。

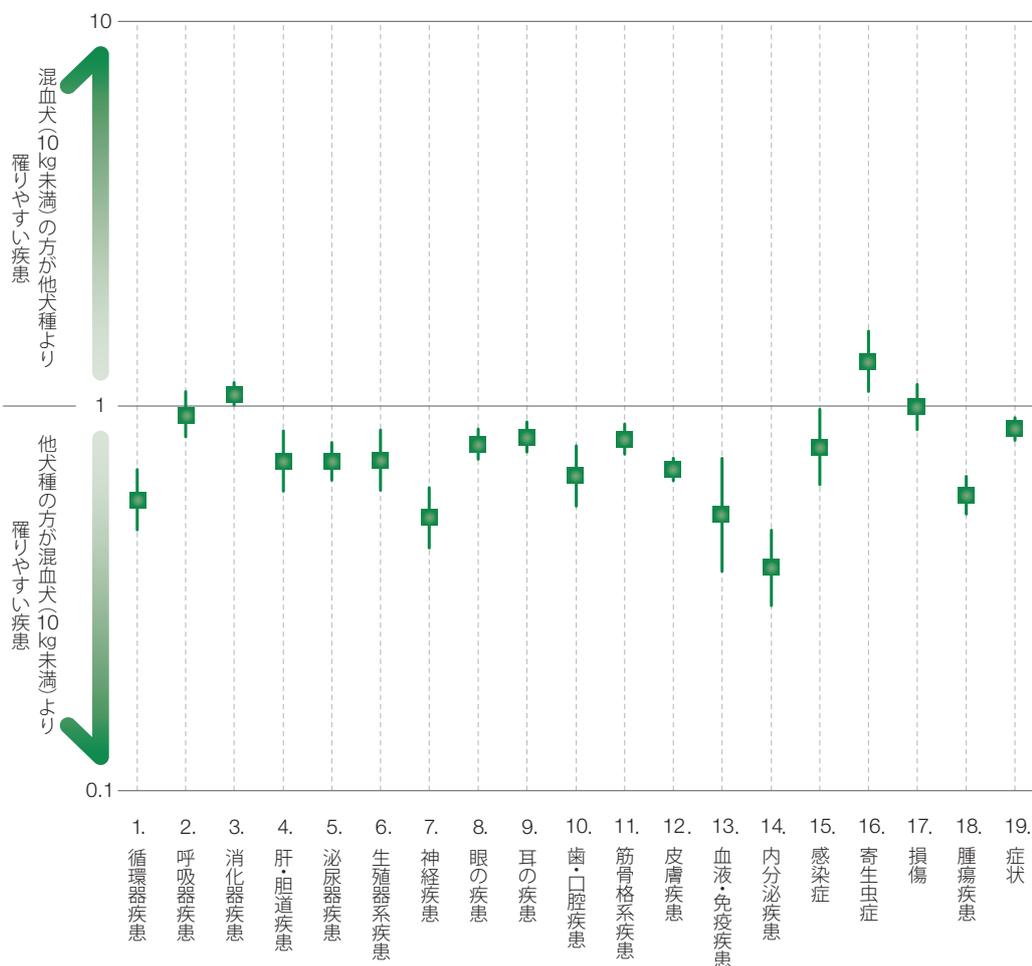
第2章 品種別の統計

5. 混血犬（10 kg未満）

3-2-9 疾患（大分類単位）別の罹患率



3-2-10 疾患別の他犬種との比較



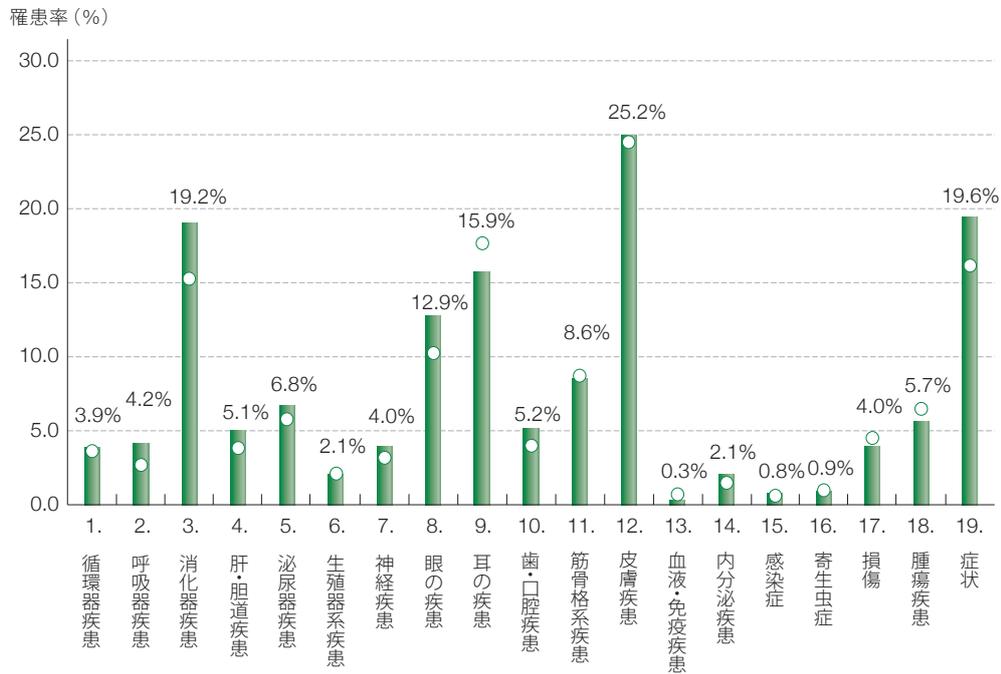
3-2-10  
対象：犬全体299,648頭（うち混血犬（10kg未満）12,542頭）。  
疾患別に混血犬（10kg未満）とそれ以外の犬種に関してオッズ比とその95%信頼区間を示した。数値は巻末の参考資料（P.63）に記載した。



## 第2章 品種別の統計

### 6. ヨークシャー・テリア

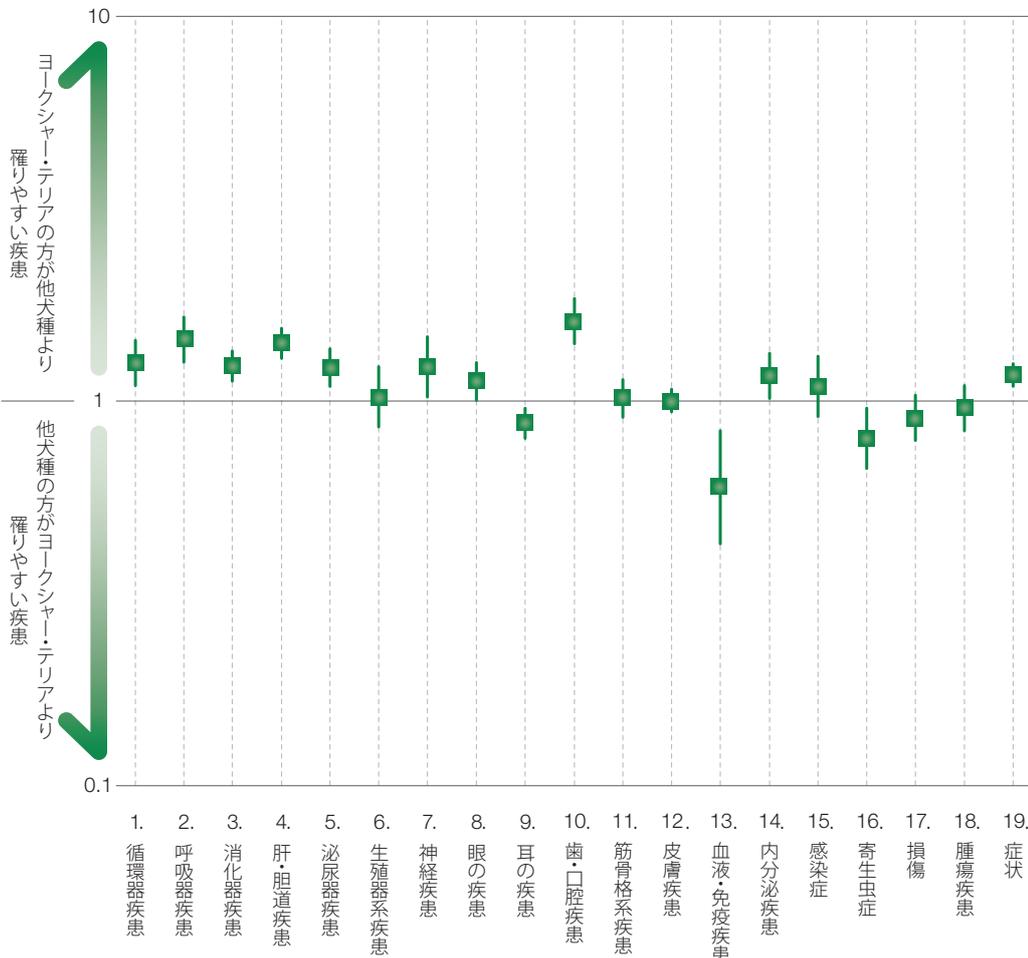
#### 3-2-11 疾患（大分類単位）別の罹患率



■ ヨークシャー・テリア  
○ 犬全体平均

3-2-11  
対象:10,278頭(ヨークシャー・テリア、0~10歳)。

#### 3-2-12 疾患別の他犬種との比較



3-2-12

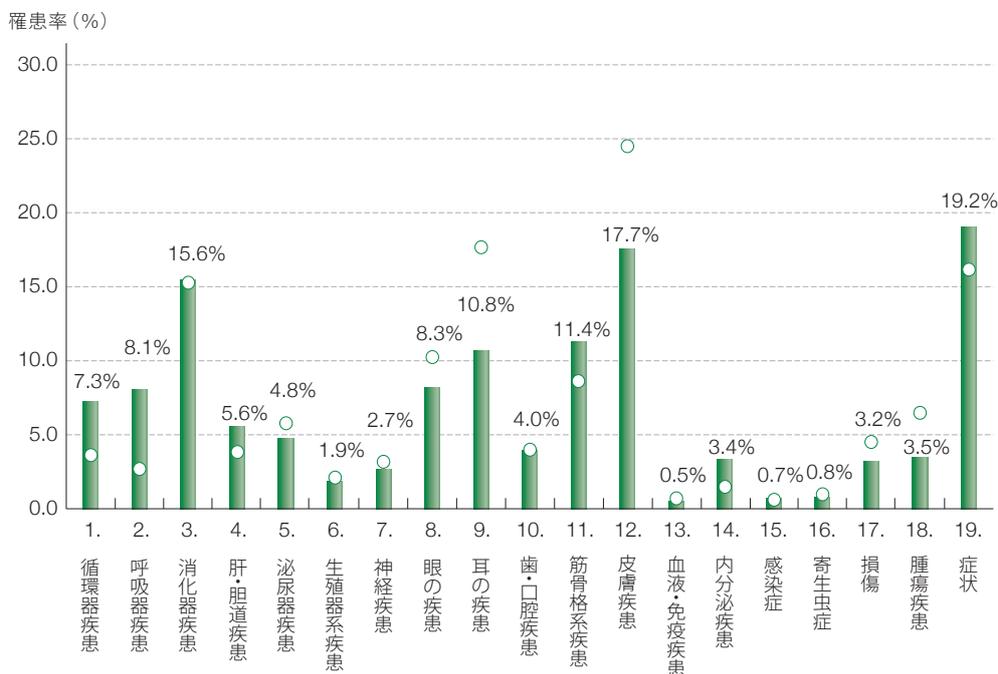
対象：犬全体299,648頭（うちヨークシャー・テリア10,625頭）。

疾患別にヨークシャー・テリアとそれ以外の犬種に関してオッズ比とその95%信頼区間を示した。数値は巻末の参考資料（P.63）に記載した。

第2章 品種別の統計

7. ポメラニアン

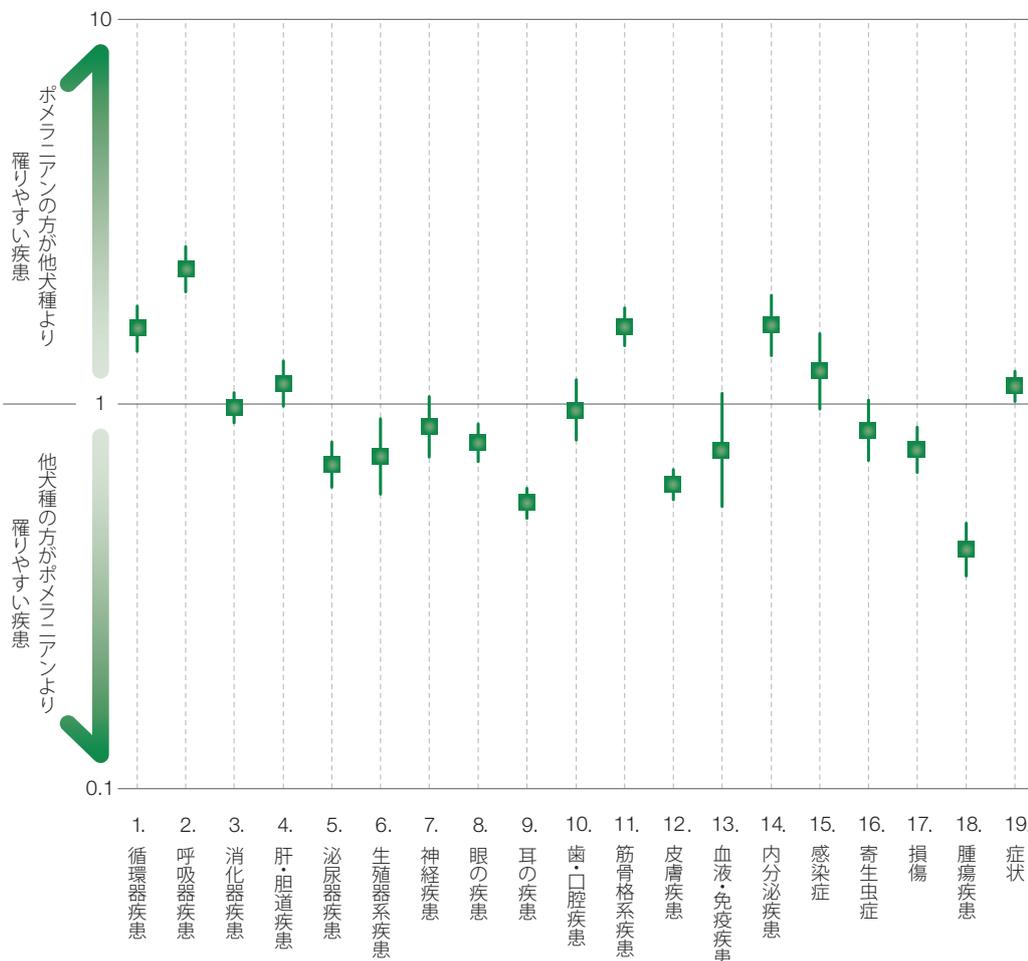
3-2-13 疾患（大分類単位）別の罹患率



■ ポメラニアン  
○ 犬全体平均

3-2-13  
対象：9,171頭（ポメラニアン、0～10歳）。

3-2-14 疾患別の他犬種との比較



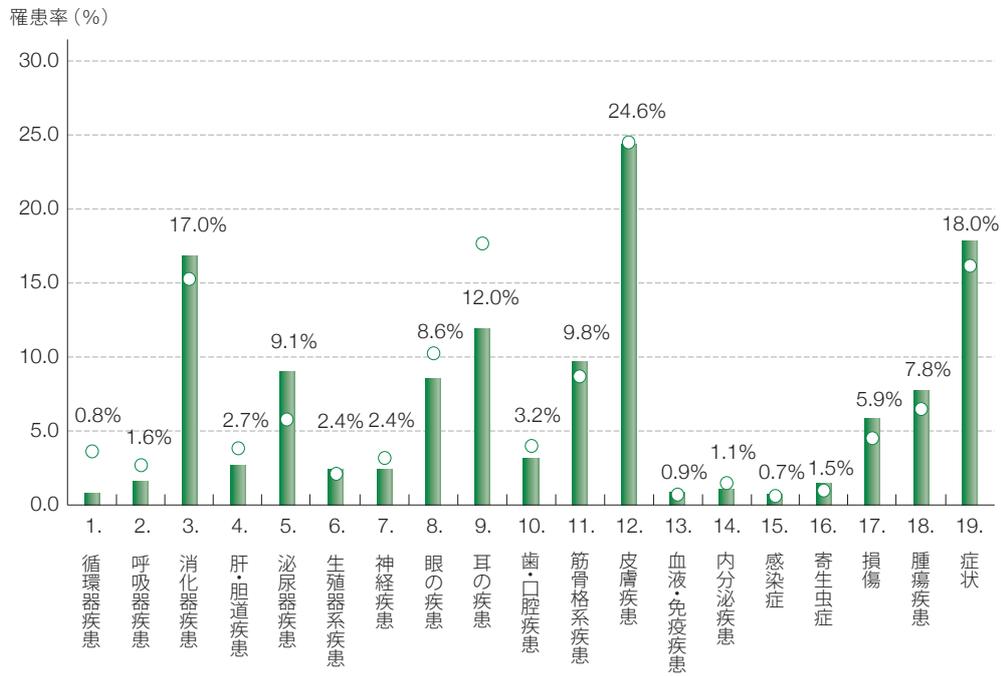
3-2-14  
対象：犬全体299,648頭（うちポメラニアン9,369頭）。  
疾患別にポメラニアンとそれ以外の犬種に関してオッズ比とその95%信頼区間を示した。数値は巻末の参考資料（P.64）に記載した。



## 第2章 品種別の統計

### 8. ウェルシュ・コーギー・ペンブローク

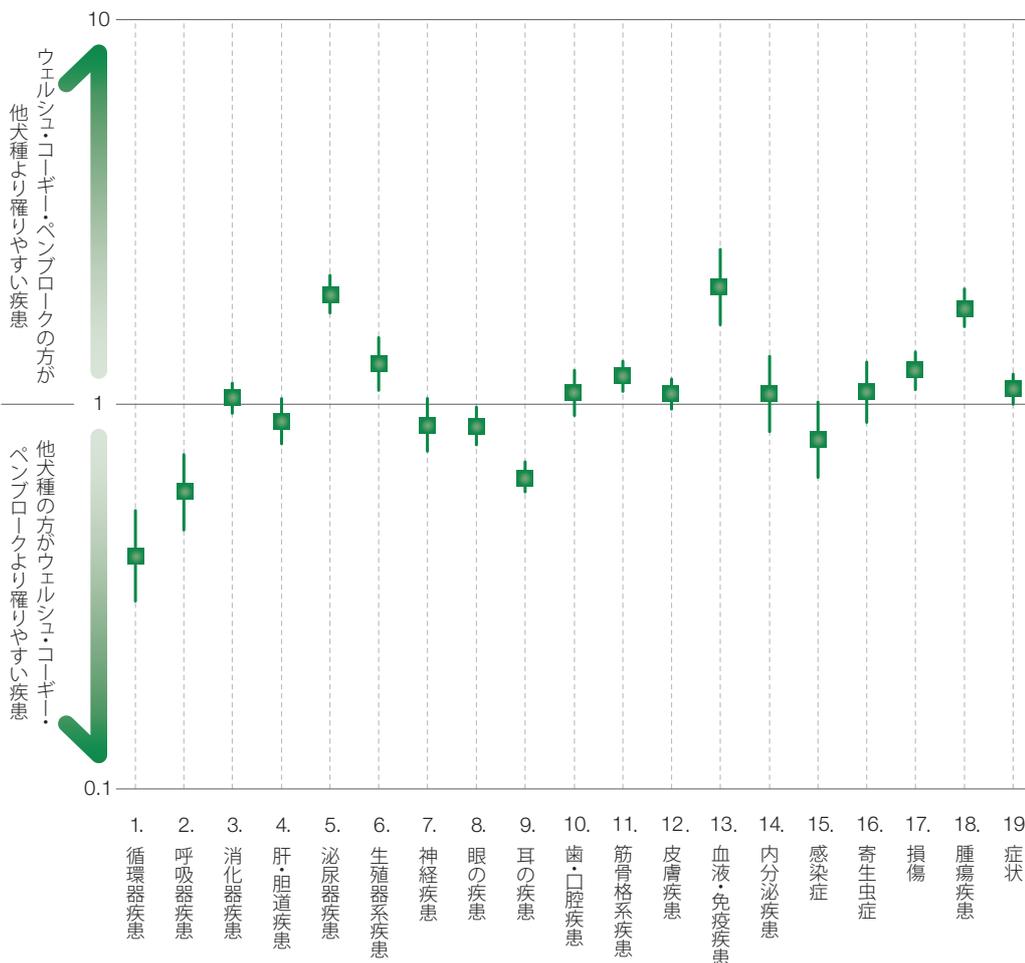
#### 3-2-15 疾患（大分類単位）別の罹患率



■ ウェルシュ・コーギー・ペンブローク  
○ 犬全体平均

3-2-15  
対象：8,701頭（ウェルシュ・コーギー・ペンブローク、0～10歳）。

#### 3-2-16 疾患別の他犬種との比較

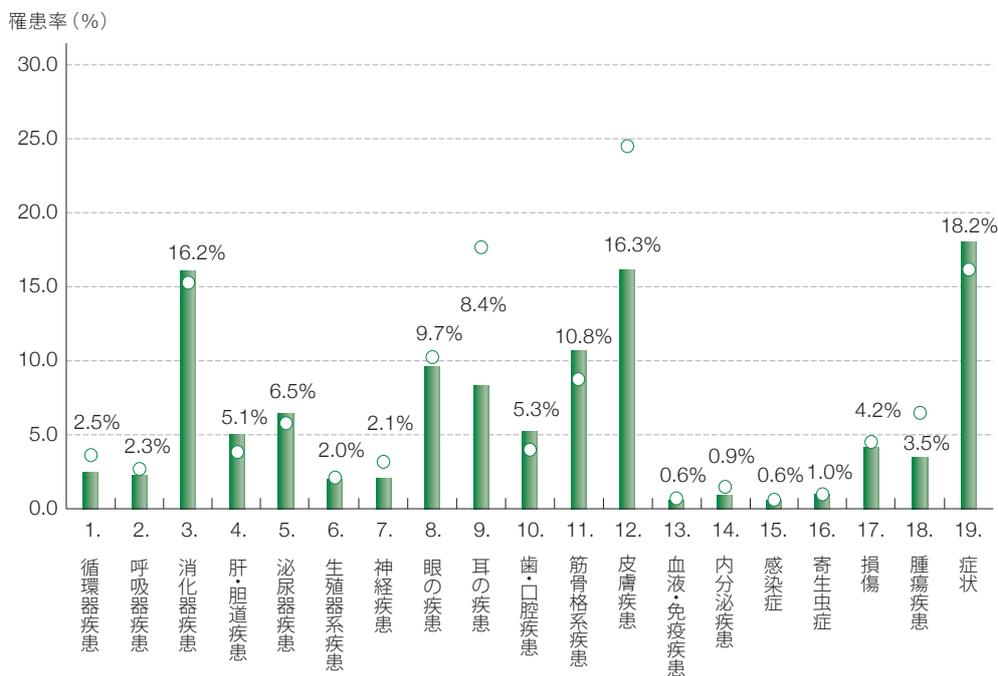


3-2-16  
対象：犬全体299,648頭（うちウェルシュ・コーギー・ペンブローク9,034頭）。  
疾患別にウェルシュ・コーギー・ペンブロークとそれ以外の犬種に関してオッズ比とその95%信頼区間を示した。数値は巻末の参考資料(P.64)に記載した。

第2章 品種別の統計

9. パピヨン

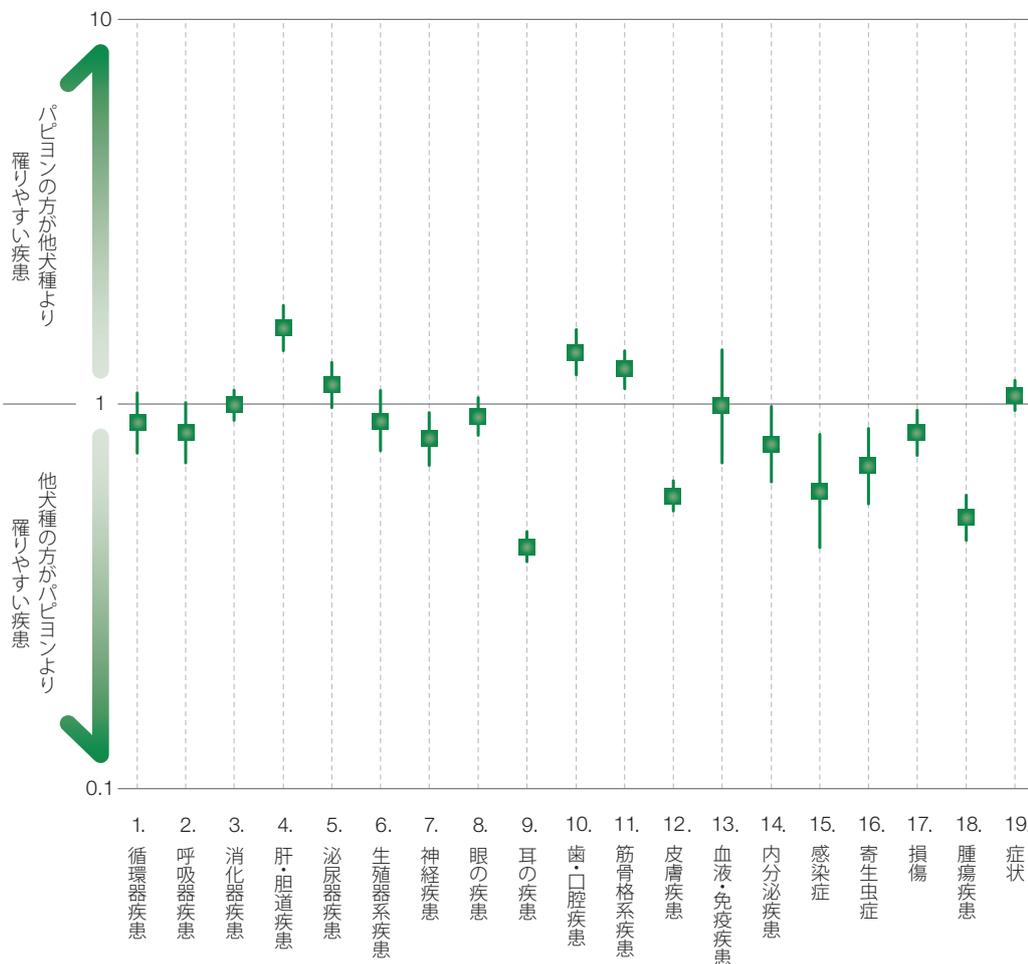
3-2-17 疾患（大分類単位）別の罹患率



■ パピヨン  
○ 犬全体平均

3-2-17  
対象：8,728頭（パピヨン、0～10歳）。

3-2-18 疾患別の他犬種との比較



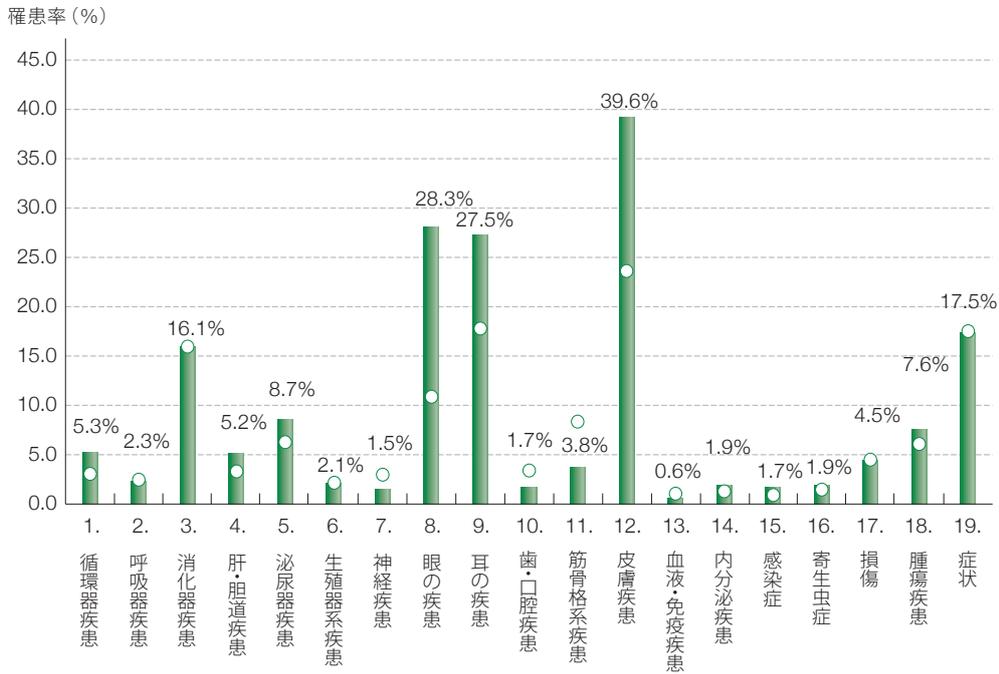
3-2-18  
対象：犬全体299,648頭（うちパピヨン8,973頭）。  
疾患別にパピヨンとそれ以外の犬種に関してオッズ比とその95%信頼区間を示した。数値は巻末の参考資料（P.64）に記載した。



## 第2章 品種別の統計

### 10. シー・ズー

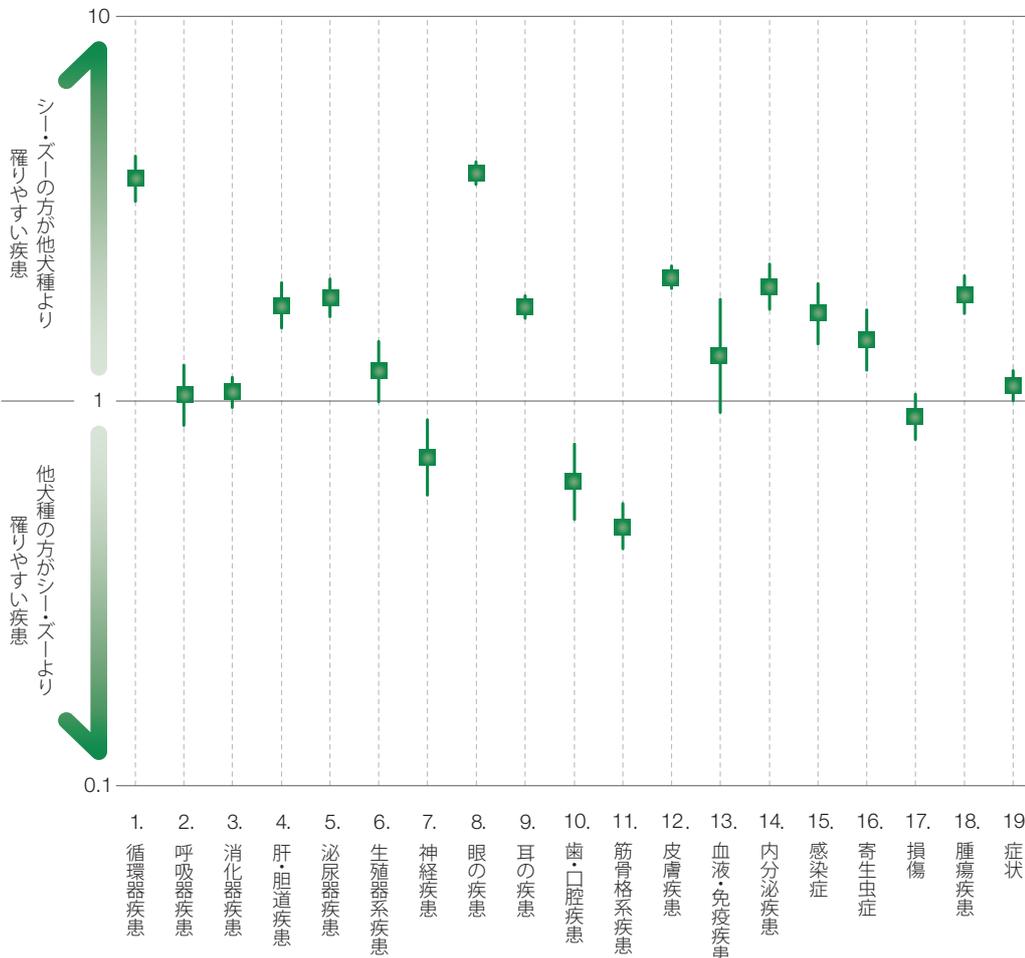
#### 3-2-19 疾患（大分類単位）別の罹患率



■ シー・ズー  
○ 犬全体平均

3-2-19  
対象：7,457頭  
(シー・ズー、0～10歳)。

#### 3-2-20 疾患別の他犬種との比較

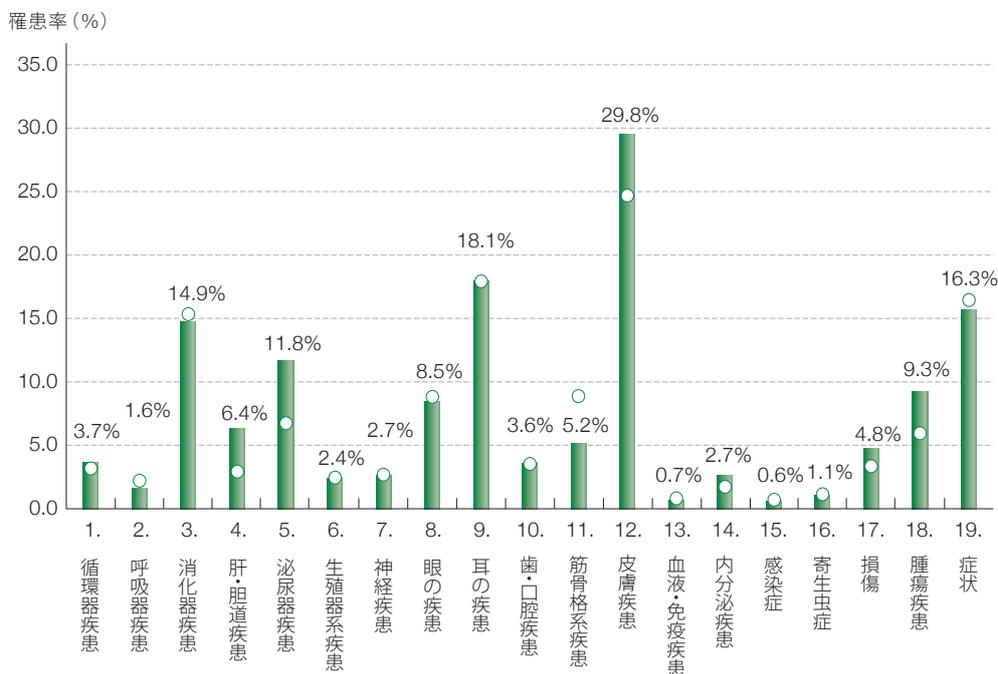


3-2-20  
対象：犬全体299,648頭（うちシー・ズー8,240頭）。  
疾患別にシー・ズーとそれ以外の犬種に関してオッズ比とその95%信頼区間を示した。数値は巻末の参考資料（P.64）に記載した。

第2章 品種別の統計

11. ミニチュア・シュナウザー

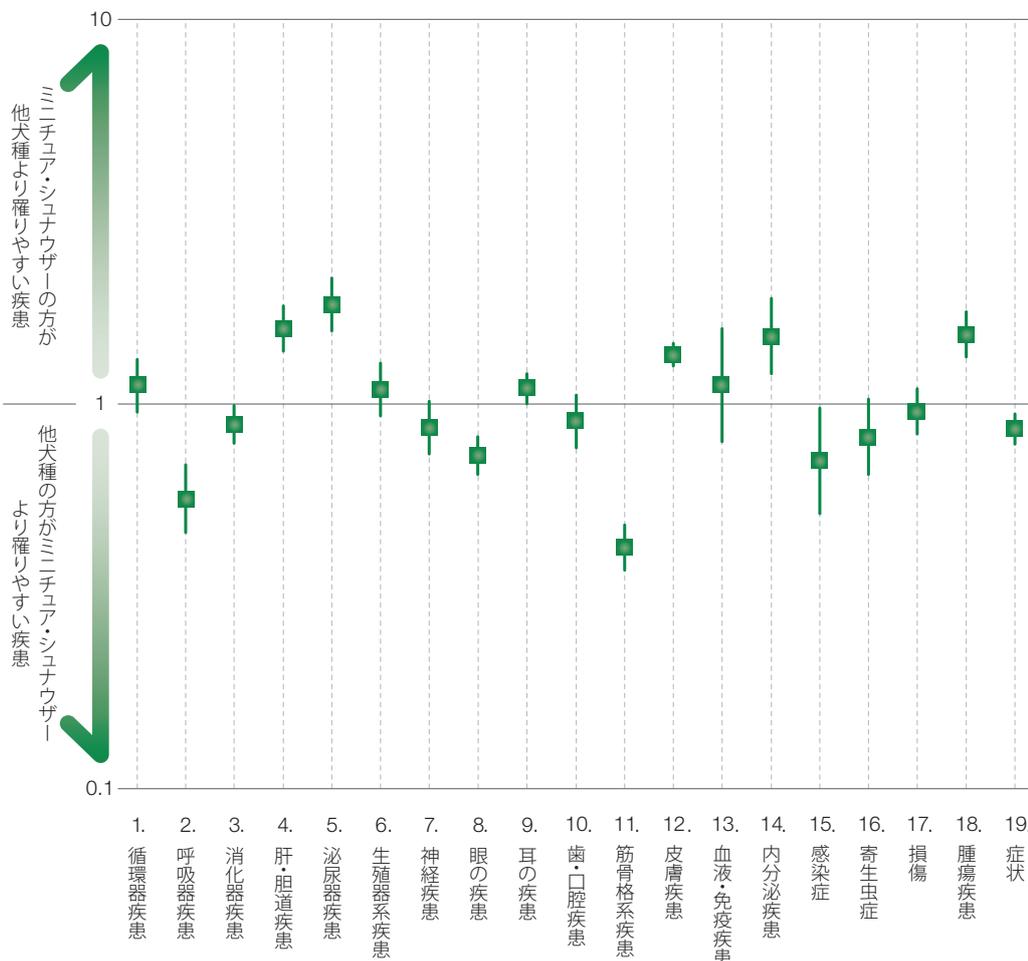
3-2-21 疾患（大分類単位）別の罹患率



■ ミニチュア・シュナウザー  
○ 犬全体平均

3-2-21  
対象：7,932頭（ミニチュア・シュナウザー、0～10歳）。

3-2-22 疾患別の他犬種との比較



3-2-22

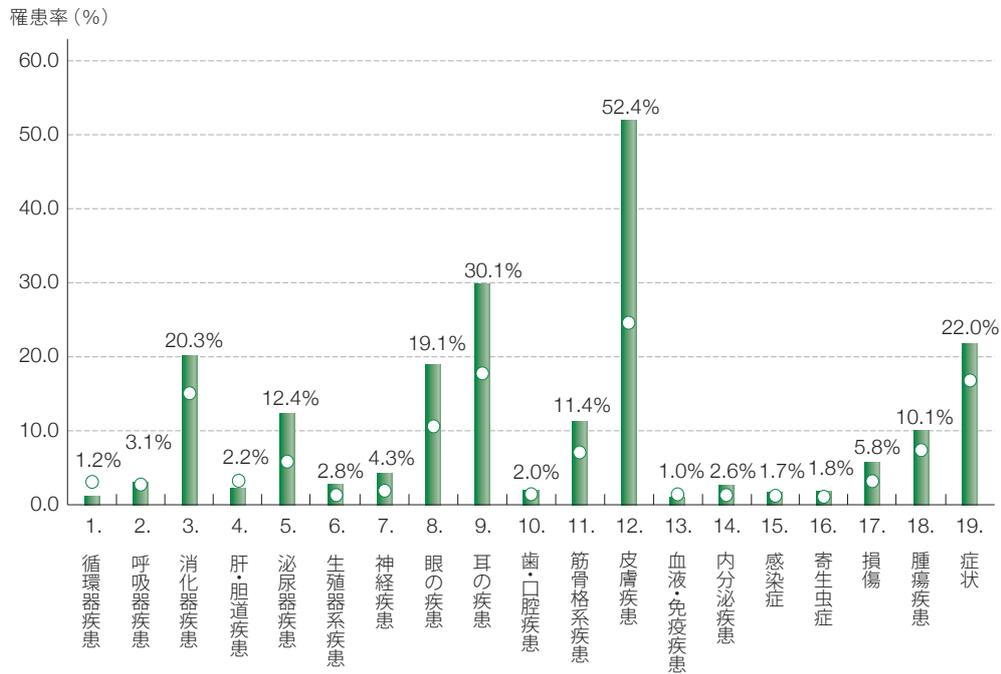
対象：犬全体299,648頭（うちミニチュア・シュナウザー 8,124頭）。  
疾患別にミニチュア・シュナウザーとそれ以外の犬種に関してオッズ比とその95%信頼区間を示した。数値は巻末の参考資料（P.64）に記載した。



第2章 品種別の統計

12. フレンチ・ブルドッグ

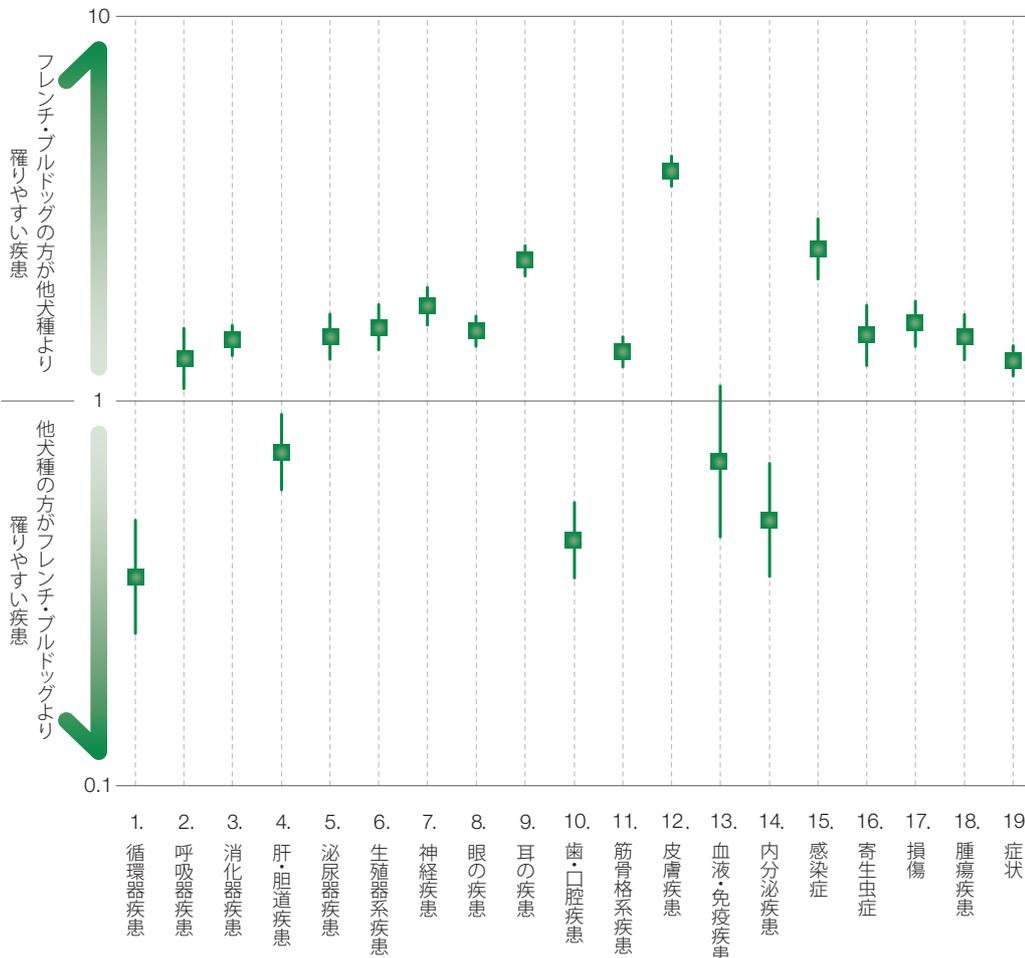
3-2-23 疾患（大分類単位）別の罹患率



■ フレンチ・ブルドッグ  
○ 犬全体平均

3-2-23  
対象：6,788頭（フレンチ・ブルドッグ、0～10歳）。

3-2-24 疾患別の他犬種との比較

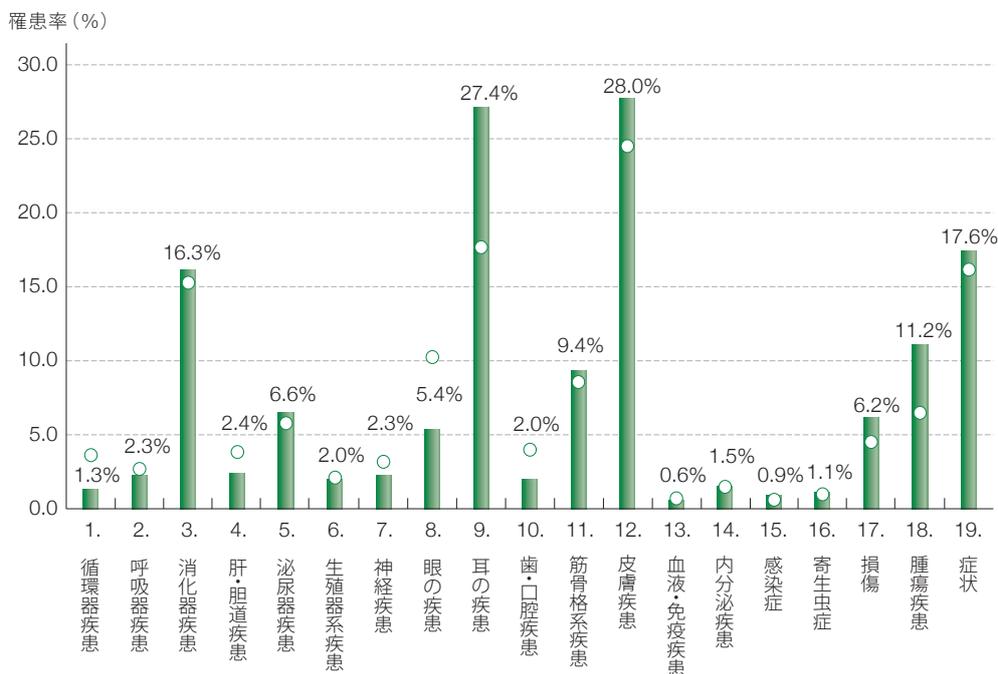


3-2-24  
対象：犬全体299,648頭（うちフレンチ・ブルドッグ6,805頭）。  
疾患別にフレンチ・ブルドッグとそれ以外の犬種に関してオッズ比とその95%信頼区間を示した。数値は巻末の参考資料（P.64）に記載した。

第2章 品種別の統計

13. ラブラドル・レトリバー

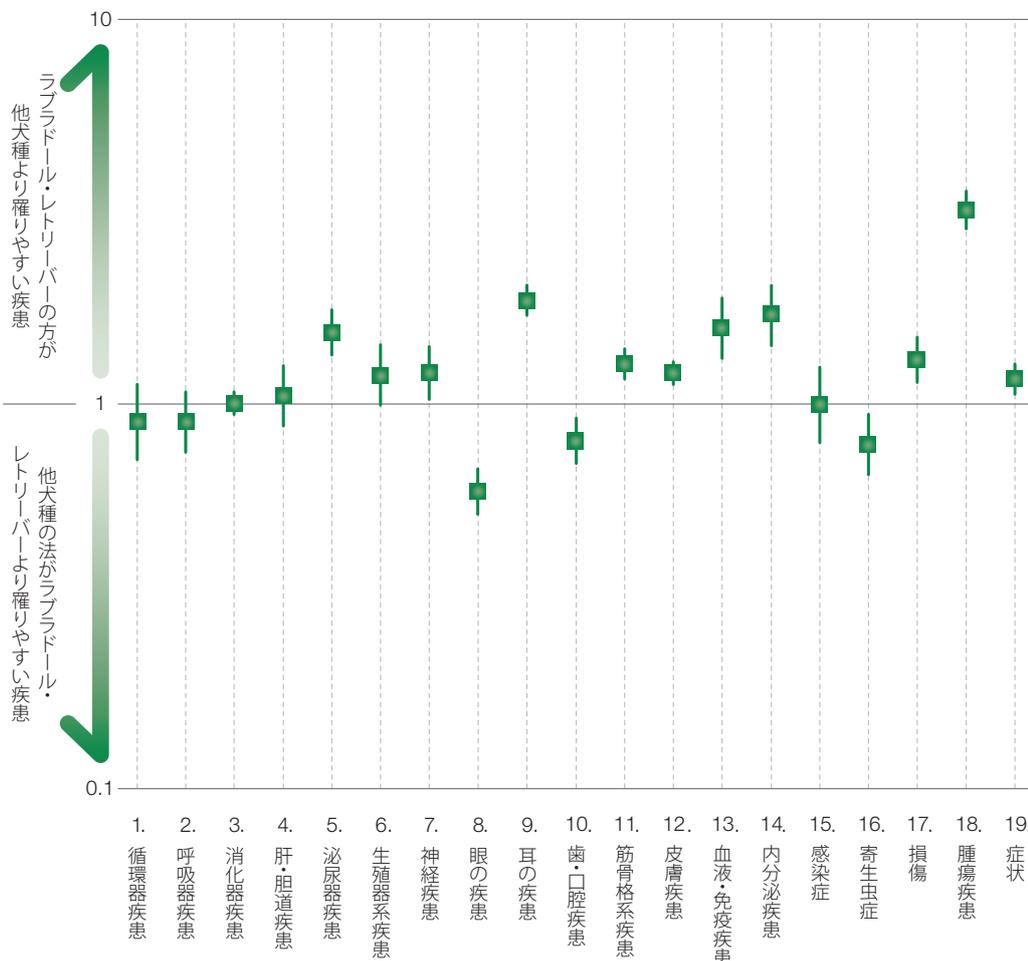
3-2-25 疾患（大分類単位）別の罹患率



■ ラブラドル・レトリバー  
○ 犬全体平均

3-2-25  
対象：5,865頭（ラブラドル・レトリバー、0～10歳）。

3-2-26 疾患別の他犬種との比較

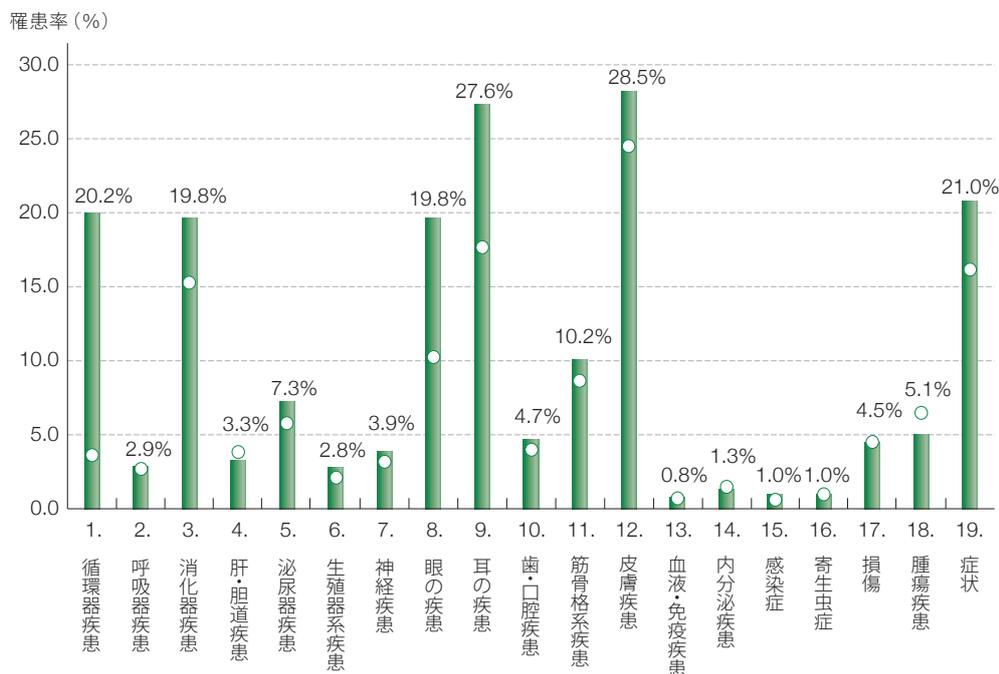


3-2-26  
対象：犬全体299,648頭（うちラブラドル・レトリバー 6,422頭）。  
疾患別にラブラドル・レトリバーとそれ以外の犬種に関してオッズ比とその95%信頼区間を示した。数値は巻末の参考資料（P.65）に記載した。

第2章 品種別の統計

14. キャバリア・キング・チャールズ・スパニエル

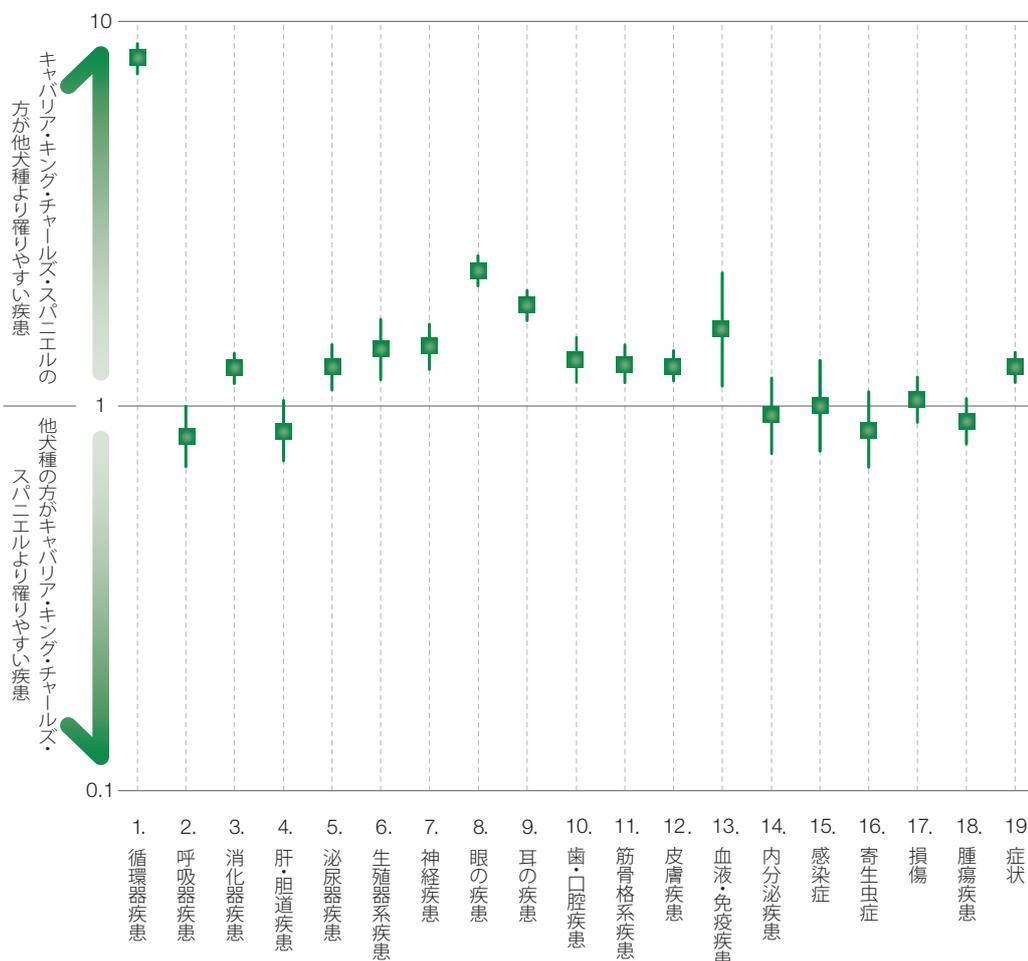
3-2-27 疾患（大分類単位）別の罹患率



■ キャバリア・キング・チャールズ・スパニエル  
○ 犬全体平均

3-2-27  
対象：5,560頭（キャバリア・キング・チャールズ・スパニエル、0～10歳）。

3-2-28 疾患別の他犬種との比較

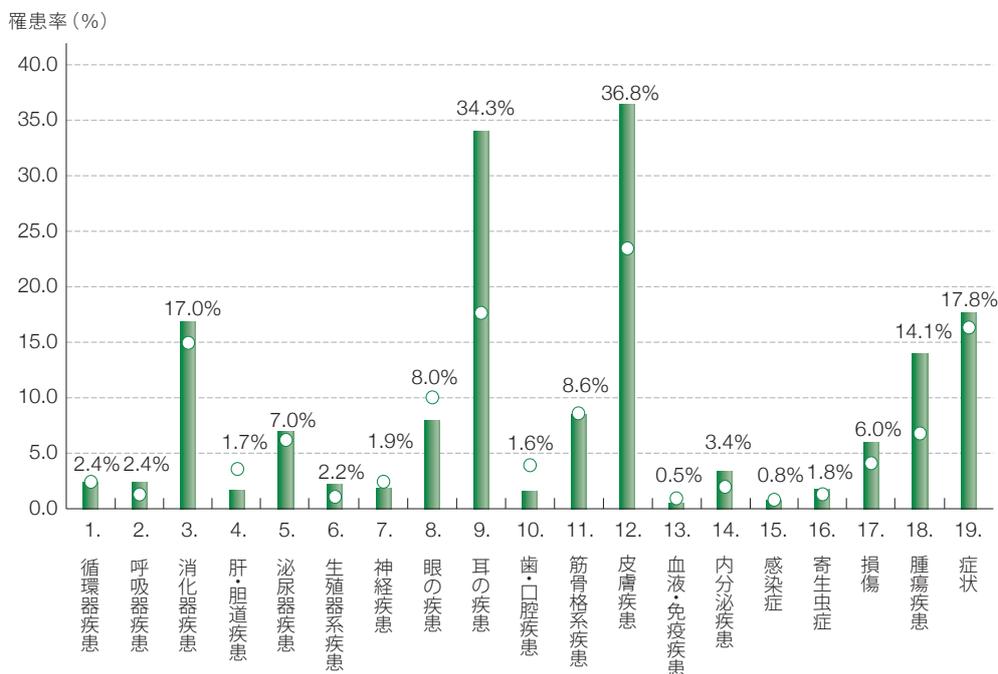


3-2-28  
対象：犬全体299,648頭（うちキャバリア・キング・チャールズ・スパニエル5,745頭）。  
疾患別にキャバリア・キング・チャールズ・スパニエルとそれ以外の犬種に関してオッズ比とその95%信頼区間を示した。数値は巻末の参考資料（P.65）に記載した。

第2章 品種別の統計

15. ゴールデン・レトリバー

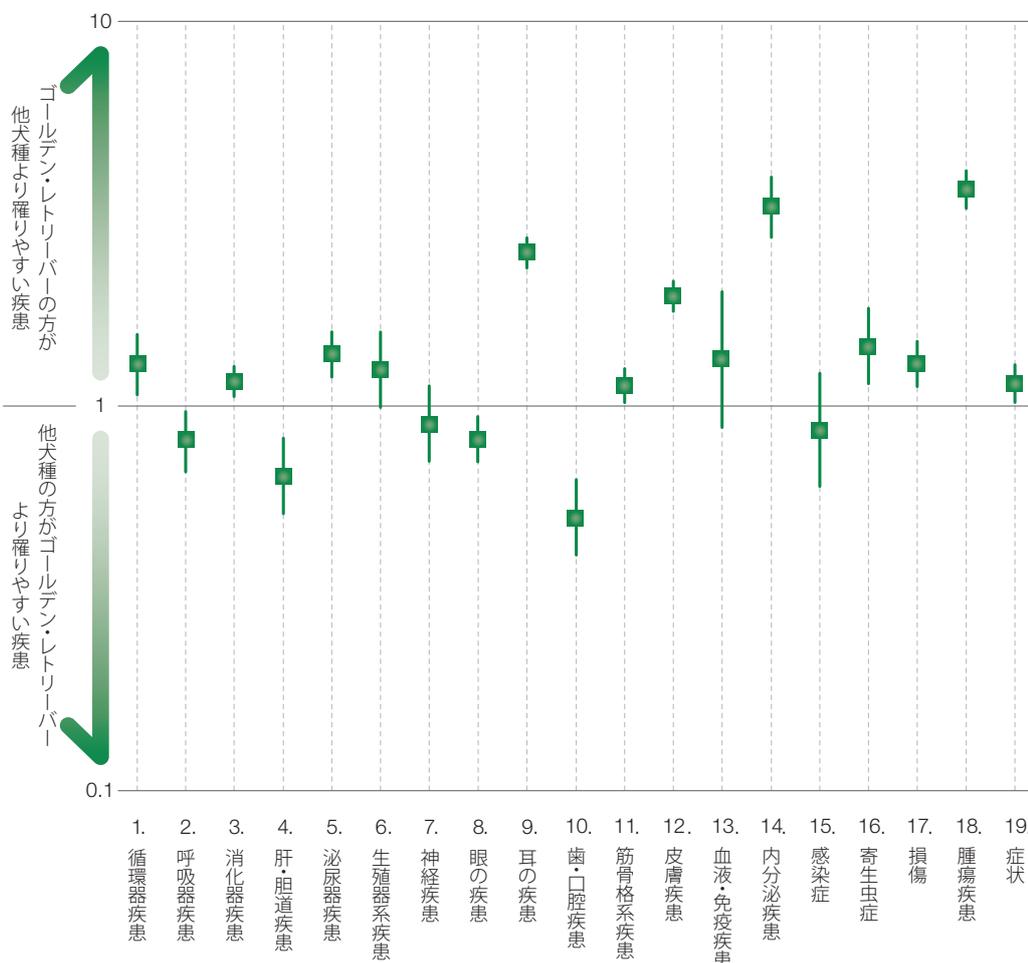
3-2-29 疾患（大分類単位）別の罹患率



■ ゴールデン・レトリバー  
○ 犬全体平均

3-2-29  
対象：4,985頭（ゴールデン・レトリバー、0～10歳）。

3-2-30 疾患別の他犬種との比較

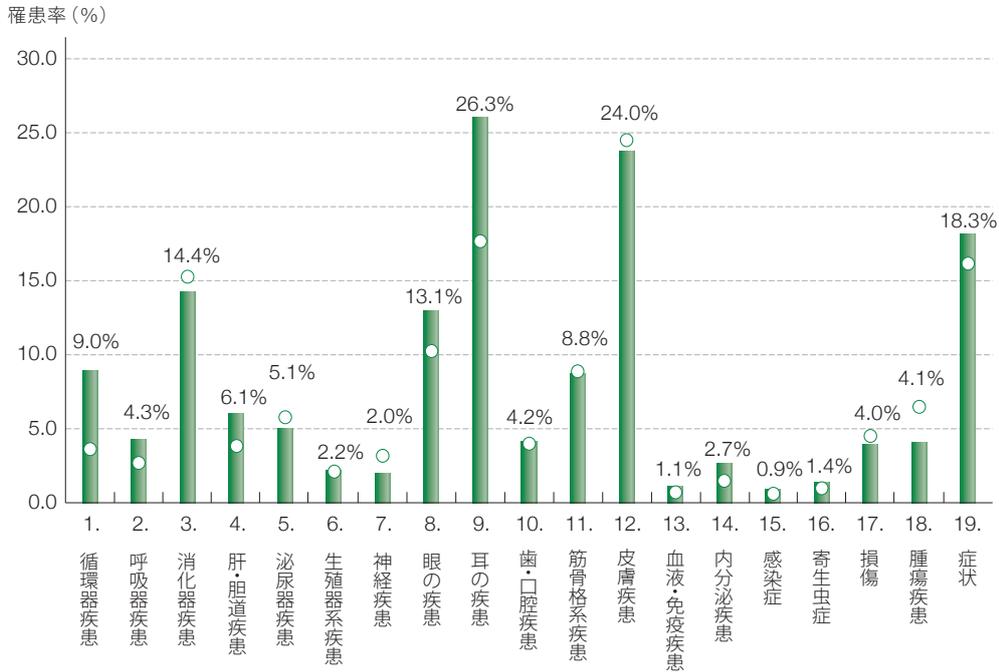


3-2-30  
対象：犬全体299,648頭（うちゴールデン・レトリバー 5,377頭）。  
疾患別にゴールデン・レトリバーとそれ以外の犬種に関してオッズ比とその95%信頼区間を示した。数値は巻末の参考資料（P.65）に記載した。

第2章 品種別の統計

16. マルチーズ

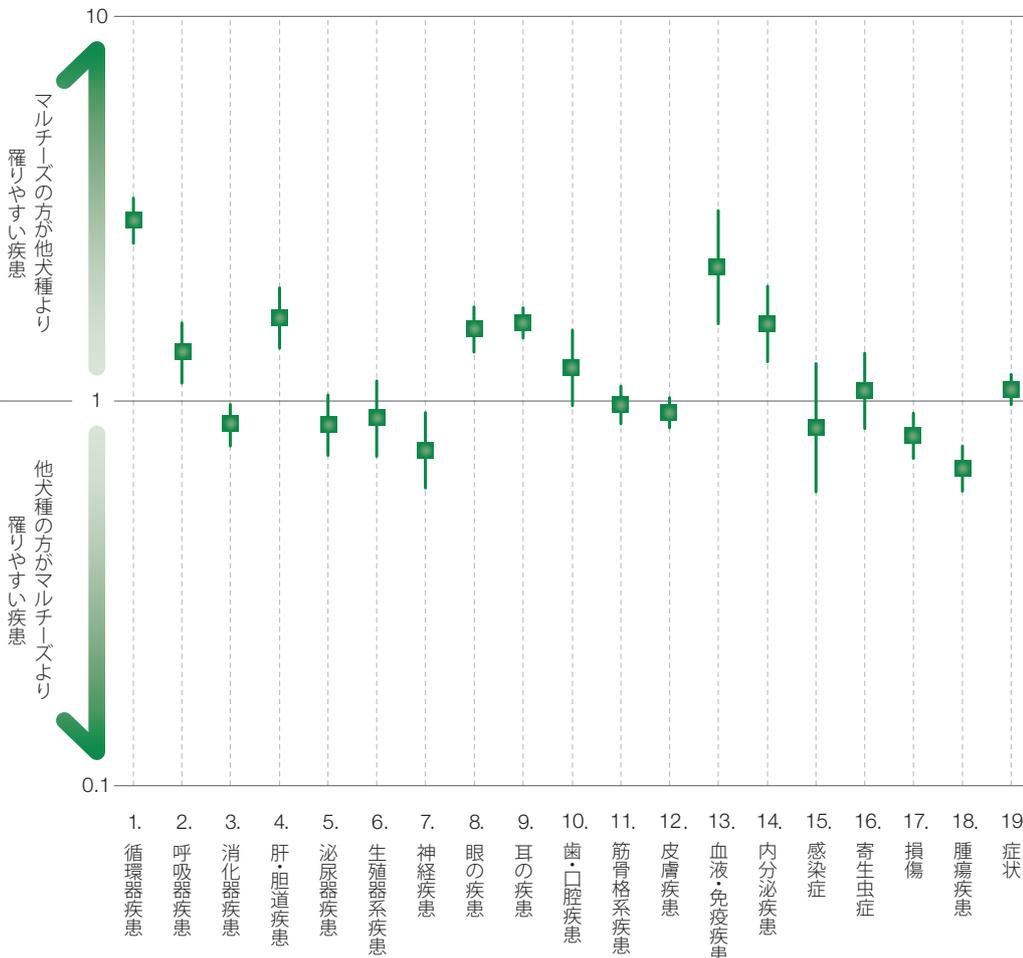
3-2-31 疾患（大分類単位）別の罹患率



■ マルチーズ  
○ 犬全体平均

3-2-31  
対象：4,845頭（マルチーズ、0～10歳）。

3-2-32 疾患別の他犬種との比較

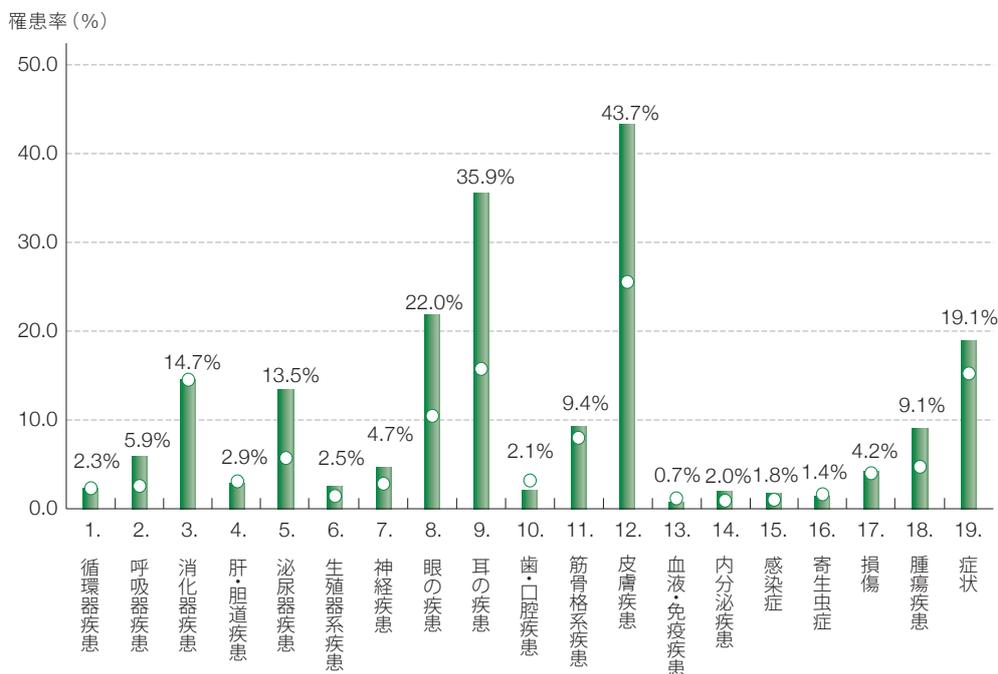


3-2-32  
対象：犬全体299,648頭（うちマルチーズ5,057頭）。  
疾患別にマルチーズとそれ以外の犬種に関してオッズ比とその95%信頼区間を示した。数値は巻末の参考資料（P.65）に記載した。

第2章 品種別の統計

17. パグ

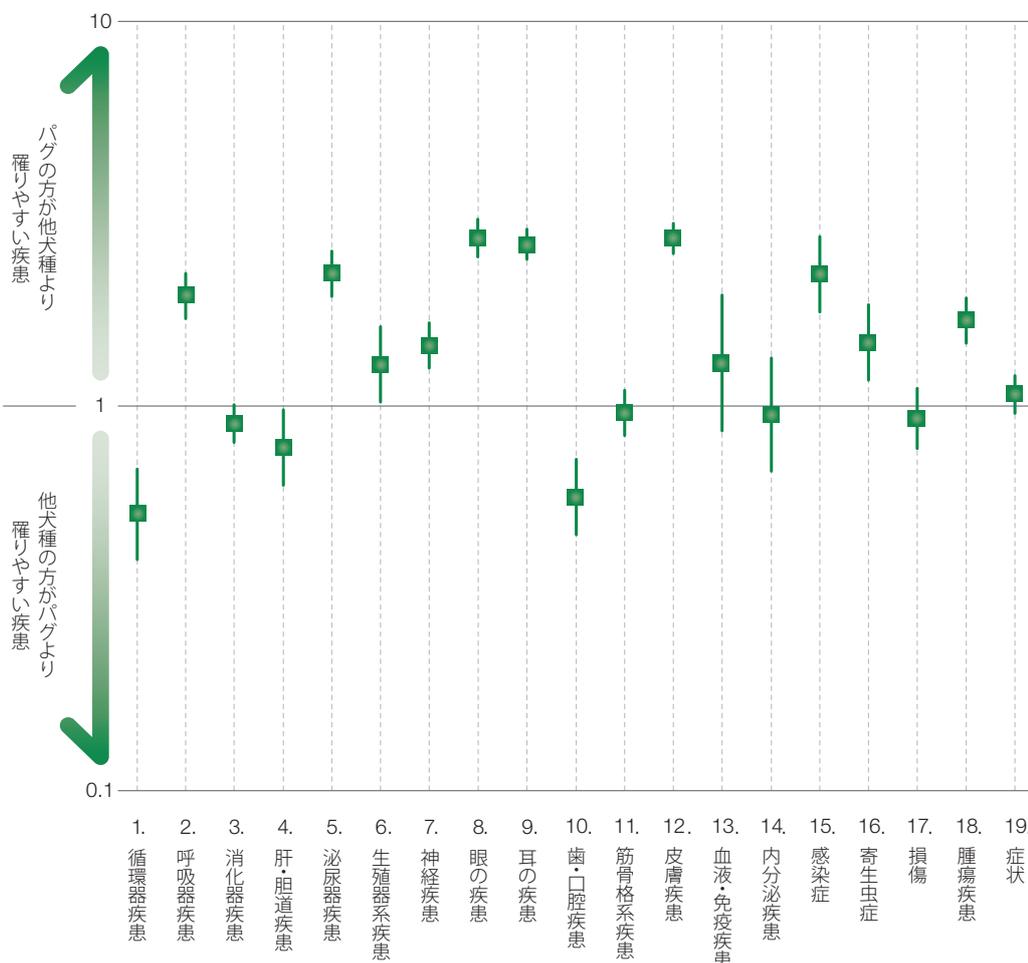
3-2-33 疾患（大分類単位）別の罹患率



■ パグ  
○ 犬全体平均

3-2-33  
対象：4,150頭  
(パグ、0～10歳)。

3-2-34 疾患別の他犬種との比較



3-2-34  
対象：犬全体299,648頭（うちパグ4,246頭）。  
疾患別にパグとそれ以外の犬種に関してオッズ比とその95%信頼区間を示した。数値は巻末の参考資料（P.65）に記載した。



## 第3章 疾患（小分類単位）別の統計

### 1. 犬と猫の保険金請求理由

#### 3-3-1 犬の請求理由TOP30

順位	傷病名	頭数（頭）	平均保険金受給額 (円、50%プラン)
1	外耳炎・外耳道炎	45,043	5,519
2	その他の皮膚炎	23,804	7,194
3	膿皮症	15,164	6,868
4	胃腸炎	12,240	7,529
5	皮膚炎（アレルギー性）	12,080	12,059
6	結膜炎/結膜浮腫	10,425	3,419
7	嘔吐	9,244	6,500
8	軟便/下痢/血便	8,040	5,099
9	胃炎	7,999	5,415
10	腸炎	7,558	6,799
11	消化管内異物	7,539	17,116
12	膀胱炎	7,376	8,575
13	外傷（挫傷/擦過傷含む）	6,712	4,441
14	肛門囊(腺)炎/肛門囊(腺)破裂	6,124	7,854
15	湿疹	5,747	4,967
16	歯周病(歯肉炎/歯槽膿漏/歯垢/歯石含む)	5,608	13,179
17	排尿障害	5,179	4,731
18	椎間板ヘルニア	5,073	31,085
19	膝蓋骨脱臼/膝蓋骨亜脱臼	4,857	21,376
20	嘔吐/下痢	4,737	6,180
21	大腸炎	4,138	5,095
22	歩行異常/跛行	3,744	5,023
23	皮膚炎（アトピー性）	3,668	16,283
24	腫瘍/腫瘤/MASS/しこり	3,530	15,683
25	趾間皮膚炎	3,411	4,038
26	関節炎	3,379	8,587
27	皮膚腫瘍/皮膚腫瘤	3,042	13,600
28	食欲不振	3,023	5,370
29	てんかん	2,841	23,612
30	僧帽弁閉鎖不全症・MR	2,741	32,630

#### 3-3-2 猫の請求理由TOP30

順位	傷病名	頭数（頭）	平均保険金受給額 (円、50%プラン)
1	膀胱炎	1,409	10,130
2	結膜炎/結膜浮腫	1,204	3,441
3	外耳炎・外耳道炎	1,145	5,112
4	その他の皮膚炎	959	4,808
5	嘔吐	859	8,217
6	胃腸炎	738	7,733
7	軟便/下痢/血便	723	5,247
8	胃炎	631	6,770
9	外傷（挫傷/擦過傷含む）	614	8,655
10	腸炎	550	8,103
11	ネフローゼ症候群(糸球体腎炎/腎アミロイドーシス含む)	543	42,979
12	肛門囊(腺)炎/肛門囊(腺)破裂	504	8,353
13	鼻炎/副鼻腔炎	459	6,709
14	尿石症	431	11,124
15	排尿障害	425	5,159
16	皮膚炎（アレルギー性）	401	7,850
17	歯周病(歯肉炎/歯槽膿漏/歯垢/歯石含む)	388	11,601
18	食欲不振	384	8,295
19	腎不全	370	37,784
20	消化管内異物	265	23,465
21	大腸炎	258	5,106
22	猫の下部尿路疾患・FUS・FLUTD	250	11,667
23	膀胱結石	248	18,023
24	便秘	237	12,191
25	心筋症	222	31,856
26	膿皮症	215	3,637
27	嘔吐/下痢	212	6,683
28	感冒・カゼ	205	5,730
29	口内炎/舌炎	174	16,120
30	猫伝染性鼻気管炎・FVR	173	5,812

#### 3-3-3 犬の手術請求理由TOP15

順位	傷病名	頭数（頭）
1	歯周病(歯肉炎/歯槽膿漏/歯垢/歯石含む)	2,153
2	消化管内異物	1,139
3	皮膚腫瘍/皮膚腫瘤	755
4	乳腺腫瘍/乳腺腫瘤	724
5	膝蓋骨脱臼/膝蓋骨亜脱臼	711
6	腫瘍/腫瘤/MASS/しこり	686
7	子宮蓄膿症	577
8	椎間板ヘルニア	456
9	骨折（前肢）	347
10	膀胱結石	290
11	皮下腫瘍/皮下腫瘤	193
12	肥満細胞腫	172
13	前立腺肥大	151
14	口唇/口腔/咽頭の腫瘍性疾患	145
15	口腔内外傷（歯折など含む）	140

#### 3-3-4 猫の手術請求理由TOP15

順位	傷病名	頭数（頭）
1	歯周病(歯肉炎/歯槽膿漏/歯垢/歯石含む)	114
2	消化管内異物	67
3	膀胱結石	30
4	腫瘍/腫瘤/MASS/しこり	29
5	外傷（挫傷/擦過傷含む）	27
6	皮膚腫瘍/皮膚腫瘤	26
7	乳腺腫瘍/乳腺腫瘤	24
8	子宮蓄膿症	20
9	肥満細胞腫	14
10	腸閉塞	13
11	骨折（後肢）	12
12	皮下腫瘍/皮下腫瘤	11
13	リンパ腫	11
14	口内炎/舌炎	10
15	口唇/口腔/咽頭の腫瘍性疾患	9

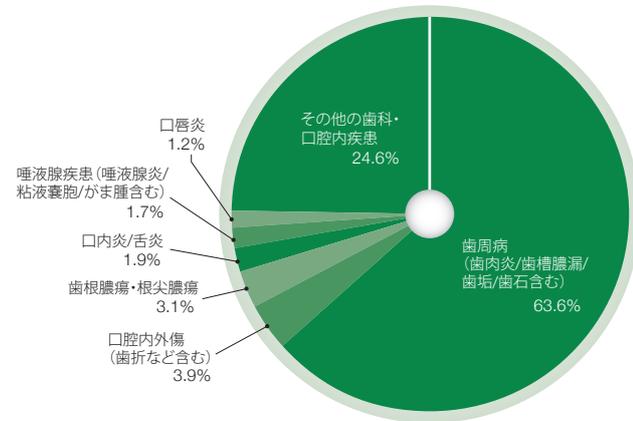
3-3-1～3-3-4

2011年4月1日～2012年3月31日までの間に、アニコム損保の保険契約が満期を迎えた犬299,648頭と猫31,587頭の請求理由（小分類記載がある請求のみ）のうち、請求した頭数をもっとも多かった上位疾患30および手術が含まれる請求理由の上位15を示した。保険金受給額は補償割合50%プランの契約において、1年間で当該疾患で受給した1契約あたりの平均保険金受給額を集計した。

## 第3章 疾患（小分類単位）別の統計

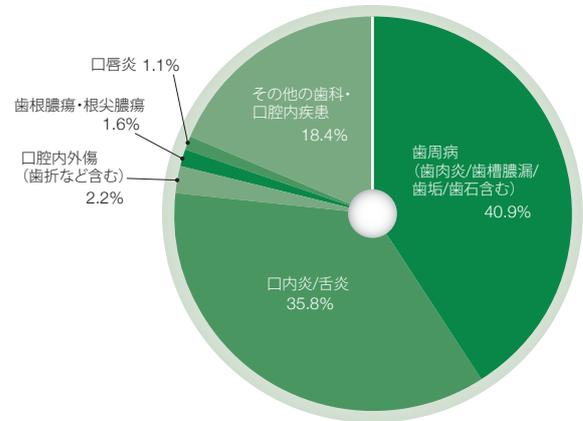
### 2. 犬と猫の歯周病

#### 3-3-5 犬の歯科疾患の請求内訳



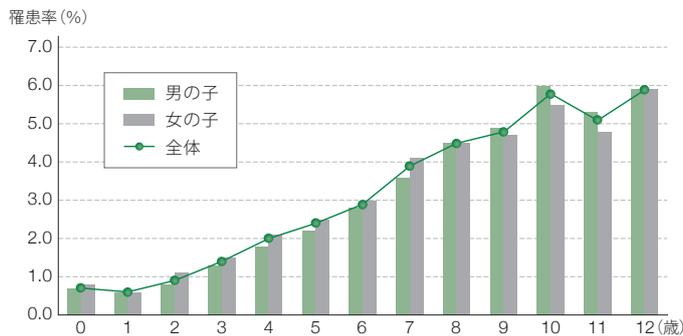
3-3-5  
2011年4月1日～2012年3月31日までの間に、アニコム損保の保険契約で満期を迎えた犬の1年間の契約における、歯科疾患での請求15,544件の内訳を示した。

#### 3-3-6 猫の歯科疾患の請求内訳



3-3-6  
2011年4月1日～2012年3月31日までの間に、アニコム損保の保険契約で満期を迎えた猫の1年間の契約における、歯科疾患での請求2,030件の内訳を示した。

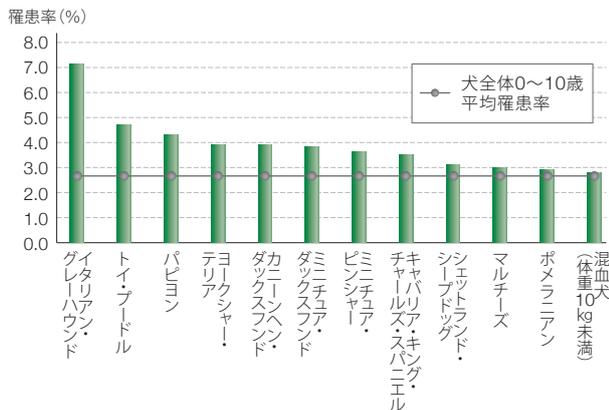
#### 3-3-7 犬の歯周病の罹患率の年齢推移



年齢	罹患率		
	全体 (%)	男の子 (%)	女の子 (%)
0歳	0.7	0.7	0.8
1歳	0.6	0.6	0.6
2歳	0.9	0.8	1.1
3歳	1.4	1.3	1.5
4歳	2.0	1.8	2.1
5歳	2.4	2.2	2.5
6歳	2.9	2.8	3.0
7歳	3.9	3.6	4.1
8歳	4.5	4.5	4.5
9歳	4.8	4.9	4.7
10歳	5.8	6.0	5.5
11歳	5.1	5.3	4.8
12歳	5.9	5.9	5.9
犬 (0～10歳) 平均	2.7	2.7	2.8

3-3-7  
2011年4月1日～2012年3月31日までの間に、アニコム損保の保険契約で満期を迎えた犬297,653頭 (0～12歳) を対象に、歯周病 (歯肉炎/歯槽膿漏/歯垢/歯石含む) で請求があった犬の罹患率を年齢別に調査した。

#### 3-3-8 犬の歯周病の罹患率の高い品種



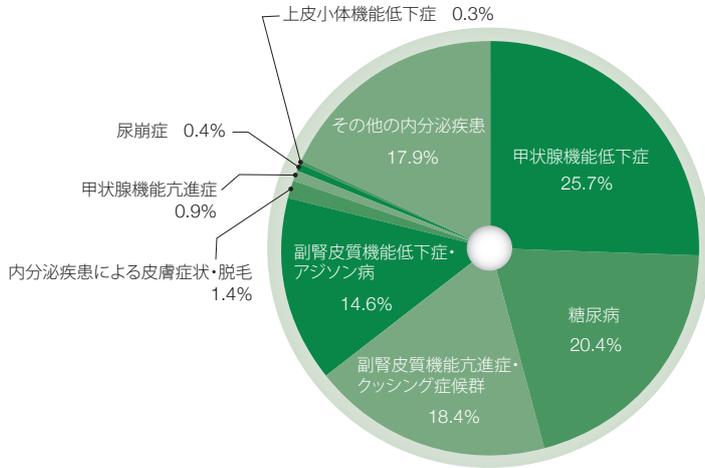
品種	罹患率 (%)
イタリアン・グレーハウンド	7.1
トイ・プードル	4.7
パピヨン	4.3
ヨークシャー・テリア	3.9
カニンヘン・ダックスフンド	3.9
ミニチュア・ダックスフンド	3.8
ミニチュア・ピンシャー	3.6
キャバリア・キング・チャールズ・スパニエル	3.5
シェットランド・シープドッグ	3.1
マルチーズ	3.0
ポメラニアン	2.9
混血犬 (体重10kg未満)	2.8
犬 (0～10歳) 平均	2.7

3-3-8  
2011年4月1日～2012年3月31日までの間に、アニコム損保の保険契約で満期を迎えた犬292,290頭 (0～10歳) を対象に、歯周病 (歯肉炎/歯槽膿漏/歯垢/歯石含む) で請求があった犬の罹患率を品種別に調査し、犬全体の平均よりも高い罹患率を示した品種を示した。

### 第3章 疾患（小分類単位）別の統計

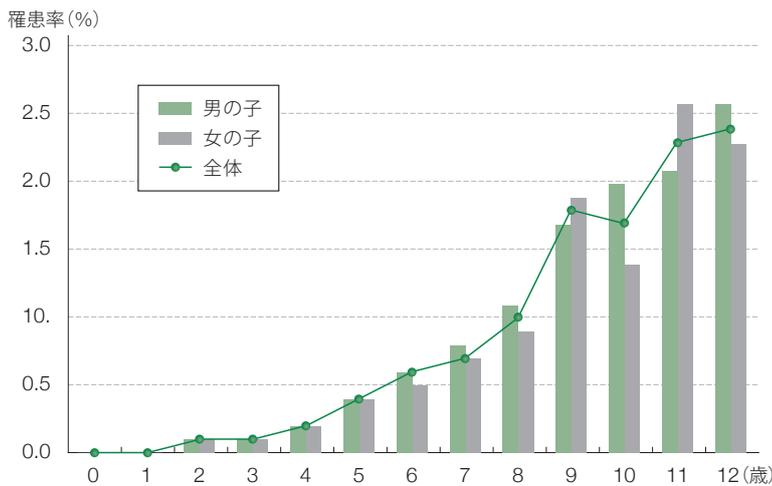
## 3. 犬の甲状腺機能低下症

### 3-3-9 犬の内分泌疾患の請求内訳



3-3-9 2011年4月1日～2012年3月31日までの間に、アニコム損保の保険契約で満期を迎えた犬の1年間の契約における、内分泌疾患での請求22,942件の内訳を示した。

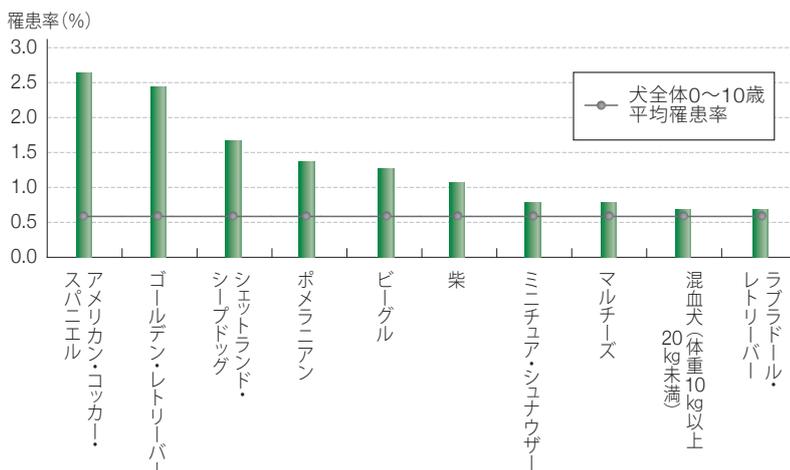
### 3-3-10 犬の甲状腺機能低下症の罹患率の年齢推移



年齢	罹患率 (%)		
	全体	男の子	女の子
0歳	0.0	0.0	0.0
1歳	0.0	0.0	0.0
2歳	0.1	0.1	0.1
3歳	0.1	0.1	0.1
4歳	0.2	0.2	0.2
5歳	0.4	0.4	0.4
6歳	0.6	0.6	0.5
7歳	0.7	0.8	0.7
8歳	1.0	1.1	0.9
9歳	1.8	1.7	1.9
10歳	1.7	2.0	1.4
11歳	2.3	2.1	2.6
12歳	2.4	2.6	2.3
犬 (0～10歳) 平均	0.6	0.6	0.6

3-3-10 2011年4月1日～2012年3月31日までの間に、アニコム損保の保険契約で満期を迎えた犬297,653頭(0～12歳)を対象に、甲状腺機能低下症で請求があった犬の罹患率を年齢別に調査した。

### 3-3-11 甲状腺機能低下症の罹患率の高い品種

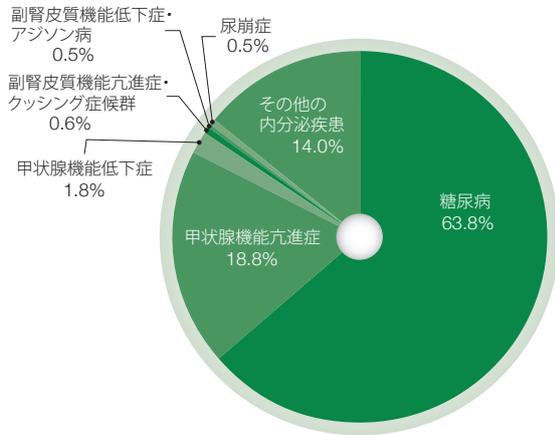


品種	罹患率 (%)
アメリカン・コッカー・スパニエル	2.7
ゴールデン・レトリバー	2.5
シェットランド・シープドッグ	1.7
ポメラニアン	1.4
ビーグル	1.3
柴	1.1
ミニチュア・シュナウザー	0.8
マルチーズ	0.8
混血犬(体重10kg以上20kg未満)	0.7
ラブラドル・レトリバー	0.7
犬 (0～10歳) 平均	0.6

3-3-11 2011年4月1日～2012年3月31日までの間に、アニコム損保の保険契約で満期を迎えた犬292,290頭(0～10歳)を対象に、甲状腺機能低下症で請求があった犬の罹患率を品種別に調査し、罹患率の高い品種を示した。

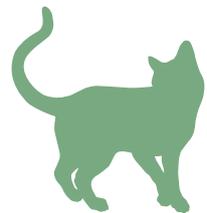
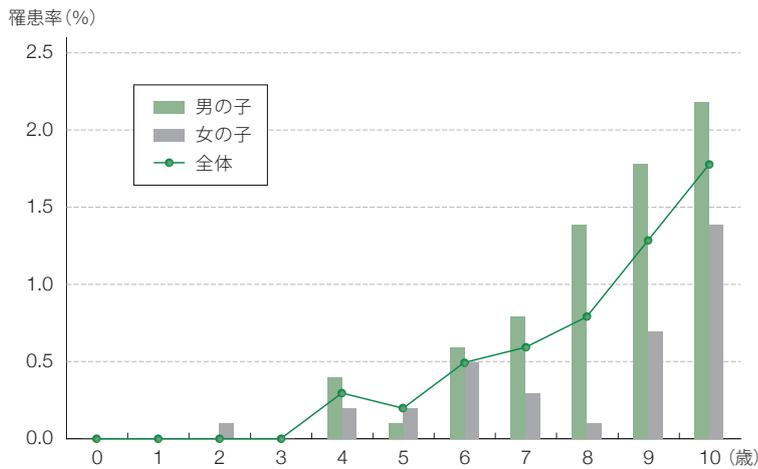
## 4. 犬と猫の糖尿病

### 3-3-12 猫の内分泌疾患の請求内訳



3-3-12  
2011年4月1日～2012年3月31日までの間に、アニコム損保の保険契約で満期を迎えた猫の1年間の契約における、内分泌疾患での請求2,665件の内訳を示した。

### 3-3-13 猫の糖尿病の罹患率の年齢推移



年齢	罹患率 (%)		
	全体	男の子	女の子
0歳	0.0	0.0	0.0
1歳	0.0	0.0	0.0
2歳	0.0	0.0	0.1
3歳	0.0	0.0	0.0
4歳	0.3	0.4	0.2
5歳	0.2	0.1	0.2
6歳	0.5	0.6	0.5
7歳	0.6	0.8	0.3
8歳	0.8	1.4	0.1
9歳	1.3	1.8	0.7
10歳	1.8	2.2	1.4
猫 (0～10歳) 平均	0.5	0.7	0.3

3-3-13  
2011年4月1日～2012年3月31日までの間に、アニコム損保の保険契約で満期を迎えた猫29,783頭(0～10歳)を対象に、糖尿病で請求があった猫の罹患率を年齢別に調査した。

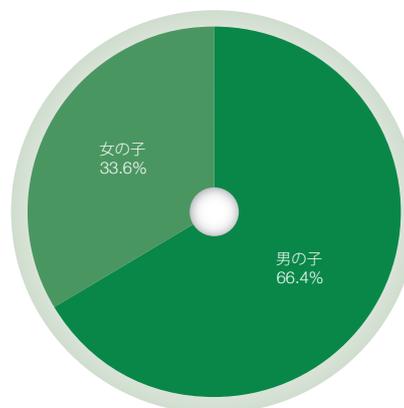


### 第3章 疾患（小分類単位）別の統計

#### 3-3-14 犬の糖尿病 発症頭数割合



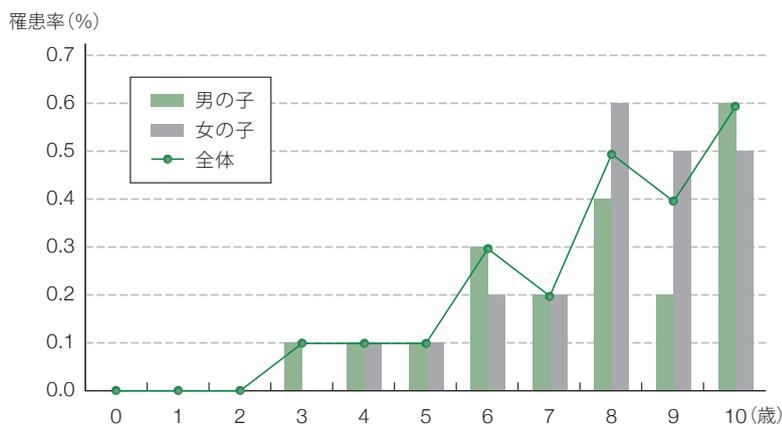
#### 3-3-15 猫の糖尿病 発症頭数割合



3-3-14、3-3-15

2011年4月1日～2012年3月31日までの間に、アニコム損保の保険契約で満期を迎えた犬292,290頭、猫29,783頭（0～10歳）を対象に、糖尿病で請求があった発症頭数を性別に調査した。

#### 3-3-16 犬の糖尿病の罹患率の年齢推移



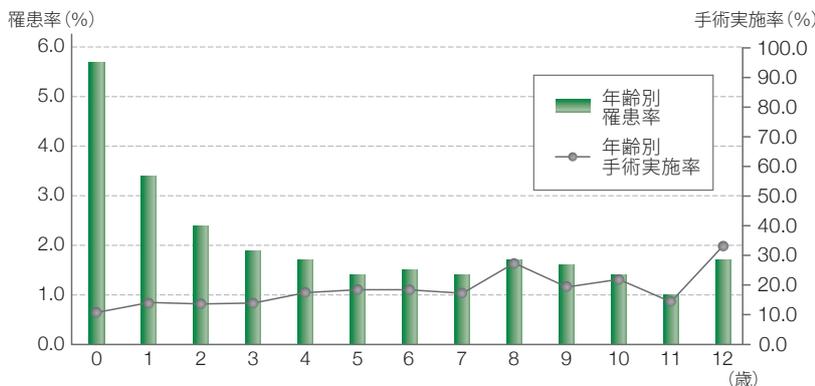
年齢	罹患率 (%)		
	全体	男子	女子
0歳	0.0	0.0	0.0
1歳	0.0	0.0	0.0
2歳	0.0	0.0	0.0
3歳	0.1	0.1	0.0
4歳	0.1	0.1	0.1
5歳	0.1	0.1	0.1
6歳	0.3	0.3	0.2
7歳	0.2	0.2	0.2
8歳	0.5	0.4	0.6
9歳	0.4	0.2	0.5
10歳	0.6	0.6	0.5
(0～10歳) 平均	0.2	0.2	0.2

3-3-16

2011年4月1日～2012年3月31日までの間に、アニコム損保の保険契約で満期を迎えた犬292,290頭（0～10歳）を対象に、糖尿病で請求があった犬の罹患率を年齢別に調査した。

5. 異物誤飲

3-3-17 犬の異物誤飲の罹患率と手術実施率



年齢	罹患率 (%)	手術実施率 (%)
0歳	5.7	10.7
1歳	3.4	14.1
2歳	2.4	13.6
3歳	1.9	13.9
4歳	1.7	17.4
5歳	1.4	18.4
6歳	1.5	18.4
7歳	1.4	17.2
8歳	1.7	27.4
9歳	1.6	19.3
10歳	1.4	21.9
11歳	1.0	14.3
12歳	1.7	33.3
犬 (0～10歳) 平均	2.2	17.5

3-3-17

2011年4月1日～2012年3月31日までの間に、アニコム損保の保険契約で満期を迎えた犬297,653頭（0～12歳）を対象に、異物誤飲（消化管内異物・タマネギ中毒/ネギ中毒・チョコレート中毒・タバコ中毒・殺鼠剤中毒・薬物中毒）で請求があった犬の罹患率を年齢別に調査した。また、異物誤飲で請求があった犬のうち、手術を含む請求（内視鏡での摘出を含む）が1度以上あった犬の割合を手術実施率とした。

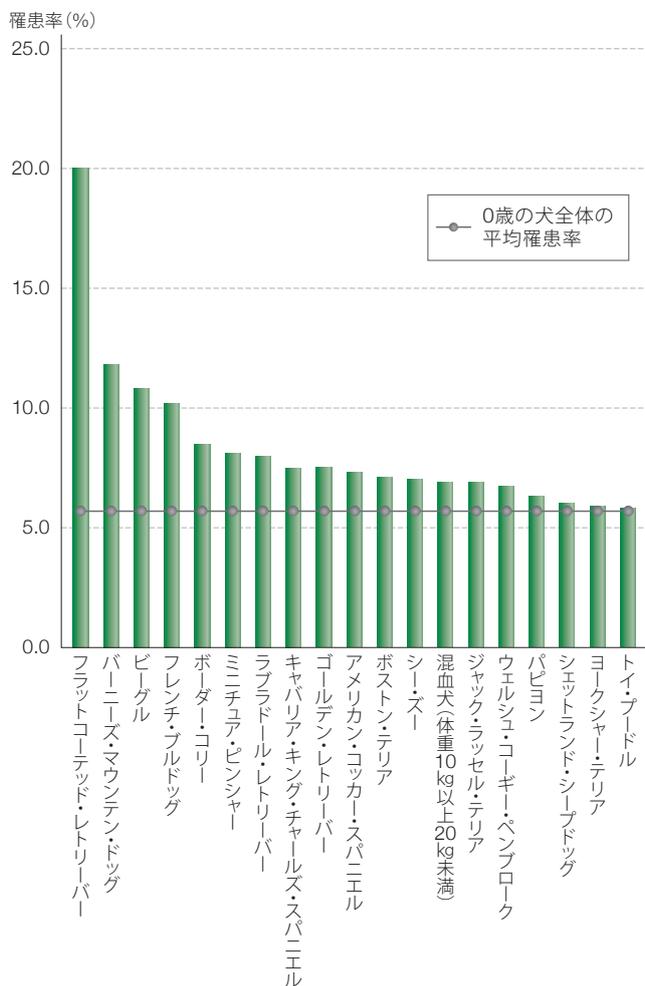
3-3-18 異物誤飲の保険金受給額

	手術あり (円)	手術なし (円)
平均保険金受給額	65,222	8,174

3-3-18

補償割合50%プランにおいて、1年間で異物誤飲で受給した1契約あたりの平均保険金受給額を集計した。

3-3-19 0歳の犬において異物誤飲の罹患率の高い品種



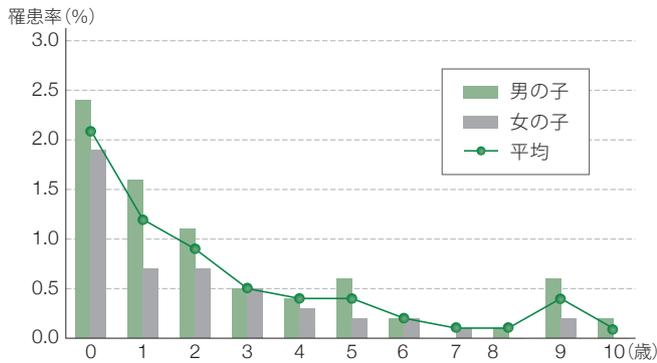
品種	罹患率 (%)
フラットコーテッド・レトリバー	20.0
バーニーズ・マウンテン・ドッグ	11.8
ビーグル	10.8
フレンチ・ブルドッグ	10.2
ボーダー・コリー	8.5
ミニチュア・ピンシャー	8.1
ラブラドル・レトリバー	8.0
キャバリア・キング・チャールズ・スパニエル	7.5
ゴールデン・レトリバー	7.5
アメリカン・コッカー・スパニエル	7.3
ボストン・テリア	7.1
シー・ズー	7.0
混血犬 (体重10kg以上20kg未満)	6.9
ジャック・ラッセル・テリア	6.9
ウエルシュ・コーギー・ペンブローク	6.7
パピヨン	6.3
シェットランド・シープドッグ	6.0
ヨークシャー・テリア	5.9
トイ・プードル	5.8
犬0歳の平均	5.7

3-3-19

2011年4月1日～2012年3月31日までの間に、アニコム損保の保険契約で満期を迎えた犬29,558頭（0歳）を対象に、異物誤飲（タマネギ中毒/ネギ中毒・チョコレート中毒・タバコ中毒・殺鼠剤中毒・薬物中毒を含む）で請求があった犬の罹患率を品種別に調査し、犬全体の平均よりも高い罹患率を示した品種を示した。

## 第3章 疾患（小分類単位）別の統計

### 3-3-20 猫の異物誤飲の罹患率の年齢推移

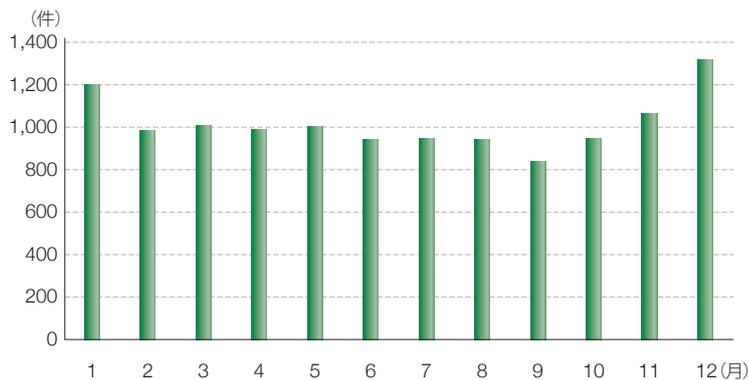


年齢	罹患率		
	全体 (%)	男の子 (%)	女の子 (%)
0歳	2.1	2.4	1.9
1歳	1.2	1.6	0.7
2歳	0.9	1.1	0.7
3歳	0.5	0.5	0.5
4歳	0.4	0.4	0.3
5歳	0.4	0.6	0.2
6歳	0.2	0.2	0.2
7歳	0.1	0.0	0.1
8歳	0.1	0.1	0.0
9歳	0.4	0.6	0.2
10歳	0.1	0.2	0.0
猫 (0～10歳) 平均	0.6	0.7	0.4

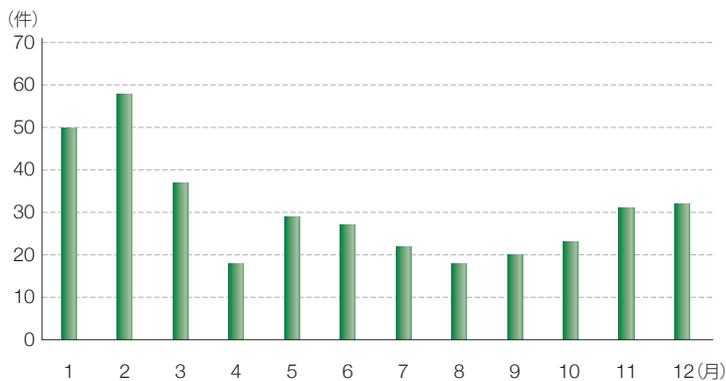
3-3-20

2011年4月1日～2012年3月31日までの間に、アニコム損保の保険契約で満期を迎えた猫29,783頭（0～10歳）を対象に、異物誤飲（タマネギ中毒/ネギ中毒・チョコレート中毒・タバコ中毒・殺鼠剤中毒・薬物中毒を含む）で請求があった猫の罹患率を年齢別に調査した。

### 3-3-21 異物誤飲の請求件数の月別推移



### 3-3-22 チョコレート中毒の請求件数の月別推移



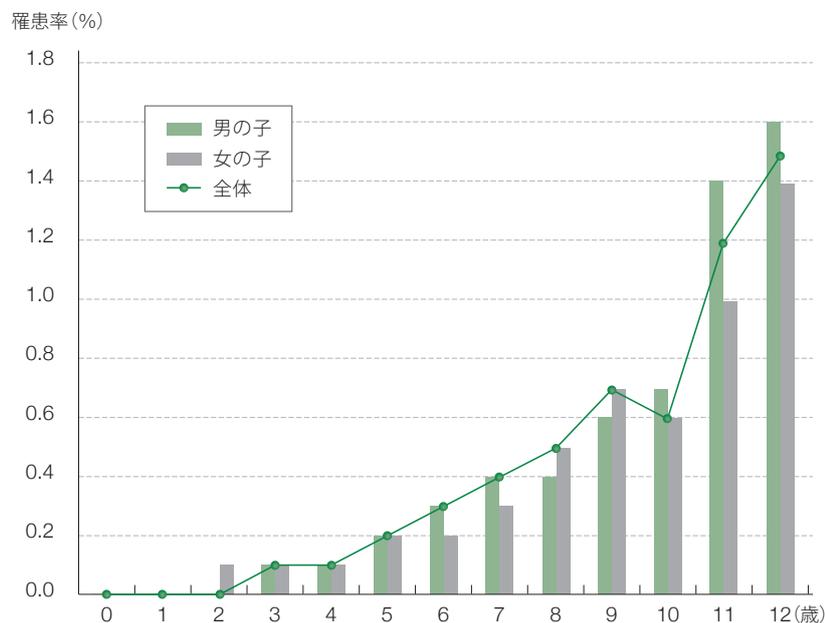
月	請求件数 (件)	
	チョコレート中毒	異物誤飲
1	50	1,203
2	58	987
3	37	1,008
4	18	990
5	29	1,005
6	27	945
7	22	948
8	18	943
9	20	840
10	23	949
11	31	1,067
12	32	1,318

3-3-21、3-3-22

2011年4月1日～2012年3月31日までの間に、アニコム損保の保険契約で満期を迎えた犬・猫・鳥・うさぎ・フェレット、計336,110（全年齢、性別不明含む）における、異物誤飲およびチョコレート中毒での請求を月別に集計した。

## 6. 犬のリンパ腫

## 3-3-23 犬のリンパ腫の罹患率の年齢推移

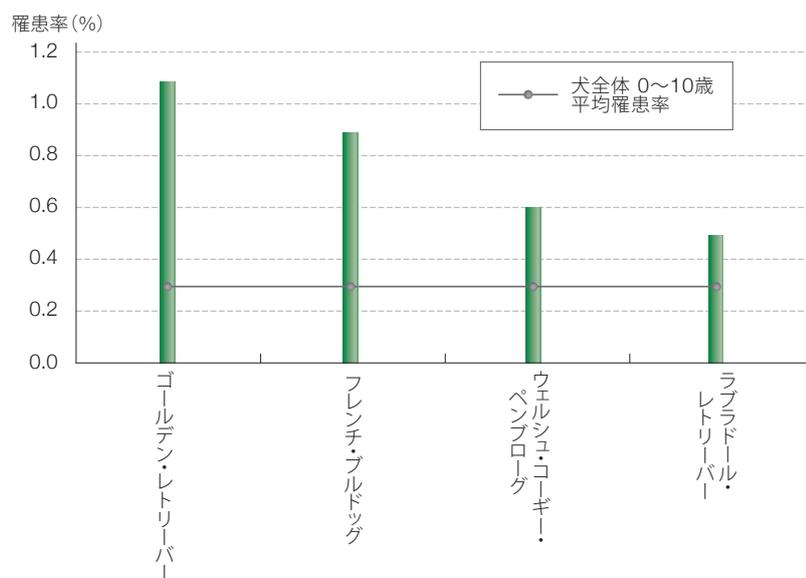


年齢	罹患率 (%)		
	全体	男の子	女の子
0歳	0.0	0.0	0.0
1歳	0.0	0.0	0.0
2歳	0.0	0.0	0.1
3歳	0.1	0.1	0.1
4歳	0.1	0.1	0.1
5歳	0.2	0.2	0.2
6歳	0.3	0.3	0.2
7歳	0.4	0.4	0.3
8歳	0.5	0.4	0.5
9歳	0.7	0.6	0.7
10歳	0.6	0.7	0.6
11歳	1.2	1.4	1.0
12歳	1.5	1.6	1.4
犬 (0~10歳) 平均	0.3	0.3	0.3

## 3-3-23

2011年4月1日～2012年3月31日までの間に、アニコム損保の保険契約で満期を迎えた犬297,653頭(0～12歳)を対象に、リンパ腫で請求があった犬の罹患率を年齢別に調査した。

## 3-3-24 リンパ腫の罹患率の高い品種



品種	罹患率 (%)
ゴールデン・レトリバー	1.1
フレンチ・ブルドッグ	0.9
ウェルシュ・コーギー・ペンブローク	0.6
ラブラドル・レトリバー	0.5
犬 (0～10歳) 平均	0.3

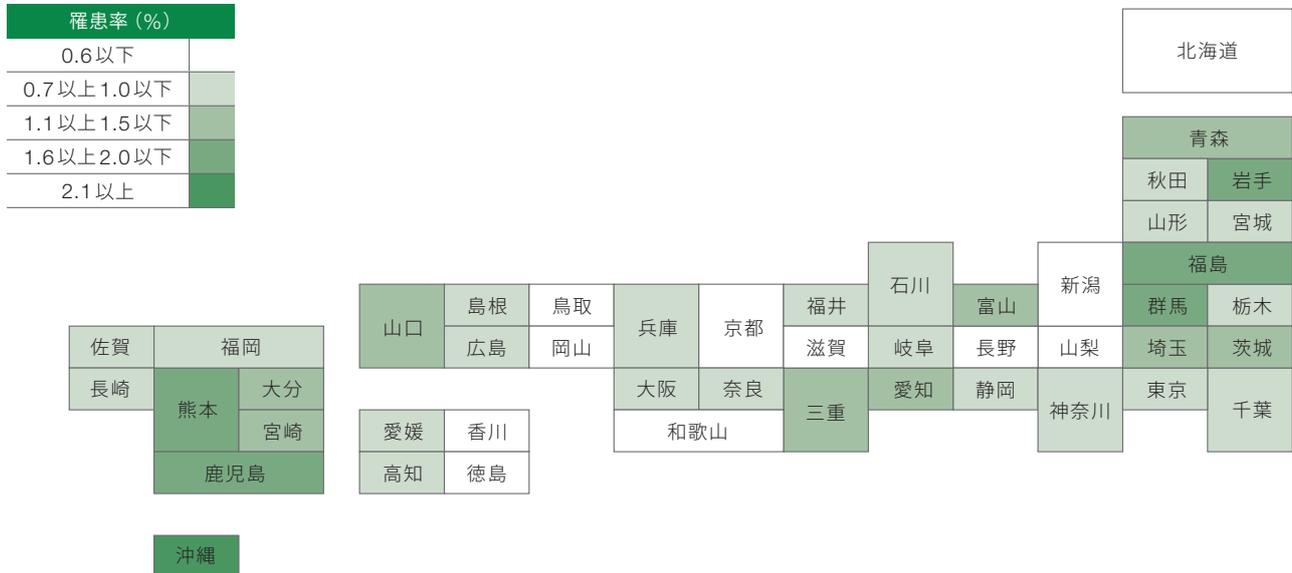
## 3-3-24

2011年4月1日～2012年3月31日までの間に、アニコム損保の保険契約で満期を迎えた犬292,290頭(0～10歳)を対象に、リンパ腫で請求があった犬の罹患率を犬種別に調査し、罹患率の高い品種を示した。

## 第4章 都道府県別の統計

## 1. 犬の感染症

## 3-4-1 犬の感染症



県名	罹患率 (%)
北海道	0.5
青森県	1.5
岩手県	1.7
宮城県	0.9
秋田県	0.7
山形県	1.0
福島県	2.0
茨城県	1.3
栃木県	0.9
群馬県	1.8
埼玉県	1.2
千葉県	1.0
東京都	0.9
神奈川県	0.9
新潟県	0.5
富山県	1.1

県名	罹患率 (%)
石川県	0.7
福井県	1.0
山梨県	0.4
長野県	0.4
岐阜県	1.0
静岡県	0.8
愛知県	1.1
三重県	1.4
滋賀県	0.5
京都府	0.6
大阪府	0.7
兵庫県	0.9
奈良県	0.8
和歌山県	0.5
鳥取県	0.5
島根県	0.7

県名	罹患率 (%)
岡山県	0.5
広島県	0.7
山口県	1.4
徳島県	0.6
香川県	0.3
愛媛県	0.9
高知県	0.7
福岡県	0.9
佐賀県	0.7
長崎県	0.7
熊本県	1.9
大分県	1.2
宮崎県	1.3
鹿児島県	1.6
沖縄県	3.5
全国	0.9

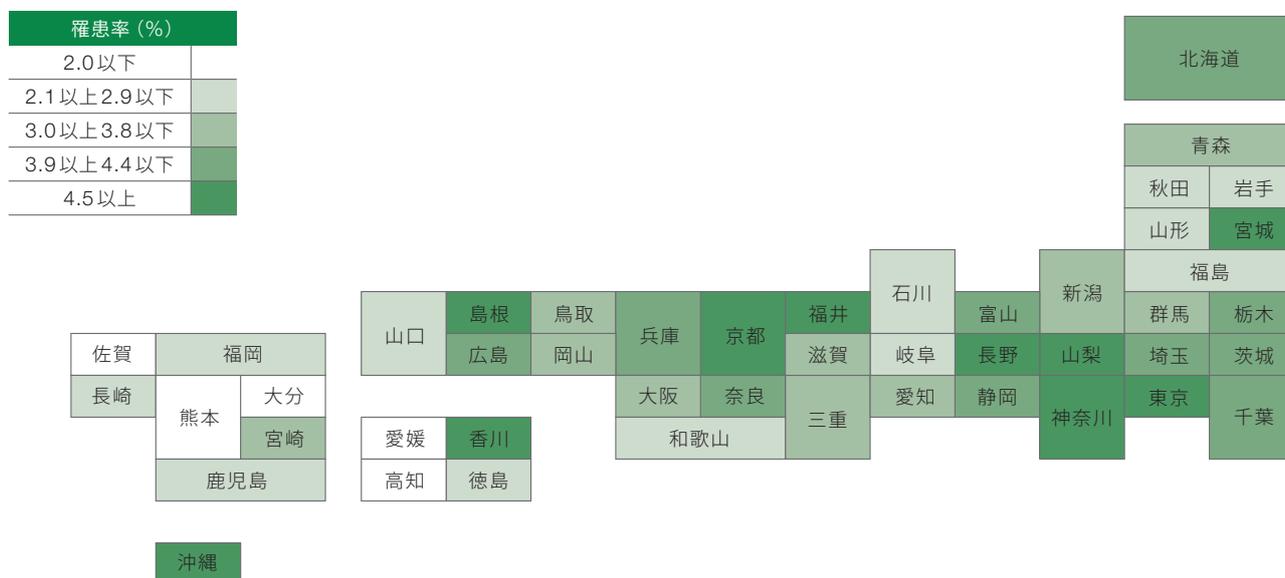
3-4-1

2011年4月1日～2012年3月31日までの間に、アニコム損保の保険契約で満期を迎えた犬299,648頭（全年齢、性別不明含む）を対象に、感染症で請求があった犬の罹患率を都道府県別に調査した。

## 第4章 都道府県別の統計

## 2. 犬の腫瘍疾患

## 3-4-2 犬の腫瘍疾患



県名	罹患率 (%)
北海道	4.0
青森県	3.5
岩手県	2.9
宮城県	5.1
秋田県	2.4
山形県	2.9
福島県	2.7
茨城県	4.0
栃木県	4.0
群馬県	3.7
埼玉県	4.4
千葉県	4.2
東京都	5.4
神奈川県	5.3
新潟県	3.6
富山県	3.9

県名	罹患率 (%)
石川県	2.6
福井県	4.9
山梨県	4.8
長野県	4.8
岐阜県	2.9
静岡県	4.4
愛知県	3.3
三重県	3.2
滋賀県	3.7
京都府	5.4
大阪府	3.8
兵庫県	4.4
奈良県	4.0
和歌山県	2.6
鳥取県	3.5
島根県	4.9

県名	罹患率 (%)
岡山県	3.7
広島県	3.9
山口県	2.9
徳島県	2.5
香川県	4.8
愛媛県	2.0
高知県	1.2
福岡県	2.9
佐賀県	1.4
長崎県	2.8
熊本県	1.1
大分県	1.4
宮崎県	3.7
鹿児島県	2.4
沖縄県	5.3
全国	4.2

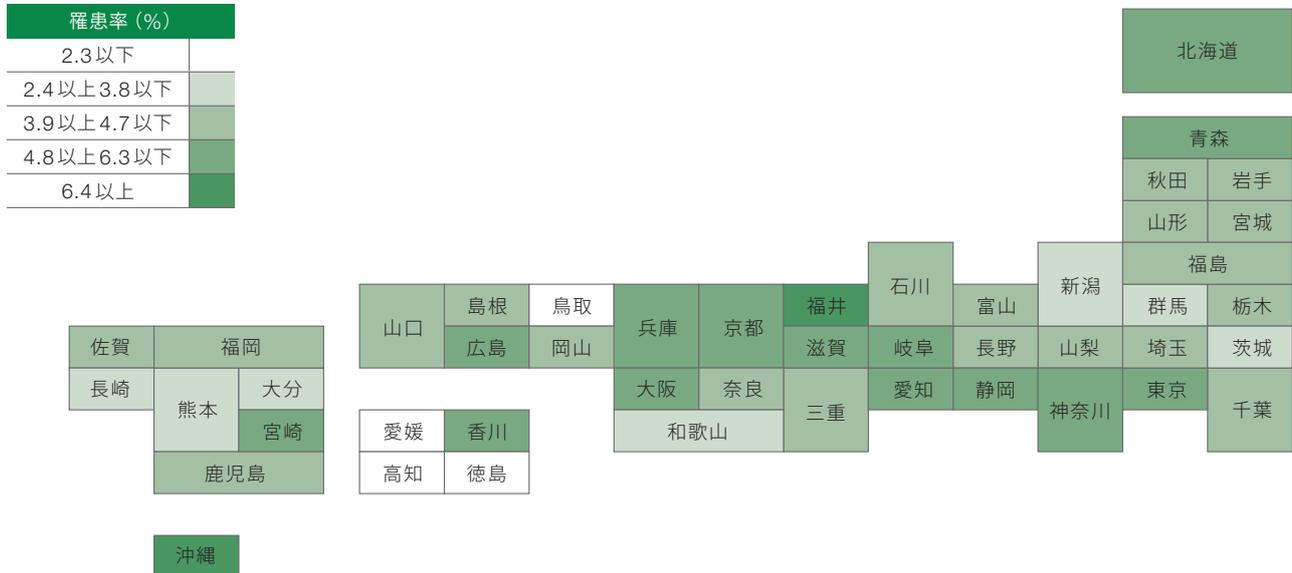
3-4-2

2011年4月1日～2012年3月31日までの間に、アニコム損保の保険契約で満期を迎えた犬299,648頭（全年齢、性別不明含む）を対象に、腫瘍疾患で請求があった犬の罹患率を都道府県別に調査した。

## 第4章 都道府県別の統計

## 3. 犬のアレルギー性皮膚炎（アトピー性皮膚炎を含む）

## 3-4-3 犬のアレルギー性皮膚炎（アトピー性皮膚炎を含む）



県名	罹患率 (%)
北海道	5.3
青森県	5.4
岩手県	4.3
宮城県	4.6
秋田県	4.3
山形県	3.9
福島県	4.1
茨城県	3.8
栃木県	4.1
群馬県	3.8
埼玉県	4.4
千葉県	4.1
東京都	5.0
神奈川県	5.3
新潟県	3.5
富山県	4.5

県名	罹患率 (%)
石川県	4.7
福井県	8.6
山梨県	4.4
長野県	4.2
岐阜県	6.3
静岡県	4.9
愛知県	5.0
三重県	4.0
滋賀県	5.0
京都府	6.3
大阪府	4.9
兵庫県	5.0
奈良県	4.6
和歌山県	3.0
鳥取県	1.1
島根県	4.2

県名	罹患率 (%)
岡山県	4.7
広島県	4.8
山口県	3.9
徳島県	1.9
香川県	5.2
愛媛県	2.3
高知県	1.9
福岡県	4.4
佐賀県	4.1
長崎県	3.6
熊本県	3.2
大分県	3.3
宮崎県	5.2
鹿児島県	4.5
沖縄県	7.7
全国	4.8

3-4-3

2011年4月1日～2012年3月31日までの間に、アニコム損保の保険契約で満期を迎えた犬299,648頭（全年齢、性別不明含む）を対象に、アレルギー性皮膚炎（アトピー性皮膚炎含む）で請求があった犬の罹患率を都道府県別に調査した。

疾患(大分類単位)別罹患率

(どうぶつ種別)

Table with columns for animal type, age group, and 19 disease categories (1. 循環器疾患 to 19. 症状(%)). Includes sub-sections for '犬 全体' and '犬 女の子'.



# 参考資料 1 疾患(大分類単位)別罹患率

(どうぶつ種別)

猫 男子	対象数(頭)	1.循環器疾患 (%)	2.呼吸器疾患 (%)	3.消化器疾患 (%)	4.肝・胆・膵疾患 (%)	5.泌尿器疾患 (%)	6.生殖器疾患 (%)	7.神経疾患 (%)	8.眼の疾患 (%)	9.耳の疾患 (%)	10.歯・口腔疾患 (%)	11.筋骨格系疾患 (%)	12.皮膚疾患 (%)	13.血液・免疫疾患 (%)	14.内分泌疾患 (%)	15.感染症 (%)	16.寄生虫疾患 (%)	17.損傷 (%)	18.腫瘍疾患 (%)	19.症状 (%)
0歳	3,825	1.4	6.9	17.8	1.4	6.2	0.2	0.4	10.6	7.4	1.4	2.7	9.7	0.4	0.1	5.0	4.3	4.7	0.7	19.6
1歳	2,444	1.9	3.0	12.1	1.4	10.3	0.2	0.3	7.0	5.3	1.0	3.2	7.7	0.3	0.1	1.6	1.1	3.2	0.7	11.9
2歳	1,367	1.3	3.8	11.3	1.0	12.4	0.0	0.6	6.4	3.5	1.7	1.7	8.9	0.4	0.5	1.5	0.7	4.2	0.4	10.6
3歳	1,571	1.3	3.0	11.5	1.8	10.7	0.0	0.5	6.4	3.4	2.3	1.8	8.5	0.3	0.4	1.2	0.8	3.1	0.8	11.8
4歳	1,403	1.6	3.3	8.1	1.7	12.0	0.0	0.6	5.3	3.0	2.2	0.6	6.6	0.1	0.8	0.6	0.9	2.7	0.7	7.8
5歳	1,365	2.4	3.5	9.0	1.5	13.9	0.1	1.0	5.2	2.9	2.1	1.5	8.1	0.4	0.2	1.1	0.5	2.7	1.0	8.8
6歳	1,253	2.1	3.3	9.4	2.6	14.3	0.1	0.5	4.8	3.7	3.2	0.9	6.7	0.5	1.1	1.2	0.6	2.9	2.2	12.5
7歳	997	2.4	3.7	9.6	2.0	14.3	0.1	0.8	4.6	3.0	3.7	1.6	8.3	0.6	1.1	0.9	0.4	2.7	2.1	11.8
8歳	772	2.1	3.8	10.6	2.8	13.1	0.0	0.8	5.4	3.1	4.0	1.0	7.8	0.4	1.7	1.2	0.4	2.8	2.2	11.9
9歳	669	2.5	4.3	12.4	3.3	16.3	0.3	0.9	3.7	3.9	5.1	1.0	9.2	0.4	2.2	1.0	0.6	2.7	4.5	14.2
10歳	534	3.0	4.9	14.2	4.5	19.1	0.0	0.7	5.8	3.4	6.4	1.3	9.2	1.9	3.6	2.1	0.6	3.9	5.6	15.5
11歳	377	4.0	5.6	13.0	5.0	25.2	0.3	1.6	5.8	2.1	5.6	1.1	10.1	0.3	2.1	1.3	0.0	3.4	6.4	17.2
12歳	247	4.0	4.5	13.0	7.3	22.7	0.0	1.2	4.9	3.2	7.3	1.6	6.1	1.2	4.9	0.4	0.0	2.4	6.9	15.4
合計	16,824																			

猫 女子	対象数(頭)	1.循環器疾患 (%)	2.呼吸器疾患 (%)	3.消化器疾患 (%)	4.肝・胆・膵疾患 (%)	5.泌尿器疾患 (%)	6.生殖器疾患 (%)	7.神経疾患 (%)	8.眼の疾患 (%)	9.耳の疾患 (%)	10.歯・口腔疾患 (%)	11.筋骨格系疾患 (%)	12.皮膚疾患 (%)	13.血液・免疫疾患 (%)	14.内分泌疾患 (%)	15.感染症 (%)	16.寄生虫疾患 (%)	17.損傷 (%)	18.腫瘍疾患 (%)	19.症状 (%)
0歳	3,103	0.9	5.7	15.8	1.4	4.6	1.1	0.5	11.5	7.9	0.9	2.5	10.1	0.6	0.1	4.0	3.9	4.1	0.5	18.3
1歳	2,148	1.1	2.6	11.1	1.1	6.2	0.7	0.7	8.0	4.4	0.8	2.0	8.6	0.2	0.0	1.9	1.4	2.8	0.4	10.7
2歳	1,178	0.8	2.2	9.8	1.4	8.4	0.3	0.3	7.0	2.6	1.4	1.2	7.4	0.4	0.4	0.9	1.1	2.5	0.8	12.1
3歳	1,286	1.1	3.1	7.9	1.0	8.0	0.4	0.6	4.9	2.4	2.3	1.5	8.5	0.5	0.1	1.1	1.2	2.6	0.4	8.4
4歳	1,157	1.3	2.7	8.1	1.3	9.3	0.2	0.5	5.4	3.8	1.5	1.7	9.3	0.4	0.8	1.1	0.9	2.4	1.5	9.1
5歳	1,094	1.5	1.9	6.9	2.3	8.4	0.3	0.7	5.8	3.4	2.6	1.6	7.2	0.5	0.5	0.9	0.1	2.8	1.0	9.0
6歳	1,007	2.0	3.3	7.8	0.8	11.9	0.4	0.3	4.3	3.2	1.4	1.1	7.2	0.5	0.8	1.3	1.2	2.7	1.6	9.4
7歳	881	0.9	3.2	9.2	2.8	10.3	0.2	0.7	4.0	3.6	1.7	1.7	8.4	0.1	1.0	0.7	1.0	2.2	2.6	10.1
8歳	681	1.3	4.0	8.8	2.3	12.0	0.6	0.4	5.9	3.5	3.2	0.9	7.9	0.4	0.7	0.6	0.9	2.2	4.4	9.7
9歳	562	1.6	4.3	11.0	2.0	13.5	0.7	1.2	5.5	4.1	2.7	1.2	10.1	0.4	1.8	1.6	0.4	2.7	4.4	12.6
10歳	486	1.6	5.6	11.3	2.7	13.6	0.4	1.6	5.6	2.7	3.1	2.7	7.8	0.2	2.9	2.1	0.8	3.3	4.9	16.0
11歳	351	3.4	6.0	14.5	3.7	17.9	0.6	0.6	4.6	3.7	2.3	1.7	10.0	0.3	3.7	0.6	0.0	1.7	5.1	14.5
12歳	244	2.5	4.5	10.2	3.7	17.6	0.4	0.4	5.3	1.2	3.3	1.2	8.6	0.0	7.0	1.6	0.0	3.3	4.1	11.9
合計	14,178																			

鳥 全体	対象数(羽)	1.循環器疾患 (%)	2.呼吸器疾患 (%)	3.消化器疾患 (%)	4.肝・胆・膵疾患 (%)	5.泌尿器疾患 (%)	6.生殖器疾患 (%)	7.神経疾患 (%)	8.眼の疾患 (%)	9.耳の疾患 (%)	10.歯・口腔疾患 (%)	11.筋骨格系疾患 (%)	12.皮膚疾患 (%)	13.血液・免疫疾患 (%)	14.内分泌疾患 (%)	15.感染症 (%)	16.寄生虫疾患 (%)	17.損傷 (%)	18.腫瘍疾患 (%)	19.症状 (%)
0歳	73	0.0	8.2	17.8	0.0	0.0	4.1	0.0	2.7	0.0	1.4	1.4	1.4	0.0	1.4	6.8	9.6	13.7	0.0	16.4
1歳	68	0.0	0.0	14.7	1.5	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	4.4	4.4	0.0	0.0	2.9	1.5	4.4	1.5	7.4
2歳	53	0.0	1.9	17.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	3.8	3.8	3.8	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.5
3歳	52	1.9	1.9	3.8	0.0	0.0	5.8	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	1.9	0.0	3.8	0.0	28.8
4歳	52	0.0	1.9	13.5	1.9	5.8	1.9	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	9.6	0.0	5.8	0.0	0.0	5.8	1.9	13.5
5歳	44	6.8	0.0	11.4	6.8	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	22.7
6歳	24	4.2	4.2	16.7	4.2	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	4.2	0.0	0.0	4.2	0.0	4.2	0.0	12.5
合計	366																			

うさぎ 全体	対象数(頭)	1.循環器疾患 (%)	2.呼吸器疾患 (%)	3.消化器疾患 (%)	4.肝・胆・膵疾患 (%)	5.泌尿器疾患 (%)	6.生殖器疾患 (%)	7.神経疾患 (%)	8.眼の疾患 (%)	9.耳の疾患 (%)	10.歯・口腔疾患 (%)	11.筋骨格系疾患 (%)	12.皮膚疾患 (%)	13.血液・免疫疾患 (%)	14.内分泌疾患 (%)	15.感染症 (%)	16.寄生虫疾患 (%)	17.損傷 (%)	18.腫瘍疾患 (%)	19.症状 (%)
0歳	285	0.7	5.3	24.6	0.4	4.2	0.4	1.1	9.8	5.3	1.8	2.1	16.5	0.0	0.4	3.9	4.9	8.4	0.0	20.0
1歳	272	0.0	2.6	35.7	1.1	2.6	0.4	3.7	11.0	7.0	4.4	2.6	14.0	0.0	0.0	0.4	2.9	3.3	1.5	17.3
2歳	268	0.4	2.2	31.3	1.9	5.2	4.1	1.5	8.6	5.6	2.6	1.9	13.8	0.4	0.0	0.7	1.9	5.6	3.0	22.8
3歳	394	0.3	3.0	27.7	1.3	5.8	1.8	2.8	11.9	7.4	3.0	1.3	10.9	0.3	0.3	0.8	1.5	4.3	4.6	20.1
4歳	297	1.3	4.0	26.9	1.3	5.7	4.7	3.4	13.8	3.7	4.0	1.7	15.2	0.0	0.0	1.3	2.0	3.7	5.1	22.2
5歳	271	1.5	5.5	27.7	1.8	5.5	1.8	7.4	16.6	5.2	3.7	4.1	17.7	0.4	0.0	2.6	2.6	4.1	7.7	30.3
6歳	229	1.7	7.4	26.6	2.6	6.6	3.5	4.8	15.3	4.4	6.1	2.2	16.2	0.0	0.0	2.6	0.4	1.7	12.2	31.4
合計	2,016																			

フェレット 全体	対象数(頭)	1.循環器疾患 (%)	2.呼吸器疾患 (%)	3.消化器疾患 (%)	4.肝・胆・膵疾患 (%)	5.泌尿器疾患 (%)	6.生殖器疾患 (%)	7.神経疾患 (%)	8.眼の疾患 (%)	9.耳の疾患 (%)	10.歯・口腔疾患 (%)	11.筋骨格系疾患 (%)	12.皮膚疾患 (%)	13.血液・免疫疾患 (%)	14.内分泌疾患 (%)	15.感染症 (%)	16.寄生虫疾患 (%)	17.損傷 (%)	18.腫瘍疾患 (%)	19.症状 (%)
0歳	235	0.9	8.5	17.0	1.3	0.4	0.0	0.4	0.0	8.1	0.4	1.3	5.1	0.4	0.0	0.0	4.3	3.8	2.6	17.4
1歳	254	2.0	3.9	11.4	2.4	2.0	2.0	0.4	0.8	5.1	1.2	1.6	6.7	0.4	1.2	1.6	1.6	2.8	7.1	18.9
2歳	271	1.5	4.1	14.0	4.1	4.1	1.8	0.0	4.8	4.8	2.6	1.1	10.3	1.1	6.3	0.0	1.1	1.5	11.4	23.6
3歳	398	3.8	3.0	15.3	6.0	5.5	0.5	1.8	2.3	4.0	0.8	1.3	8.0	2.5	10.3	0.5	0.5	3.3	26.1	21.9
4歳	348	4.6	4.0	13.2	9.8	8.0	0.3	2.6	1.7	4.3	2.6	0.9	8.9	3.7	16.4	1.1	0.3	2.0	35.3	30.2
5歳	257	9.7	6.6	14.8	12.1	8.6	1.9	1.6	2.3	1.6	2.7	1.2	7.0	2.7	19.8	1.2	0.8	1.6	42.0	29.2
6歳	153	13.1	7.8	9.2	15.0	10.5	1.3	2.6	3.3	1.3	0.7	1.3	7.2	2.6	19.0	0.7	1.3	2.6	52.9	33.3
合計	1,916																			

# 参考資料 2 疾患(大分類単位)別罹患率

(犬、品種別、年齢補正後)

対象数(頭)	罹患率(%)																			
	1. 循環器疾患 患 (%)	2. 呼吸器疾患 患 (%)	3. 消化器疾患 患 (%)	4. 肝・胆・膵 疾患 (%)	5. 泌尿器疾患 患 (%)	6. 生殖器疾患 患 (%)	7. 神経疾患 患 (%)	8. 目の疾患 患 (%)	9. 耳の疾患 患 (%)	10. 歯・口腔 疾患 (%)	11. 筋骨格系 疾患 (%)	12. 皮膚疾患 患 (%)	13. 血液・免疫 疾患 (%)	14. 内分泌疾 患 (%)	15. 感染症 患 (%)	16. 寄生虫症 患 (%)	17. 損傷 (%)	18. 腫瘍疾患 患 (%)	19. 症状 (%)	
男の子																				
ミニチュア・ダックスフンド	25,573	1.9	2.4	13.8	2.4	3.6	1.9	3.4	7.0	13.2	5.0	10.6	22.2	0.4	0.9	0.7	0.8	4.0	4.5	14.2
チワワ	25,051	8.5	3.7	14.5	3.9	4.6	1.1	4.3	8.9	11.2	3.3	8.0	15.4	0.4	1.2	0.7	0.8	3.4	2.5	16.5
トイ・プードル	24,211	3.2	3.2	16.6	3.9	3.9	1.1	3.0	11.9	20.8	6.2	8.9	20.2	0.5	2.0	0.7	1.2	4.4	4.1	17.0
柴	7,340	1.2	2.0	12.3	2.0	3.8	1.0	1.3	6.5	16.5	1.2	5.9	30.0	0.3	1.8	0.8	1.2	5.4	3.0	13.7
混血犬(体重10kg未満)	6,192	3.7	2.0	14.4	4.2	6.0	1.7	2.6	8.6	17.0	4.0	7.9	22.9	0.5	1.3	0.4	1.4	3.6	5.7	14.4
ヨークシャー・テリア	5,590	4.2	3.9	19.1	5.5	6.6	1.1	4.8	13.5	16.1	5.4	9.6	23.9	0.4	2.3	0.8	1.0	4.2	4.9	18.9
ポメラニアン	4,949	8.2	7.1	15.7	5.2	5.1	1.2	2.5	8.1	10.5	4.4	11.6	18.4	0.6	3.9	0.8	0.9	3.2	3.4	19.0
ウエルシュ・コギー・ペンブローク	4,387	0.8	1.4	17.7	2.7	7.5	2.5	2.9	8.4	11.9	2.7	10.0	24.6	0.8	0.9	0.6	1.6	6.0	6.6	18.0
パピヨン	4,665	2.5	2.5	17.7	5.2	7.3	1.5	2.4	9.9	8.5	5.5	11.1	16.6	0.4	1.2	0.7	1.0	4.4	2.4	18.8
シー・ズー	4,027	6.3	2.4	16.1	5.7	7.4	1.7	1.4	28.7	28.4	1.7	4.4	39.1	0.5	1.7	1.6	1.9	5.0	7.4	17.0
ミニチュア・シュナウザー	4,050	3.7	1.4	15.5	5.4	8.2	1.6	3.1	8.3	18.0	3.5	6.1	30.7	0.8	2.0	0.6	1.2	5.4	8.0	17.0
フレンチ・ブルドッグ	3,812	0.7	3.9	20.9	2.5	7.3	1.1	6.0	19.1	29.4	1.6	14.3	50.3	0.3	2.2	1.7	2.2	5.9	10.3	22.7
ラブラドル・レトリバー	2,910	1.3	2.4	16.4	2.3	4.5	1.2	2.7	5.6	27.2	1.6	10.2	29.6	0.7	1.7	0.9	1.2	5.7	10.8	17.5
キャバリア・キング・チャールズ・スパニエル	2,787	20.6	2.5	21.1	2.8	4.2	1.3	4.0	20.2	28.5	4.2	10.6	28.8	0.9	1.3	0.8	1.2	4.3	5.2	22.1
ゴールデン・レトリバー	2,538	1.7	2.5	16.8	1.8	3.9	1.2	2.2	7.9	34.3	1.5	9.3	37.3	0.4	3.0	0.8	1.8	6.4	13.1	17.4
マルチーズ	2,648	10.6	4.3	14.4	6.2	4.4	1.0	2.3	13.3	26.8	4.7	8.4	23.5	1.0	2.4	1.2	1.5	3.9	3.0	17.7
バグ	2,259	2.7	6.4	13.7	3.1	7.4	1.0	5.4	24.5	37.5	2.9	10.0	41.8	0.7	2.0	1.9	1.5	4.7	7.3	17.8
女の子																				
ミニチュア・ダックスフンド	23,485	1.6	2.1	12.9	3.1	4.8	2.4	3.1	7.2	13.4	5.1	8.9	20.9	0.9	1.0	0.6	0.8	3.8	7.3	14.6
チワワ	21,095	6.1	3.8	13.1	4.3	4.0	3.1	3.8	8.2	9.9	3.2	6.5	15.1	0.6	1.1	0.5	0.8	3.2	3.5	16.3
トイ・プードル	20,971	3.8	2.6	15.5	3.7	4.8	1.7	2.9	13.0	18.3	6.4	9.1	18.9	0.8	1.7	0.7	0.8	3.6	6.7	17.6
柴	6,995	1.2	2.1	11.5	2.5	8.7	2.3	1.4	8.1	15.1	2.2	5.0	32.2	0.5	2.0	0.8	1.3	4.3	4.6	15.0
混血犬(体重10kg未満)	6,153	3.6	3.0	14.2	3.7	6.8	1.9	2.6	8.5	14.7	4.1	7.6	21.5	0.4	1.1	0.5	0.8	3.9	6.0	15.3
ヨークシャー・テリア	4,688	3.6	4.4	19.2	4.6	6.9	3.1	3.2	12.4	15.6	5.0	7.7	26.6	0.3	1.9	0.9	0.8	3.9	6.4	20.2
ポメラニアン	4,222	6.4	9.1	15.4	6.1	4.5	2.6	2.8	8.5	11.0	3.5	11.2	17.0	0.5	3.0	0.6	0.8	3.1	3.6	19.4
ウエルシュ・コギー・ペンブローク	4,314	0.8	1.9	16.4	2.7	10.7	2.3	1.9	8.8	12.0	3.6	9.6	24.5	1.0	1.3	0.8	1.4	5.8	8.9	18.0
パピヨン	4,063	2.4	2.1	14.8	5.1	5.6	2.5	1.8	9.6	8.3	5.0	10.6	15.9	0.8	0.6	0.4	1.1	3.9	4.5	17.7
シー・ズー	3,430	4.4	2.1	16.0	4.8	10.0	2.6	1.5	28.0	26.6	1.6	3.3	40.0	0.8	2.1	1.7	1.8	4.0	7.7	18.0
ミニチュア・シュナウザー	3,882	3.7	1.7	14.4	7.5	15.3	3.2	2.2	8.7	18.3	3.6	4.3	29.0	0.6	3.3	0.6	1.1	4.2	10.6	15.6
フレンチ・ブルドッグ	2,976	1.6	2.3	19.7	1.9	17.5	4.5	2.7	19.0	30.7	2.4	8.6	54.5	1.8	3.0	1.7	1.4	5.8	10.0	21.3
ラブラドル・レトリバー	2,955	1.3	2.2	16.2	2.5	8.8	2.7	2.0	5.2	27.5	2.4	8.5	26.4	0.5	1.4	0.9	1.0	6.6	11.6	17.8
キャバリア・キング・チャールズ・スパニエル	2,773	19.8	3.3	18.4	3.9	10.3	4.3	3.9	19.3	26.7	5.3	9.8	28.1	0.8	1.3	1.1	0.9	4.7	5.0	19.9
ゴールデン・レトリバー	2,447	3.0	2.2	17.1	1.7	10.2	3.2	1.6	8.0	34.3	1.8	7.9	36.2	0.6	3.8	0.7	1.8	5.6	15.0	18.2
マルチーズ	2,197	7.5	4.2	14.3	6.0	5.8	3.4	1.8	13.0	25.8	3.7	9.3	24.6	1.3	3.0	0.6	1.4	4.2	5.2	19.0
バグ	1,891	1.9	5.5	15.7	2.7	19.5	4.0	4.0	19.5	34.3	1.3	8.8	45.6	0.7	2.0	1.7	1.4	3.7	10.8	20.4



参考資料 2

疾患(大分類単位)別罹患率

(犬、品種別、年齢補正後)

対象数(頭)	罹患率 (%)																		
	1. 循環器疾患 (%)	2. 呼吸器疾患 (%)	3. 消化器疾患 (%)	4. 肝・胆・膵疾患 (%)	5. 泌尿器疾患 (%)	6. 生殖器疾患 (%)	7. 神経疾患 (%)	8. 眼の疾患 (%)	9. 耳の疾患 (%)	10. 歯・口腔疾患 (%)	11. 筋骨格系疾患 (%)	12. 皮膚疾患 (%)	13. 血液・免疫疾患 (%)	14. 内分泌疾患 (%)	15. 感染症 (%)	16. 寄生虫 (%)	17. 損傷 (%)	18. 腫瘍疾患 (%)	19. 症状 (%)
全体	49,058	2.2	13.4	2.8	4.2	2.2	3.3	7.1	13.3	5.1	9.8	21.5	0.6	1.0	0.6	0.8	3.9	5.9	14.4
ミニチュア・ダックスフンド	46,146	7.3	13.8	4.1	4.3	2.1	4.0	8.5	10.6	3.3	7.3	15.3	0.5	1.1	0.6	0.8	3.3	3.0	16.4
チワワ	45,182	3.5	2.9	16.1	3.8	4.4	1.4	2.9	12.5	19.5	6.3	19.6	0.6	1.8	0.7	1.0	4.0	5.4	17.3
トイ・プードル	14,335	1.2	2.0	11.9	2.2	6.2	1.6	1.3	7.3	15.8	1.7	5.5	31.1	0.4	1.9	1.3	4.8	3.8	14.4
柴	12,345	3.7	2.5	14.3	4.0	6.4	1.8	2.6	8.5	15.9	4.1	7.7	22.2	0.4	1.2	0.5	3.8	5.8	14.8
混血犬(体重10kg未満)	10,278	3.9	4.2	19.2	5.1	6.8	2.1	4.0	12.9	15.9	5.2	8.6	25.2	0.3	2.1	0.8	4.0	5.7	19.6
ヨークシャー・テリア	9,171	7.3	8.1	15.6	5.6	4.8	1.9	2.7	8.3	10.8	4.0	11.4	17.7	0.5	3.4	0.7	3.2	3.5	19.2
ボメラニアン	8,701	0.8	1.6	17.0	2.7	9.1	2.4	2.4	8.6	12.0	3.2	9.8	24.6	0.9	1.1	0.7	5.9	7.8	18.0
ウエルシュ・コーギー・ペンブローク	8,728	2.5	2.3	16.2	5.1	6.5	2.0	2.1	9.7	8.4	5.3	10.8	16.3	0.6	0.9	1.0	4.2	3.5	18.2
パピヨン	7,457	5.3	2.3	16.1	5.2	8.7	2.1	1.5	28.3	27.5	1.7	3.8	39.6	0.6	1.9	1.7	4.5	7.6	17.5
シー・ズー	7,932	3.7	1.6	14.9	6.4	11.8	2.4	2.7	8.5	18.1	3.6	5.2	29.8	0.7	2.7	0.6	4.8	9.3	16.3
ミニチュア・シュナウザー	6,788	1.2	3.1	20.3	2.2	12.4	2.8	4.3	19.1	30.1	2.0	11.4	52.4	1.0	2.6	1.7	5.8	10.1	22.0
フレンチ・ブルドッグ	5,865	1.3	2.3	16.3	2.4	6.6	2.0	2.3	5.4	27.4	2.0	9.4	28.0	0.6	1.5	0.9	6.2	11.2	17.6
ラブラドル・レトリバー	5,560	20.2	2.9	19.8	3.3	7.3	2.8	3.9	19.8	27.6	4.7	10.2	28.5	0.8	1.3	1.0	4.5	5.1	21.0
キャバリア・キング・チャールズ・スパニエル	4,985	2.4	2.4	17.0	1.7	7.0	2.2	1.9	8.0	34.3	1.6	8.6	36.8	0.5	3.4	0.8	6.0	14.1	17.8
ゴールデン・レトリバー	4,845	9.0	4.3	14.4	6.1	5.1	2.2	2.0	13.1	26.3	4.2	8.8	24.0	1.1	2.7	0.9	4.0	4.1	18.3
マルチーズ	4,150	2.3	5.9	14.7	2.9	13.5	2.5	4.7	22.0	35.9	2.1	9.4	43.7	0.7	2.0	1.8	4.2	9.1	19.1
パグ																			

対象数(頭)	罹患率 (%)																		
	1. 循環器疾患 (%)	2. 呼吸器疾患 (%)	3. 消化器疾患 (%)	4. 肝・胆・膵疾患 (%)	5. 泌尿器疾患 (%)	6. 生殖器疾患 (%)	7. 神経疾患 (%)	8. 眼の疾患 (%)	9. 耳の疾患 (%)	10. 歯・口腔疾患 (%)	11. 筋骨格系疾患 (%)	12. 皮膚疾患 (%)	13. 血液・免疫疾患 (%)	14. 内分泌疾患 (%)	15. 感染症 (%)	16. 寄生虫 (%)	17. 損傷 (%)	18. 腫瘍疾患 (%)	19. 症状 (%)
犬全体	154,369	3.7	2.9	15.8	3.6	5.1	1.5	3.2	10.5	17.7	3.8	9.5	24.6	0.5	1.6	0.8	4.6	5.7	16.8
男の子の平均	137,921	3.1	2.7	14.8	3.8	7.1	2.6	2.7	10.2	17.0	3.8	8.4	24.3	0.7	1.7	0.8	4.3	7.7	17.0
女の子の平均	292,290	3.4	2.8	15.3	3.7	6.1	2.1	3.0	10.3	17.4	3.8	8.9	24.4	0.6	1.7	0.8	4.4	6.7	16.9

# 参考資料 3 アニコム「どうぶつ健保」の契約頭数

(犬、品種別、年齢別、1年契約の契約満了および死亡解約の契約数の合計)

品種	年齢	総計	男子	女子
パピヨン	0	1,112	595	517
	1	1,072	568	504
	2	793	384	409
	3	1,111	582	529
	4	1,137	601	536
	5	1,072	561	511
	6	978	527	451
	7	681	402	279
	8	360	209	151
	9	245	147	98
	10	167	89	78
合計	8,728	4,665	4,063	
パピヨン (0~10歳) 合計	0	1,072	586	486
	1	870	480	390
	2	576	306	270
	3	778	416	362
	4	743	402	341
	5	774	406	368
	6	741	403	338
	7	639	351	288
	8	489	258	231
	9	431	232	199
	10	344	187	157
合計	7,457	4,027	3,430	
シー・ズー	0	1,268	642	626
	1	1,172	622	550
	2	754	361	393
	3	1,009	486	523
	4	1,002	514	488
	5	902	445	457
	6	750	405	345
	7	497	278	219
	8	272	145	127
	9	166	83	83
	10	140	69	71
合計	7,932	4,050	3,882	
シー・ズー (0~10歳) 合計	0	1,225	649	576
	1	1,200	656	544
	2	825	423	402
	3	1,068	583	485
	4	920	512	408
	5	691	428	263
	6	451	281	170
	7	254	176	78
	8	95	68	27
	9	38	22	16
	10	21	14	7
合計	6,788	3,812	2,976	
ミニチュア・シュナウザー	0	525	265	240
	1	612	314	298
	2	416	216	200
	3	521	238	283
	4	577	302	275
	5	518	250	268
	6	749	378	371
	7	597	295	302
	8	551	270	281
	9	462	216	246
	10	337	146	191
合計	5,865	2,910	2,955	
ミニチュア・シュナウザー (0~10歳) 合計	0	525	265	240
	1	612	314	298
	2	416	216	200
	3	521	238	283
	4	577	302	275
	5	518	250	268
	6	749	378	371
	7	597	295	302
	8	551	270	281
	9	462	216	246
	10	337	146	191
合計	5,865	2,910	2,955	
フレッチ・ブルドッグ	0	525	265	240
	1	612	314	298
	2	416	216	200
	3	521	238	283
	4	577	302	275
	5	518	250	268
	6	749	378	371
	7	597	295	302
	8	551	270	281
	9	462	216	246
	10	337	146	191
合計	5,865	2,910	2,955	
ラブラドル・レトリバー	0	525	265	240
	1	612	314	298
	2	416	216	200
	3	521	238	283
	4	577	302	275
	5	518	250	268
	6	749	378	371
	7	597	295	302
	8	551	270	281
	9	462	216	246
	10	337	146	191
合計	5,865	2,910	2,955	
ミニチュア・ダックスフンド	0	6,254	3,211	3,043
	1	5,687	2,911	2,776
	2	3,853	1,943	1,910
	3	5,407	2,805	2,602
	4	5,716	2,952	2,764
	5	5,852	2,974	2,878
	6	5,910	3,024	2,886
	7	4,549	2,515	2,034
	8	2,854	1,575	1,279
	9	1,726	956	770
	10	1,250	707	543
合計	49,058	25,573	23,485	
チワワ	0	11,895	6,291	5,604
	1	8,272	4,420	3,852
	2	4,979	2,670	2,309
	3	5,440	2,893	2,547
	4	4,646	2,514	2,132
	5	4,032	2,196	1,836
	6	3,105	1,774	1,331
	7	1,992	1,215	777
	8	981	591	390
	9	499	297	202
	10	305	190	115
合計	46,146	25,051	21,095	
トイ・プードル	0	13,030	6,917	6,113
	1	9,451	5,021	4,430
	2	5,543	2,887	2,656
	3	5,696	3,005	2,691
	4	4,280	2,274	2,006
	5	3,258	1,812	1,446
	6	2,129	1,242	887
	7	1,012	596	416
	8	421	262	159
	9	213	122	91
	10	149	73	76
合計	45,182	24,211	20,971	
柴	0	3,539	1,829	1,710
	1	2,383	1,256	1,127
	2	1,367	690	677
	3	1,595	811	784
	4	1,369	706	663
	5	1,331	678	653
	6	1,120	574	546
	7	727	358	369
	8	423	198	225
	9	291	146	145
	10	190	94	96
合計	14,335	7,340	6,995	
混血犬 (体重10kg未満)	0	4,148	2,056	2,092
	1	2,582	1,310	1,272
	2	1,345	677	668
	3	1,300	685	615
	4	958	470	488
	5	790	389	401
	6	544	289	255
	7	270	123	147
	8	152	72	80
	9	130	63	67
	10	126	58	68
合計	12,345	6,192	6,153	
混血犬 (体重10kg未満) (0~10歳) 合計	0	4,148	2,056	2,092
	1	2,582	1,310	1,272
	2	1,345	677	668
	3	1,300	685	615
	4	958	470	488
	5	790	389	401
	6	544	289	255
	7	270	123	147
	8	152	72	80
	9	130	63	67
	10	126	58	68
合計	12,345	6,192	6,153	



## 参考資料 3

## アニコム「どうぶつ健保」の契約頭数

(犬、品種別、年齢別、1年契約の契約満了および死亡解約の契約数の合計)

品種	年齢	総計	男子	女子
キャバリア・キング・チャールズ・スパニエル	0	743	371	372
	1	766	370	396
	2	483	237	246
	3	664	319	345
	4	682	352	330
	5	653	320	333
	6	580	301	279
	7	407	212	195
	8	254	128	126
	9	194	100	94
	10	134	77	57
合計	5,560	2,787	2,773	
キャバリア・キング・チャールズ・スパニエル (0~10歳)	0	760	406	354
	1	738	378	360
	2	397	207	190
	3	471	242	229
	4	446	255	191
	5	413	199	214
	6	438	231	207
	7	428	191	237
	8	360	170	190
	9	294	132	162
	10	240	127	113
合計	4,985	2,538	2,447	
ゴールデン・レトリバー	0	1,006	542	464
	1	789	421	368
	2	478	256	222
	3	561	283	278
	4	484	265	219
	5	451	266	185
	6	378	228	150
	7	277	165	112
	8	186	91	95
	9	125	70	55
	10	110	61	49
合計	4,845	2,648	2,197	
マルチーズ	0	760	403	357
	1	675	369	306
	2	460	232	228
	3	563	308	255
	4	568	330	238
	5	381	201	180
	6	309	175	134
	7	203	119	84
	8	103	55	48
	9	74	42	32
	10	54	25	29
合計	4,150	2,259	1,891	
パグ	0	1,949	1,054	895
	1	1,569	867	702
	2	995	551	444
	3	1,230	641	589
	4	1,151	616	535
	5	993	527	466
	6	854	477	377
	7	649	381	268
	8	361	193	168
	9	302	173	129
	10	225	110	115
合計	10,278	5,590	4,688	
ボメラニアン	0	2,261	1,159	1,102
	1	1,749	901	848
	2	1,033	558	475
	3	1,131	622	509
	4	814	455	359
	5	725	410	315
	6	575	359	216
	7	391	214	177
	8	207	117	90
	9	162	92	70
	10	123	62	61
合計	9,171	4,949	4,222	
ボメラニアン (0~10歳)	0	972	505	467
	1	913	473	440
	2	657	318	339
	3	783	402	381
	4	876	451	425
	5	1,020	539	481
	6	1,055	539	516
	7	928	460	468
	8	697	334	363
	9	460	212	248
	10	340	154	186
合計	8,701	4,387	4,314	
ウェルシュ・コーギー・ペンブローク	0	1,949	1,054	895
	1	1,569	867	702
	2	995	551	444
	3	1,230	641	589
	4	1,151	616	535
	5	993	527	466
	6	854	477	377
	7	649	381	268
	8	361	193	168
	9	302	173	129
	10	225	110	115
合計	10,278	5,590	4,688	
ウェルシュ・コーギー・ペンブローク (0~10歳)	0	2,261	1,159	1,102
	1	1,749	901	848
	2	1,033	558	475
	3	1,131	622	509
	4	814	455	359
	5	725	410	315
	6	575	359	216
	7	391	214	177
	8	207	117	90
	9	162	92	70
	10	123	62	61
合計	9,171	4,949	4,222	
ウェルシュ・コーギー・ペンブローク	0	972	505	467
	1	913	473	440
	2	657	318	339
	3	783	402	381
	4	876	451	425
	5	1,020	539	481
	6	1,055	539	516
	7	928	460	468
	8	697	334	363
	9	460	212	248
	10	340	154	186
合計	8,701	4,387	4,314	

## 参考資料 4 アニコム「どうぶつ健保」の契約頭数

(どうぶつ種別、年齢別、1年契約の契約満了および死亡解約の契約数の合計)

犬	全体					男の子					女の子				
	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
合計	211,711	262,068	219,839	256,144	297,653	113,047	139,451	116,550	135,649	157,070	98,664	122,617	103,289	120,495	140,583
0歳	67,457	74,255	42,928	61,448	59,116	35,844	39,388	22,545	32,419	30,910	31,613	34,867	20,383	29,029	28,206
1歳	43,900	47,065	37,752	29,215	46,712	23,230	24,856	19,748	15,193	24,591	20,670	22,209	18,004	14,022	22,121
2歳	36,356	40,493	33,112	34,616	28,700	19,725	21,400	17,489	18,080	14,865	16,631	19,093	15,623	16,536	13,835
3歳	24,205	35,082	29,784	31,176	34,064	13,365	19,047	15,759	16,502	17,727	10,840	16,035	14,025	14,674	16,337
4歳	13,100	24,154	26,051	28,271	31,142	7,076	13,279	14,173	14,998	16,477	6,024	10,875	11,878	13,273	14,665
5歳	8,688	13,989	17,929	24,555	28,078	4,631	7,534	9,941	13,362	14,877	4,057	6,455	7,988	11,193	13,201
6歳	5,558	9,019	10,754	17,067	24,357	2,831	4,783	5,799	9,456	13,231	2,727	4,236	4,955	7,611	11,126
7歳	4,309	6,050	7,166	10,386	17,248	2,224	3,071	3,810	5,599	9,531	2,085	2,979	3,356	4,787	7,717
8歳	3,454	4,753	5,097	6,930	10,594	1,741	2,428	2,621	3,700	5,689	1,713	2,325	2,476	3,230	4,905
9歳	2,438	3,207	3,826	4,998	7,051	1,212	1,630	1,924	2,587	3,756	1,226	1,577	1,902	2,411	3,295
10歳	1,385	2,236	2,751	3,752	5,228	725	1,111	1,383	1,879	2,715	660	1,125	1,368	1,873	2,513
11歳	635	1,233	1,688	2,348	3,363	325	649	843	1,179	1,691	310	584	845	1,169	1,672
12歳	226	532	1,001	1,382	2,000	118	275	515	695	1,010	108	257	486	687	990

猫	全体					男の子					女の子				
	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
合計	20,705	24,911	21,266	24,943	31,002	11,086	13,338	11,428	13,445	16,824	9,619	11,573	9,838	11,498	14,178
0歳	5,218	5,883	3,473	5,694	6,928	2,768	3,096	1,801	3,037	3,825	2,450	2,787	1,672	2,657	3,103
1歳	3,681	3,939	3,025	2,486	4,592	1,957	2,120	1,645	1,325	2,444	1,724	1,819	1,380	1,161	2,148
2歳	3,127	3,475	2,706	2,791	2,545	1,718	1,850	1,478	1,530	1,367	1,409	1,625	1,228	1,261	1,178
3歳	2,381	2,979	2,516	2,492	2,857	1,250	1,635	1,373	1,365	1,571	1,131	1,344	1,143	1,127	1,286
4歳	1,605	2,389	2,317	2,404	2,560	870	1,265	1,288	1,322	1,403	735	1,124	1,029	1,082	1,157
5歳	1,316	1,690	1,867	2,206	2,459	760	933	996	1,224	1,365	556	757	871	982	1,094
6歳	919	1,287	1,384	1,783	2,260	490	732	754	948	1,253	429	555	630	835	1,007
7歳	814	970	1,138	1,365	1,878	430	513	627	736	997	384	457	511	629	881
8歳	646	828	886	1,142	1,453	343	430	480	630	772	303	398	406	512	681
9歳	484	600	738	931	1,231	230	319	386	501	669	254	281	352	430	562
10歳	302	448	625	787	1,020	156	214	305	406	534	146	234	320	381	486
11歳	161	285	372	546	728	92	148	179	270	377	69	137	193	276	351
12歳	51	138	219	316	491	22	83	116	151	247	29	55	103	165	244

鳥	全体 (性別不明含)					男の子					女の子					不明				
	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
合計	299	336	307	366	366	159	169	134	156	139	100	121	107	119	119	40	46	66	91	108
0歳	56	60	57	79	73	27	22	9	29	19	19	28	7	18	14	10	10	41	32	40
1歳	67	64	51	67	68	31	30	21	25	23	22	24	27	14	25	14	10	3	28	20
2歳	52	69	53	52	53	31	34	25	23	20	17	22	23	22	12	4	13	5	7	21
3歳	48	48	55	54	52	25	29	29	24	21	16	16	17	22	24	7	3	9	8	7
4歳	36	45	37	48	52	22	22	23	23	22	11	16	12	15	23	3	7	2	10	7
5歳	24	32	37	33	44	15	20	17	20	19	9	9	17	11	14	0	3	3	2	11
6歳	16	18	17	33	24	8	12	10	12	15	6	6	4	17	7	2	0	3	4	2

うさぎ	全体 (性別不明含)					男の子					女の子				
	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
合計	3,152	3,542	2,263	2,110	2,169	1,675	1,886	1,205	1,114	1,097	1,466	1,650	1,058	996	1,072
0歳	520	601	194	189	267	273	306	87	101	116	244	294	107	88	151
1歳	529	554	416	241	262	295	294	201	114	131	233	258	215	127	131
2歳	531	538	352	390	265	271	296	183	182	131	259	242	169	208	134
3歳	535	538	358	317	394	281	280	209	168	190	253	258	149	149	204
4歳	462	493	303	312	296	257	259	157	175	149	201	233	146	137	147
5歳	314	434	268	254	271	165	244	147	130	154	148	188	121	124	117
6歳	175	248	235	229	229	83	138	141	130	120	92	110	94	99	109

フェレット	全体 (性別不明含)					男の子					女の子				
	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
合計	4,129	4,422	2,421	2,014	1,916	2,259	2,384	1,358	1,124	1,042	1,870	2,038	1,063	890	874
0歳	472	492	195	197	235	252	269	107	108	130	220	223	88	89	105
1歳	605	603	386	246	254	319	337	221	129	136	286	266	165	117	118
2歳	758	714	443	386	271	452	366	254	234	145	306	348	189	152	126
3歳	881	856	427	400	398	476	492	227	227	232	405	364	200	173	166
4歳	754	812	414	334	348	411	433	243	183	194	343	379	171	151	154
5歳	493	637	338	278	257	264	331	176	155	134	229	306	162	123	123
6歳	166	308	218	173	153	85	156	130	88	71	81	152	88	85	82



## 参考資料 5

## 疾患(大分類単位)別のオッズ比(犬、品種別)

2011年4月1日～2012年3月31日までの間に、アニコム損保の保険契約で満期を迎えた犬299,648頭(全年齢、全犬種)を対象に、疾患別に当該犬種と対照群に分け、各群の発症頭数およびほかの犬種に対する当該犬種のオッズ比とオッズ比の95%信頼区間、P値を示した。

## ミニチュア・ダックスフンド

疾患名	発症頭数		オッズ比	95%信頼区間		p-Value
	ミニチュア・ダックスフンド	対照		下限	上限	
1. 循環器疾患	682	5,531	0.605	0.558	0.656	<0.000
2. 呼吸器疾患	1,006	7,272	0.679	0.635	0.726	<0.000
3. 消化器疾患	6,726	41,420	0.774	0.753	0.796	<0.000
4. 肝・胆道疾患	1,186	7,320	0.798	0.749	0.849	<0.000
5. 泌尿器疾患	1,959	12,484	0.768	0.731	0.807	<0.000
6. 生殖器系疾患	1,019	4,087	1.240	1.156	1.329	<0.000
7. 神経疾患	1,461	5,362	1.360	1.282	1.443	<0.000
8. 眼の疾患	3,290	24,641	0.638	0.614	0.662	<0.000
9. 耳の疾患	6,703	43,739	0.722	0.702	0.742	<0.000
10. 歯・口腔疾患	2,008	6,386	1.580	1.501	1.664	<0.000
11. 筋骨格系疾患	4,397	19,651	1.118	1.081	1.158	<0.000
12. 皮膚疾患	10,643	58,162	0.881	0.861	0.902	<0.000
13. 血液・免疫疾患	272	1,124	1.200	1.048	1.373	0.007
14. 内分泌疾患	426	2,668	0.789	0.711	0.875	<0.000
15. 感染症	344	2,409	0.705	0.629	0.791	<0.000
16. 寄生虫症	439	3,800	0.568	0.514	0.628	<0.000
17. 損傷	2,063	12,122	0.836	0.797	0.877	<0.000
18. 腫瘍疾患	2,358	10,347	1.135	1.084	1.188	<0.000
19. 症状	7,018	42,466	0.789	0.768	0.811	<0.000

\*対象：犬全体299,648頭(うちミニチュア・ダックスフンド50,341頭)

## チワワ

疾患名	発症頭数		オッズ比	95%信頼区間		p-Value
	チワワ	対照		下限	上限	
1. 循環器疾患	1,066	5,147	1.133	1.059	1.212	<0.000
2. 呼吸器疾患	1,620	6,658	1.339	1.267	1.416	<0.000
3. 消化器疾患	6,789	41,357	0.877	0.853	0.902	<0.000
4. 肝・胆道疾患	1,239	7,267	0.928	0.873	0.987	0.017
5. 泌尿器疾患	1,365	13,078	0.556	0.525	0.589	<0.000
6. 生殖器系疾患	702	4,404	0.867	0.800	0.941	0.001
7. 神経疾患	1,230	5,593	1.205	1.131	1.283	<0.000
8. 眼の疾患	3,593	24,338	0.789	0.760	0.818	<0.000
9. 耳の疾患	4,771	45,671	0.521	0.504	0.537	<0.000
10. 歯・口腔疾患	994	7,400	0.727	0.679	0.778	<0.000
11. 筋骨格系疾患	3,395	20,653	0.888	0.855	0.923	<0.000
12. 皮膚疾患	6,874	61,931	0.537	0.522	0.552	<0.000
13. 血液・免疫疾患	124	1,272	0.530	0.439	0.641	<0.000
14. 内分泌疾患	225	2,869	0.425	0.370	0.488	<0.000
15. 感染症	451	2,302	1.069	0.965	1.185	0.195
16. 寄生虫症	566	3,673	0.839	0.766	0.918	<0.000
17. 損傷	1,793	12,392	0.781	0.742	0.821	<0.000
18. 腫瘍疾患	740	11,965	0.327	0.303	0.352	<0.000
19. 症状	7,315	42,169	0.936	0.911	0.962	<0.000

対象：犬全体299,648頭(うちチワワ46,424頭)

## トイ・プードル

疾患名	発症頭数		オッズ比	95%信頼区間		p-Value
	トイ・プードル	対照		下限	上限	
1. 循環器疾患	366	5,847	0.345	0.310	0.385	<0.000
2. 呼吸器疾患	1,196	7,082	0.944	0.887	1.005	0.071
3. 消化器疾患	8,266	39,880	1.197	1.166	1.229	<0.000
4. 肝・胆道疾患	964	7,542	0.710	0.663	0.760	<0.000
5. 泌尿器疾患	1,316	13,127	0.548	0.518	0.581	<0.000
6. 生殖器系疾患	553	4,553	0.676	0.618	0.740	<0.000
7. 神経疾患	622	6,201	0.556	0.511	0.604	<0.000
8. 眼の疾患	4,179	23,752	0.984	0.950	1.019	0.360
9. 耳の疾患	9,192	41,250	1.311	1.278	1.345	<0.000
10. 歯・口腔疾患	1,346	7,048	1.072	1.010	1.138	0.022
11. 筋骨格系疾患	3,675	20,373	1.011	0.975	1.049	0.548
12. 皮膚疾患	7,732	61,073	0.649	0.633	0.667	<0.000
13. 血液・免疫疾患	156	1,240	0.704	0.593	0.834	<0.000
14. 内分泌疾患	272	2,822	0.537	0.473	0.610	<0.000
15. 感染症	397	2,356	0.943	0.847	1.051	0.284
16. 寄生虫症	686	3,553	1.083	0.996	1.177	0.059
17. 損傷	1,904	12,281	0.863	0.821	0.907	<0.000
18. 腫瘍疾患	899	11,806	0.415	0.387	0.445	<0.000
19. 症状	7,555	41,929	1.011	0.984	1.039	0.420

対象：犬全体299,648頭(うちトイ・プードル45,393頭)

## 柴

疾患名	発症頭数		オッズ比	95%信頼区間		p-Value
	柴	対照		下限	上限	
1. 循環器疾患	118	6,095	0.371	0.308	0.448	<0.000
2. 呼吸器疾患	289	7,989	0.697	0.618	0.787	<0.000
3. 消化器疾患	1,948	46,198	0.792	0.754	0.832	<0.000
4. 肝・胆道疾患	260	8,246	0.606	0.534	0.688	<0.000
5. 泌尿器疾患	711	13,732	1.007	0.932	1.089	0.856
6. 生殖器系疾患	215	4,891	0.853	0.741	0.981	0.023
7. 神経疾患	157	6,666	0.452	0.384	0.532	<0.000
8. 眼の疾患	820	27,111	0.564	0.524	0.606	<0.000
9. 耳の疾患	1,886	48,556	0.719	0.684	0.756	<0.000
10. 歯・口腔疾患	209	8,185	0.489	0.425	0.563	<0.000
11. 筋骨格系疾患	708	23,340	0.569	0.527	0.615	<0.000
12. 皮膚疾患	4,197	64,608	1.369	1.319	1.420	<0.000
13. 血液・免疫疾患	49	1,347	0.706	0.520	0.940	0.017
14. 内分泌疾患	129	2,965	0.845	0.705	1.012	0.061
15. 感染症	130	2,623	0.963	0.804	1.154	0.680
16. 寄生虫症	295	3,944	1.464	1.296	1.652	<0.000
17. 損傷	760	13,425	1.106	1.026	1.193	0.008
18. 腫瘍疾患	362	12,343	0.559	0.502	0.623	<0.000
19. 症状	2,207	47,277	0.891	0.851	0.934	<0.000

対象：犬全体299,648頭(うち柴14,656頭)

## 混血犬(体重10kg未満)

疾患名	発症頭数		オッズ比	95%信頼区間		p-Value
	混血犬	対照		下限	上限	
1. 循環器疾患	160	6,053	0.600	0.511	0.705	<0.000
2. 呼吸器疾患	338	7,940	0.974	0.871	1.089	0.637
3. 消化器疾患	2,086	46,060	1.044	0.995	1.096	0.079
4. 肝・胆道疾患	277	8,229	0.765	0.677	0.865	<0.000
5. 泌尿器疾患	475	13,968	0.770	0.700	0.846	<0.000
6. 生殖器系疾患	168	4,938	0.776	0.662	0.908	0.001
7. 神経疾患	170	6,653	0.579	0.495	0.677	<0.000
8. 眼の疾患	992	26,939	0.829	0.776	0.887	<0.000
9. 耳の疾患	1,866	48,576	0.858	0.816	0.903	<0.000
10. 歯・口腔疾患	259	8,135	0.723	0.637	0.821	<0.000
11. 筋骨格系疾患	859	23,189	0.837	0.779	0.899	<0.000
12. 皮膚疾患	2,303	66,502	0.746	0.712	0.781	<0.000
13. 血液・免疫疾患	34	1,362	0.570	0.393	0.801	0.001
14. 内分泌疾患	57	3,037	0.427	0.322	0.555	<0.000
15. 感染症	93	2,660	0.799	0.642	0.983	0.034
16. 寄生虫症	216	4,023	1.233	1.071	1.419	0.003
17. 損傷	591	13,594	0.995	0.914	1.084	0.907
18. 腫瘍疾患	311	12,394	0.564	0.502	0.633	<0.000
19. 症状	1,887	47,597	0.891	0.847	0.937	<0.000

対象：犬全体299,648頭(うち混血犬(体重10kg未満)12,542頭)

## ヨークシャー・テリア

疾患名	発症頭数		オッズ比	95%信頼区間		p-Value
	ヨークシャー・テリア	対照		下限	上限	
1. 循環器疾患	286	5,927	1.321	1.169	1.493	<0.000
2. 呼吸器疾患	426	7,852	1.496	1.352	1.654	<0.000
3. 消化器疾患	2,063	46,083	1.270	1.209	1.335	<0.000
4. 肝・胆道疾患	428	8,078	1.460	1.320	1.614	<0.000
5. 泌尿器疾患	628	13,815	1.251	1.151	1.360	<0.000
6. 生殖器系疾患	190	4,916	1.052	0.907	1.221	0.495
7. 神経疾患	305	6,518	1.281	1.138	1.442	<0.000
8. 眼の疾患	1,139	26,792	1.175	1.103	1.252	<0.000
9. 耳の疾患	1,648	48,794	0.904	0.856	0.954	<0.000
10. 歯・口腔疾患	458	7,936	1.596	1.447	1.759	<0.000
11. 筋骨格系疾患	890	23,158	1.050	0.978	1.126	0.175
12. 皮膚疾患	2,479	66,326	1.022	0.976	1.070	0.356
13. 血液・免疫疾患	31	1,365	0.617	0.417	0.880	0.007
14. 内分泌疾患	130	2,964	1.195	0.998	1.432	0.047
15. 感染症	108	2,645	1.112	0.908	1.355	0.282
16. 寄生虫症	125	4,114	0.824	0.686	0.990	0.034
17. 損傷	466	13,719	0.921	0.837	1.013	0.085
18. 腫瘍疾患	445	12,260	0.987	0.895	1.088	0.788
19. 症状	2,041	47,443	1.211	1.152	1.272	<0.000

対象：犬全体299,648頭(うちヨークシャー・テリア10,625頭)

# 参考資料 5 疾患(大分類単位)別のオッズ比(犬、品種別)

2011年4月1日～2012年3月31日までの間に、アニコム損保の保険契約が満期を迎えた犬299,648頭(全年齢、全犬種)を対象に、疾患別に当該犬種と対照群に分け、各群の発症頭数およびほかの犬種に対する当該犬種のオッズ比とオッズ比の95%信頼区間、P値を示した。

## ポメラニアン

疾患名	発症頭数		オッズ比	95%信頼区間		p-Value
	ポメラニアン	対照		下限	上限	
1. 循環器疾患	299	5,914	1.585	1.406	1.787	<0.000
2. 呼吸器疾患	547	7,731	2.266	2.070	2.480	<0.000
3. 消化器疾患	1,512	46,634	1.005	0.950	1.064	0.850
4. 肝・胆道疾患	306	8,200	1.161	1.032	1.306	0.011
5. 泌尿器疾患	329	14,114	0.712	0.636	0.797	<0.000
6. 生殖系疾患	122	4,984	0.755	0.628	0.908	0.002
7. 神経疾患	196	6,627	0.915	0.790	1.058	0.223
8. 眼の疾患	737	27,194	0.826	0.765	0.892	<0.000
9. 耳の疾患	968	49,474	0.561	0.524	0.600	<0.000
10. 歯・口腔疾患	260	8,134	0.990	0.872	1.124	0.876
11. 筋骨格系疾患	1,136	22,912	1.610	1.510	1.717	<0.000
12. 皮膚疾患	1,500	67,305	0.632	0.597	0.668	<0.000
13. 血液・免疫疾患	34	1,362	0.773	0.533	1.086	0.137
14. 内分泌疾患	153	2,941	1.622	1.372	1.917	<0.000
15. 感染症	107	2,646	1.256	1.025	1.532	0.021
16. 寄生虫症	117	4,122	0.878	0.726	1.060	0.167
17. 損傷	347	13,838	0.768	0.688	0.858	<0.000
18. 腫瘍疾患	180	12,525	0.434	0.373	0.505	<0.000
19. 症状	1,707	47,777	1.131	1.072	1.193	<0.000

対象：犬全体299,648頭(うちポメラニアン9,369頭)

## ウェルシュ・コーギー・ペンブローク

疾患名	発症頭数		オッズ比	95%信頼区間		p-Value
	ウェルシュ・コーギー・ペンブローク	対照		下限	上限	
1. 循環器疾患	80	6,133	0.414	0.328	0.517	<0.000
2. 呼吸器疾患	154	8,124	0.603	0.512	0.710	<0.000
3. 消化器疾患	1,537	46,609	1.073	1.015	1.135	0.013
4. 肝・胆道疾患	241	8,265	0.936	0.820	1.068	0.320
5. 泌尿器疾患	803	13,640	1.981	1.838	2.136	<0.000
6. 生殖系疾患	205	4,901	1.354	1.172	1.563	<0.000
7. 神経疾患	189	6,634	0.915	0.788	1.061	0.232
8. 眼の疾患	766	27,165	0.898	0.833	0.969	0.005
9. 耳の疾患	1,072	49,370	0.658	0.616	0.702	<0.000
10. 歯・口腔疾患	279	8,115	1.109	0.981	1.255	0.093
11. 筋骨格系疾患	874	23,174	1.236	1.151	1.328	<0.000
12. 皮膚疾患	2,204	66,601	1.085	1.033	1.140	0.001
13. 血液・免疫疾患	82	1,314	2.017	1.592	2.525	<0.000
14. 内分泌疾患	100	2,994	1.075	0.871	1.320	0.478
15. 感染症	68	2,685	0.813	0.629	1.036	0.093
16. 寄生虫症	139	4,100	1.092	0.917	1.299	0.311
17. 損傷	535	13,650	1.277	1.167	1.398	<0.000
18. 腫瘍疾患	636	12,069	1.748	1.608	1.900	<0.000
19. 症状	1,618	47,866	1.106	1.047	1.169	<0.000

対象：犬全体299,648頭(うちウェルシュ・コーギー・ペンブローク9,034頭)

## パピヨン

疾患名	発症頭数		オッズ比	95%信頼区間		p-Value
	パピヨン	対照		下限	上限	
1. 循環器疾患	171	6,042	0.915	0.783	1.070	0.258
2. 呼吸器疾患	215	8,063	0.860	0.748	0.989	0.032
3. 消化器疾患	1,448	46,698	1.005	0.949	1.065	0.855
4. 肝・胆道疾患	384	8,122	1.555	1.399	1.729	<0.000
5. 泌尿器疾患	494	13,949	1.156	1.053	1.269	0.002
6. 生殖系疾患	143	4,963	0.932	0.786	1.106	0.412
7. 神経疾患	171	6,652	0.829	0.709	0.970	0.017
8. 眼の疾患	788	27,143	0.935	0.867	1.007	0.074
9. 耳の疾患	721	49,721	0.423	0.392	0.458	<0.000
10. 歯・口腔疾患	345	8,049	1.404	1.256	1.569	<0.000
11. 筋骨格系疾患	912	23,136	1.308	1.219	1.404	<0.000
12. 皮膚疾患	1,354	67,451	0.588	0.554	0.624	<0.000
13. 血液・免疫疾患	42	1,354	1.005	0.720	1.367	0.975
14. 内分泌疾患	74	3,020	0.792	0.620	0.999	0.048
15. 感染症	50	2,703	0.597	0.442	0.790	<0.000
16. 寄生虫症	88	4,151	0.684	0.547	0.845	<0.000
17. 損傷	372	13,813	0.867	0.779	0.964	0.008
18. 腫瘍疾患	217	12,488	0.552	0.481	0.634	<0.000
19. 症状	1,554	47,930	1.061	1.003	1.122	0.037

対象：犬全体299,648頭(うちパピヨン8,973頭)

## シー・ズー

疾患名	発症頭数		オッズ比	95%信頼区間		p-Value
	シー・ズー	対照		下限	上限	
1. 循環器疾患	569	5,644	3.756	3.432	4.110	<0.000
2. 呼吸器疾患	236	8,042	1.039	0.909	1.187	0.569
3. 消化器疾患	1,386	46,760	1.058	0.997	1.122	0.059
4. 肝・胆道疾患	418	8,088	1.872	1.690	2.073	<0.000
5. 泌尿器疾患	705	13,738	1.891	1.746	2.048	<0.000
6. 生殖系疾患	164	4,942	1.177	1.003	1.381	0.042
7. 神経疾患	135	6,688	0.709	0.595	0.845	<0.000
8. 眼の疾患	2,265	25,666	3.925	3.732	4.128	<0.000
9. 耳の疾患	2,209	48,233	1.847	1.757	1.941	<0.000
10. 歯・口腔疾患	143	8,251	0.606	0.511	0.718	<0.000
11. 筋骨格系疾患	337	23,711	0.481	0.431	0.538	<0.000
12. 皮膚疾患	3,191	65,614	2.175	2.078	2.276	<0.000
13. 血液・免疫疾患	50	1,346	1.316	0.971	1.746	0.057
14. 内分泌疾患	170	2,924	2.078	1.772	2.437	<0.000
15. 感染症	129	2,624	1.750	1.459	2.099	<0.000
16. 寄生虫症	158	4,081	1.376	1.168	1.621	<0.000
17. 損傷	365	13,820	0.931	0.836	1.037	0.187
18. 腫瘍疾患	619	12,086	1.877	1.724	2.043	<0.000
19. 症状	1,457	48,027	1.089	1.027	1.153	0.004

対象：犬全体299,648頭(うちシー・ズー8,240頭)

## ミニチュア・シュナウザー

疾患名	発症頭数		オッズ比	95%信頼区間		p-Value
	ミニチュア・シュナウザー	対照		下限	上限	
1. 循環器疾患	187	6,026	1.116	0.961	1.297	0.143
2. 呼吸器疾患	130	8,148	0.566	0.473	0.676	<0.000
3. 消化器疾患	1,235	46,911	0.935	0.879	0.994	0.031
4. 肝・胆道疾患	357	8,149	1.598	1.432	1.784	<0.000
5. 泌尿器疾患	736	13,707	2.019	1.867	2.184	<0.000
6. 生殖系疾患	150	4,956	1.088	0.920	1.285	0.315
7. 神経疾患	167	6,656	0.898	0.767	1.052	0.175
8. 眼の疾患	584	27,347	0.748	0.687	0.815	<0.000
9. 耳の疾患	1,437	49,005	1.063	1.003	1.127	0.037
10. 歯・口腔疾患	206	8,188	0.900	0.781	1.038	0.141
11. 筋骨格系疾患	308	23,740	0.444	0.396	0.499	<0.000
12. 皮膚疾患	2,245	66,560	1.291	1.228	1.356	<0.000
13. 血液・免疫疾患	42	1,354	1.114	0.798	1.515	0.493
14. 内分泌疾患	124	2,970	1.506	1.251	1.811	<0.000
15. 感染症	55	2,698	0.730	0.548	0.954	0.021
16. 寄生虫症	98	4,141	0.847	0.686	1.041	0.107
17. 損傷	373	13,812	0.968	0.870	1.076	0.540
18. 腫瘍疾患	490	12,215	1.468	1.336	1.613	<0.000
19. 症状	1,228	48,256	0.898	0.844	0.955	0.001

対象：犬全体299,648頭(うちミニチュア・シュナウザー8,124頭)

## フレンチ・ブルドッグ

疾患名	発症頭数		オッズ比	95%信頼区間		p-Value
	フレンチ・ブルドッグ	対照		下限	上限	
1. 循環器疾患	52	6,161	0.358	0.267	0.471	<0.000
2. 呼吸器疾患	241	8,037	1.301	1.139	1.485	<0.000
3. 消化器疾患	1,490	46,656	1.479	1.395	1.569	<0.000
4. 肝・胆道疾患	148	8,358	0.757	0.640	0.895	0.001
5. 泌尿器疾患	465	13,978	1.463	1.328	1.612	<0.000
6. 生殖系疾患	172	4,934	1.513	1.293	1.770	<0.000
7. 神経疾患	266	6,557	1.776	1.564	2.016	<0.000
8. 眼の疾患	912	27,019	1.523	1.418	1.635	<0.000
9. 耳の疾患	2,138	48,304	2.319	2.201	2.444	<0.000
10. 歯・口腔疾患	83	8,311	0.423	0.336	0.525	<0.000
11. 筋骨格系疾患	719	23,329	1.365	1.261	1.477	<0.000
12. 皮膚疾患	3,721	65,084	4.222	4.021	4.434	<0.000
13. 血液・免疫疾患	23	1,373	0.720	0.455	1.086	0.117
14. 内分泌疾患	43	3,051	0.466	0.337	0.630	<0.000
15. 感染症	155	2,598	2.604	2.203	3.077	<0.000
16. 寄生虫症	144	4,095	1.524	1.284	1.809	<0.000
17. 損傷	506	13,679	1.639	1.493	1.800	<0.000
18. 腫瘍疾患	421	12,284	1.506	1.361	1.667	<0.000
19. 症状	1,357	48,127	1.267	1.192	1.346	<0.000

対象：犬全体299,648頭(うちフレンチ・ブルドッグ6,805頭)



## 疾患(大分類単位)別のオッズ比(犬、品種別)

2011年4月1日～2012年3月31日までの間に、アニコム損保の保険契約で満期を迎えた犬299,648頭(全年齢、全犬種)を対象に、疾患別に当該犬種と対照群に分け、各群の発症頭数およびほかの犬種に対する当該犬種のオッズ比とオッズ比の95%信頼区間、P値を示した。

## ラブラドル・レトリバー

疾患名	発症頭数		オッズ比	95%信頼区間		p-Value
	ラブラドル・レトリバー	対照		下限	上限	
1. 循環器疾患	123	6,090	0.921	0.765	1.107	0.369
2. 呼吸器疾患	164	8,114	0.921	0.785	1.080	0.302
3. 消化器疾患	1,043	47,103	1.013	0.947	1.084	0.702
4. 肝・胆道疾患	192	8,314	1.056	0.911	1.224	0.461
5. 泌尿器疾患	480	13,963	1.616	1.468	1.778	<0.000
6. 生殖系疾患	126	4,980	1.158	0.965	1.390	0.106
7. 神経疾患	175	6,648	1.208	1.034	1.410	0.015
8. 眼の疾患	377	27,554	0.601	0.541	0.669	<0.000
9. 耳の疾患	1,759	48,683	1.895	1.791	2.004	<0.000
10. 歯・口腔疾患	145	8,249	0.798	0.673	0.945	0.008
11. 筋骨格系疾患	650	23,398	1.299	1.195	1.411	<0.000
12. 皮膚疾患	1,772	67,033	1.286	1.216	1.360	<0.000
13. 血液・免疫疾患	48	1,348	1.631	1.195	2.177	0.001
14. 内分泌疾患	115	2,979	1.777	1.460	2.152	<0.000
15. 感染症	59	2,694	1.000	0.758	1.296	1.000
16. 寄生虫症	71	4,168	0.775	0.604	0.982	0.034
17. 損傷	389	13,796	1.306	1.175	1.451	<0.000
18. 腫瘍疾患	784	11,921	3.281	3.036	3.546	<0.000
19. 症状	1,175	48,309	1.135	1.064	1.211	<0.000

対象：犬全体299,648頭(うちラブラドル・レトリバー 6,422頭)

## キャバリア・キング・チャールズ・スパニエル

疾患名	発症頭数		オッズ比	95%信頼区間		p-Value
	キャバリア・キング・チャールズ・スパニエル	対照		下限	上限	
1. 循環器疾患	779	5,434	8.327	7.680	9.030	<0.000
2. 呼吸器疾患	138	8,140	0.864	0.726	1.028	0.092
3. 消化器疾患	1,156	46,990	1.324	1.239	1.414	<0.000
4. 肝・胆道疾患	145	8,361	0.884	0.746	1.048	0.147
5. 泌尿器疾患	351	14,092	1.292	1.156	1.443	<0.000
6. 生殖系疾患	136	4,970	1.410	1.182	1.680	<0.000
7. 神経疾患	187	6,636	1.456	1.253	1.693	<0.000
8. 眼の疾患	1,089	26,842	2.327	2.175	2.490	<0.000
9. 耳の疾患	1,547	48,895	1.847	1.740	1.960	<0.000
10. 歯・口腔疾患	210	8,184	1.325	1.149	1.526	<0.000
11. 筋骨格系疾患	583	23,465	1.302	1.192	1.421	<0.000
12. 皮膚疾患	1,584	67,221	1.284	1.210	1.362	<0.000
13. 血液・免疫疾患	42	1,354	1.591	1.140	2.165	0.003
14. 内分泌疾患	57	3,037	0.960	0.724	1.249	0.760
15. 感染症	53	2,700	1.004	0.749	1.319	0.976
16. 寄生虫症	71	4,168	0.870	0.677	1.101	0.247
17. 損傷	282	13,903	1.040	0.919	1.175	0.529
18. 腫瘍疾患	226	12,479	0.923	0.806	1.058	0.245
19. 症状	1,184	48,300	1.320	1.237	1.409	<0.000

対象：犬全体299,648頭(うちキャバリア・キング・チャールズ・スパニエル5,745頭)

## ゴールデン・レトリバー

疾患名	発症頭数		オッズ比	95%信頼区間		p-Value
	ゴールデン・レトリバー	対照		下限	上限	
1. 循環器疾患	143	6,070	1.297	1.092	1.540	0.002
2. 呼吸器疾患	124	8,154	0.828	0.689	0.995	0.039
3. 消化器疾患	963	47,183	1.143	1.064	1.227	<0.000
4. 肝・胆道疾患	105	8,401	0.678	0.553	0.827	<0.000
5. 泌尿器疾患	362	14,081	1.436	1.287	1.602	<0.000
6. 生殖系疾患	112	4,994	1.232	1.011	1.495	0.030
7. 神経疾患	114	6,709	0.928	0.766	1.124	0.437
8. 眼の疾患	445	27,486	0.876	0.793	0.967	0.008
9. 耳の疾患	1,828	48,614	2.603	2.457	2.757	<0.000
10. 歯・口腔疾患	83	8,311	0.539	0.428	0.671	<0.000
11. 筋骨格系疾患	483	23,565	1.134	1.030	1.247	0.009
12. 皮膚疾患	1,934	66,871	1.910	1.805	2.022	<0.000
13. 血液・免疫疾患	33	1,363	1.327	0.909	1.875	0.108
14. 内分泌疾患	173	5,204	3.316	2.828	3.886	<0.000
15. 感染症	44	2,709	0.888	0.643	1.197	0.436
16. 寄生虫症	108	4,131	1.440	1.176	1.753	<0.000
17. 損傷	333	13,852	1.336	1.193	1.497	<0.000
18. 腫瘍疾患	723	11,982	3.660	3.374	3.970	<0.000
19. 症状	979	48,505	1.128	1.051	1.210	0.001

対象：犬全体299,648頭(うちゴールデン・レトリバー 5,377頭)

## マルチーズ

疾患名	発症頭数		オッズ比	95%信頼区間		p-Value
	マルチーズ	対照		下限	上限	
1. 循環器疾患	296	5,917	3.033	2.685	3.426	<0.000
2. 呼吸器疾患	185	8,093	1.344	1.155	1.563	<0.000
3. 消化器疾患	755	47,391	0.915	0.846	0.990	0.026
4. 肝・胆道疾患	241	8,265	1.734	1.517	1.981	<0.000
5. 泌尿器疾患	220	14,223	0.897	0.781	1.030	0.116
6. 生殖系疾患	81	5,025	0.938	0.742	1.170	0.571
7. 神経疾患	90	6,733	0.775	0.621	0.956	0.017
8. 眼の疾患	687	27,244	1.543	1.421	1.675	<0.000
9. 耳の疾患	1,256	49,186	1.649	1.545	1.759	<0.000
10. 歯・口腔疾患	174	8,220	1.241	1.062	1.450	0.005
11. 筋骨格系疾患	410	23,638	1.011	0.912	1.121	0.828
12. 皮膚疾患	1,092	67,713	0.923	0.862	0.988	0.020
13. 血液・免疫疾患	52	1,344	2.267	1.682	2.995	<0.000
14. 内分泌疾患	81	3,013	1.575	1.245	1.968	<0.000
15. 感染症	40	2,713	0.858	0.611	1.173	0.337
16. 寄生虫症	77	4,162	1.079	0.848	1.354	0.512
17. 損傷	202	13,983	0.835	0.723	0.964	0.013
18. 腫瘍疾患	157	12,548	0.720	0.612	0.848	<0.000
19. 症状	882	48,602	1.069	0.993	1.151	0.073

対象：犬全体299,648頭(うちマルチーズ5,057頭)

## パグ

疾患名	発症頭数		オッズ比	95%信頼区間		p-Value
	パグ	対照		下限	上限	
1. 循環器疾患	48	6,165	0.536	0.394	0.713	<0.000
2. 呼吸器疾患	232	8,046	2.064	1.801	2.366	<0.000
3. 消化器疾患	616	47,530	0.885	0.811	0.965	0.005
4. 肝・胆道疾患	96	8,410	0.789	0.637	0.972	0.022
5. 泌尿器疾患	438	14,005	2.311	2.088	2.558	<0.000
6. 生殖系疾患	91	5,015	1.268	1.017	1.564	0.026
7. 神経疾患	137	6,686	1.440	1.208	1.716	<0.000
8. 眼の疾患	901	27,030	2.674	2.480	2.884	<0.000
9. 耳の疾患	1,462	48,980	2.642	2.477	2.818	<0.000
10. 歯・口腔疾患	69	8,325	0.570	0.442	0.723	<0.000
11. 筋骨格系疾患	333	23,715	0.975	0.870	1.093	0.659
12. 皮膚疾患	1,888	66,917	2.734	2.571	2.908	<0.000
13. 血液・免疫疾患	25	1,371	1.270	0.818	1.886	0.236
14. 内分泌疾患	43	3,051	0.980	0.707	1.326	0.898
15. 感染症	84	2,669	2.214	1.756	2.757	<0.000
16. 寄生虫症	87	4,152	1.467	1.170	1.819	<0.000
17. 損傷	194	13,991	0.963	0.831	1.116	0.610
18. 腫瘍疾患	303	12,402	1.754	1.555	1.977	<0.000
19. 症状	737	48,747	1.063	0.980	1.152	0.136

対象：犬全体299,648頭(うちパグ4,246頭)

「傷病名一覧表」は、アニコム損保での保険金お支払い手続きや疾患統計等を目的として作成し、対応医療機関ペット保険取扱いの契約締結時にお届けしたものを、本書「家庭どうぶつ白書」の統計にも使用しております。

※「傷病名一覧表」は、20章の大分類から構成されており、それぞれの章は、さらに詳細な小分類（傷病名）によって構成されています。  
 ※傷病名については、巻末記載の文献を参考に、一般化された表現で記載しています。

## 傷病名一覧表（大分類表）

第 1 章	循環器系の疾患	CARDIOVASCULAR SYSTEM DISORDERS
第 2 章	呼吸器系の疾患	RESPIRATORY SYSTEM DISORDERS
第 3 章	消化器系の疾患	DIGESTIVE SYSTEM DISORDERS
第 4 章	肝・胆道系および膵の疾患	HEPATOBIILIARY and EXOCRINE PANCREATIC DISORDERS
第 5 章	泌尿器の疾患	URINARY TRACT DISORDERS
第 6 章	生殖器系の疾患	REPRODUCTIVE SYSTEM DISORDERS
第 7 章	神経系の疾患	NEUROMUSCULAR DISORDERS
第 8 章	眼および付属器の疾患	OPHTHALMOLOGY
第 9 章	耳の疾患	EAR DISEASES
第 10 章	歯および口腔の疾患	DENTISTRY
第 11 章	筋骨格系の疾患	ORTHOPEDICS
第 12 章	皮膚の疾患	DERMATOLOGY
第 13 章	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	HEMATOLOGY and IMMUNOLOGY
第 14 章	内分泌および代謝疾患	ENDOCRINE DISORDERS
第 15 章	感染症	INFECTIOUS DISEASES
第 16 章	寄生虫症（原虫症含む）	PARASITOSIS
第 17 章	損傷、中毒およびその他の外因の影響	INJURY
第 18 章	腫瘍疾患	ONCOLOGY
第 19 章	症状および異常検査所見で他に分類されないもの	SYMPTOM and OTHERS, UNKNOWN
第 20 章	健康診断および予防措置	CHECKUP and PREVENTION



# 傷病名一覽表

章	大分類	項	小分類
1	循環器系の疾患	1	僧帽弁閉鎖不全症・MR
		2	三尖弁閉鎖不全症・TR
		3	弁閉鎖不全症・弁膜症
		4	動脈管開存症・PDA
		5	心房中隔欠損症・ASD
		6	心室中隔欠損症・VSD
		7	右大動脈弓遺残症・PRAA
		8	大動脈狭窄症・AS
		9	肺動脈狭窄症・PS
		10	心筋炎
		11	心筋症
		12	心肥大
		13	心不全
		14	心内膜炎
		15	心タンポナーデ・心嚢水貯留
		16	血栓/塞栓症
		17	不整脈・伝導障害
		18	心停止
		19	その他の先天性心疾患
		20	その他の心疾患
		21	その他の血管の疾患
		22	その他のリンパ管およびリンパ節の疾患
		23	その他の循環器系疾患
2	呼吸器系の疾患	1	鼻炎/副鼻腔炎
		2	咽頭炎/喉頭炎/咽喉頭炎
		3	軟口蓋過長症
		4	扁桃炎
		5	気管炎/気管支炎
		6	気管虚脱
		7	鼻気管炎
		8	気管支拡張症
		9	気管支肺炎
		10	肺炎
		11	肺水腫
		12	肺気腫
		13	胸水（血胸/膿胸/乳び胸含む）
		14	気胸
		15	喘息
		16	短頭種気道症候群
		17	漏斗胸
		18	逆くしゃみ症候群・RSS
		19	感冒・カゼ
		20	その他の呼吸器系疾患
3	消化器系の疾患	1	食道炎
		2	食道狭窄・食道閉塞
		3	食道憩室
		4	巨大食道症・食道拡張症
		5	幽門狭窄・幽門閉塞

章	大分類	項	小分類		
3	消化器系の疾患	6	胃炎		
		7	胃腸炎		
		8	胃潰瘍		
		9	胃拡張胃捻転症候群		
		10	胃腸障害		
		11	腸炎		
		12	十二指腸潰瘍		
		13	タンパク喪失性腸症		
		14	大腸炎		
		15	腸重積		
		16	腸閉塞		
		17	巨大結腸症		
		18	直腸憩室		
		19	直腸脱および肛門脱		
		20	肛門嚢（腺）炎/肛門嚢（腺）破裂		
		21	肛門周囲炎/肛門周囲瘻		
		22	腹膜炎		
		23	便秘		
		24	横隔膜ヘルニア		
		25	膈ヘルニア		
		26	鼠径ヘルニア		
		27	腹膜ヘルニア		
		28	会陰ヘルニア		
		29	消化管内異物		
		30	毛球症		
		31	そ嚢炎		
		32	その他の消化器系疾患		
		4	肝・胆道および 膵の疾患	1	肝炎
				2	肝リポドーシス・脂肪肝
				3	肝膿瘍
				4	肝硬変・肝繊維症
				5	肝機能不全
6	肝性脳障害				
7	門脈シャント・門脈体循環シャント・PSS				
8	胆管炎/胆管肝炎				
9	胆石症				
10	胆泥症				
11	膵炎				
12	膵外分泌不全				
13	その他の肝・胆道系疾患				
14	その他の膵臓疾患				
5	泌尿器の疾患	1	ネフローゼ症候群（糸球体腎炎/腎アミロイドーシス含む）		
		2	腎盂腎炎		
		3	腎結石		
		4	水腎症		
		5	腎不全		
		6	膀胱炎		
		7	膀胱結石		

## 傷病名一覧表

章	大分類	項	小分類
5	泌尿器の疾患	8	尿道閉塞
		9	尿石症
		10	尿毒症
		11	異所性尿管
		12	膀胱尿管憩室
		13	猫の下部尿路疾患・FUS・FLUTD
		14	その他の泌尿器疾患
6	生殖器系の疾患	1	乳腺炎/乳房炎
		2	乳腺過形成・乳腺肥大
		3	卵巣嚢腫
		4	子宮蓄膿症
		5	子宮内膜炎
		6	子宮水腫
		7	子宮捻転
		8	膣炎
		9	膣脱/子宮脱
		10	早産
		11	流産
		12	難産/異常分娩
		13	帝王切開
		14	胎盤停滞
		15	不正出血
		16	外陰部分泌物・おりもの
		17	発情周期異常
		18	偽妊娠
		19	卵秘・卵づまり
		20	その他の雌性生殖器疾患
		21	潜在精巣
		22	精巣炎
		23	亀頭炎/包皮質
		24	陰茎の外傷
		25	包茎および嵌頓包茎
		26	前立腺炎/前立腺膿瘍
		27	前立腺嚢胞
		28	前立腺肥大
		29	その他の雄性生殖器疾患
		30	繁殖障害
		31	半陰陽
7	神経系の疾患	1	てんかん
		2	水頭症・脳水腫
		3	髄膜炎/髄膜脳炎/脳炎
		4	脳浮腫
		5	脳損傷
		6	脳疾患
		7	脊髄炎
		8	脊髄軟化症
		9	脊髄疾患（椎間板ヘルニア除く）
		10	馬尾症候群

章	大分類	項	小分類
7	神経系の疾患	11	ホルネル症候群
		12	末梢神経疾患
		13	麻痺
		14	その他の神経系疾患
8	眼および付属器の疾患	1	結膜炎/結膜浮腫
		2	角膜炎
		3	角膜潰瘍/角膜びらん
		4	乾性角結膜炎・KCS
		5	角膜ジストロフィー
		6	ブドウ膜炎（虹彩炎含む）
		7	前眼房出血
		8	白内障
		9	白内障（若年性）
		10	水晶体脱臼
		11	房水フレアー
		12	網膜炎/脈絡網膜炎
		13	網膜変性（網膜萎縮含む）/脈絡網膜変性
		14	網膜剥離
		15	緑内障
		16	瞬膜炎
		17	瞬膜腺の脱出・チェリーアイ・第三眼瞼の脱出
		18	麦粒腫・マイボーム腺炎
		19	霰粒腫・マイボーム腺腫
		20	睫毛の疾患（睫毛乱生・睫毛重生・異所性の睫毛含む）
		21	涙管閉塞
		22	眼瞼炎
		23	眼瞼外反症/眼瞼内反症
		24	目やに
		25	流涙（症状）
		26	失明（詳細不明）
		27	先天性の眼科疾患
		28	その他の眼科疾患
9	耳の疾患	1	外耳炎・外耳道炎
		2	耳血腫
		3	耳介の疾患
		4	中耳炎
		5	内耳炎
		6	前庭疾患
		7	その他の耳科疾患
10	歯および口腔の疾患	1	歯周病（歯肉炎/歯槽膿漏/歯垢/歯石含む）
		2	歯根膿瘍・根尖膿瘍
		3	不正咬合/歯過長症
		4	乳歯遺残
		5	唾液腺疾患（唾液腺炎/粘液嚢胞/がま腫含む）
		6	口内炎/舌炎
		7	口蓋裂
		8	口腔内外傷（歯折等含む）
		9	口唇炎



## 傷病名一覧表

章	大分類	項	小分類
10	歯および 口腔の疾患	10	その他の歯科疾患
		11	その他の口腔内疾患
11	筋骨格系の疾患	1	骨折（前肢）
		2	骨折（後肢）
		3	骨折（骨盤）
		4	骨折（その他）
		5	環軸関節不安定症（環軸脱臼/環軸亜脱臼含む）
		6	骨軟骨症（肘突起癒合不全/離断性骨軟骨症含む）
		7	股関節形成不全
		8	股関節脱臼/股関節亜脱臼
		9	大腿骨頭虚血性壊死・レッグペルテス病
		10	膝蓋骨脱臼/膝蓋骨亜脱臼
		11	十字靭帯損傷/十字靭帯断裂（前/後）
		12	変形性関節症・退行性関節症
		13	肥大型骨関節症（肥大型骨異栄養症/肺性骨異栄養症含む）
		14	関節炎
		15	椎間板ヘルニア
		16	椎間板脊椎炎
		17	変形性脊椎症
		18	軟骨形成不全
		19	筋炎
		20	骨髄炎
		21	汎骨炎
		22	泉門開存症
		23	その他の関節脱臼/その他の関節亜脱臼
		24	その他の関節疾患
		25	その他の骨疾患
		26	その他の筋疾患
		27	その他の筋骨格系疾患
12	皮膚の疾患	1	膿皮症
		2	毛包炎
		3	脂漏症
		4	皮膚炎（アトピー性）
		5	皮膚炎（アレルギー性）
		6	趾間皮膚炎
		7	その他の皮膚炎
		8	皮膚の化膿/皮下膿瘍/蜂窩織炎
		9	脂肪織炎
		10	角化異常
		11	好酸球性肉芽腫症候群
		12	天疱瘡
		13	アクネ・ざ創
		14	蕁麻疹
		15	湿疹
		16	爪の障害
		17	爪周囲炎
		18	肢部皮膚炎（足底潰瘍/飛節びらん含む）
		19	その他の皮膚疾患

章	大分類	項	小分類
13	血液および 造血器の疾患 ならびに免疫機 構の障害	1	貧血（免疫介在性溶血性）・IMHA
		2	その他の貧血
		3	血小板減少症（免疫介在性）・IMTP
		4	その他の血小板減少症
		5	播種性血管内凝固症候群・DIC
		6	全身性紅斑性狼瘡・SLE
		7	リンパ節炎
		8	脾捻転
		9	その他の血液疾患
		10	その他の脾臓疾患
		11	その他の免疫機構の障害
14	内分泌および 代謝疾患	1	甲状腺機能亢進症
		2	甲状腺機能低下症
		3	上皮小体機能亢進症
		4	上皮小体機能低下症
		5	副腎皮質機能亢進症・クッシング症候群
		6	副腎皮質機能低下症・アジソン病
		7	糖尿病
		8	エストロゲン過剰症
		9	下垂体機能不全
		10	尿崩症
		11	内分泌疾患による皮膚症状/内分泌疾患による脱毛
		12	その他の内分泌疾患
		13	その他の代謝疾患
15	感染症	1	犬ジステンパー・CDV
		2	犬パルボウイルス・CPV
		3	犬アデノウイルス・CAV
		4	犬ヘルペスウイルス・CHV
		5	犬パラインフルエンザ・CPIV
		6	犬コロナウイルス・CCV
		7	ケンネルコフ症候群・犬伝染性呼吸器症候群
		8	猫汎白血球減少症・FPV
		9	猫伝染性鼻気管炎・FVR
		10	猫カリシウイルス・FCV
		11	猫白血病ウイルス・FeLV
		12	猫免疫不全ウイルス・FIV
		13	猫伝染性腹膜炎・FIP
		14	猫コロナウイルス感染症
		15	アリューション病
		16	レプトスピラ症
		17	パスツレラ感染症（スナッフル含む）
		18	クラミジア症
		19	オウム病
		20	ヘモブラズマ症（ヘモバルトネラ症）
		21	クリプトコッカス症
		22	皮膚糸状菌症
		23	マラセチア症
		24	その他の感染症

## 傷病名一覧表

章	大分類	項	小分類
16	寄生虫症 (原虫症含む)	1	ジアルジア症
		2	トキソプラズマ症
		3	バベシア症
		4	コクシジウム症
		5	回虫症
		6	条虫症
		7	鞭虫症
		8	鉤虫症・十二指腸虫症
		9	糞線虫症
		10	毛細線虫症
		11	犬糸状虫症・フィラリア症
		12	疥癬・ヒゼンダニ症
		13	毛包虫症・ニキビダニ症・アカラス症
		14	耳疥癬症・ミミヒゼンダニ症
		15	ツメダニ症
		16	ノミ寄生/マダニ寄生
		17	シラミ寄生/ハジラミ寄生
		18	その他の寄生虫症
17	損傷、中毒 および その他の外因の 影響	1	アレルギー（ワクチンによる）
		2	アレルギー（詳細不明）
		3	薬疹
		4	虫さされ（ノミ/ダニ除く）
		5	熱中症
		6	熱傷
		7	咬傷
		8	打撲
		9	捻挫
		10	外傷（挫傷/擦過傷含む）
		11	交通事故
		12	事故
		13	タマネギ中毒/ネギ中毒
		14	チョコレート中毒
		15	タバコ中毒
		16	殺鼠剤（血液凝固阻止物質）中毒
		17	イベルメクチン中毒
		18	薬物中毒
		19	その他の中毒性疾患
18	腫瘍疾患	1	乳腺腫瘍/乳腺腫瘤
		2	肥満細胞腫
		3	皮膚腫瘍/皮膚腫瘤
		4	皮下腫瘍/皮下腫瘤
		5	リンパ腫
		6	脂肪腫
		7	組織球腫
		8	黒色細胞腫・メラノーマ
		9	副腎腫瘍
		10	肛門周囲腺腫
		11	血管肉腫

章	大分類	項	小分類
18	腫瘍疾患	12	エプーリス
		13	骨肉腫
		14	脳腫瘍
		15	インスリノーマ
		16	その他の腫瘍性疾患（口唇/口腔/咽頭）
		17	その他の腫瘍性疾患（消化器）
		18	その他の腫瘍性疾患（肝/胆管/膵）
		19	その他の腫瘍性疾患（呼吸器/胸腔内臓器）
		20	その他の腫瘍性疾患（骨/関節軟骨）
		21	その他の腫瘍性疾患（雌性生殖器）
		22	その他の腫瘍性疾患（雄性生殖器）
23	その他の腫瘍性疾患（泌尿器）		
24	その他の腫瘍性疾患（眼および付属器）		
25	その他の腫瘍性疾患（神経系）		
26	その他の腫瘍性疾患（内分泌）		
27	その他の腫瘍性疾患（リンパ組織/造血組織）		
28	その他の腫瘍性疾患（詳細不明）		
29	腫瘍/腫瘤/MASS/しこり		
19	症状および 異常検査所見で 他に分類されな いもの	1	発咳
		2	くしゃみ
		3	呼吸困難
		4	鼻汁（詳細不明）
		5	鼻出血
		6	流涎
		7	嚥下障害
		8	嘔吐
		9	軟便/下痢/血便
		10	嘔吐/下痢
		11	腹痛・疝痛
		12	耳の痒み（詳細不明）
		13	皮膚の痒み（詳細不明）
		14	脱毛（詳細不明）
		15	出血（詳細不明）
		16	疼痛
		17	頻尿
		18	排尿障害
		19	外陰部腫大
		20	斜頸
		21	ふるえ・振戦
		22	痙攣発作
		23	歩行異常/跛行
		24	失神および虚脱
		25	ショック症状（詳細不明）
		26	発熱（詳細不明）
		27	多飲多尿
		28	脱水（詳細不明）
		29	削瘦
		30	肥満



# 傷病名一覧表

章	大分類	項	小分類
19	症状および異常検査所見で他に分類されないもの	31	食欲不振
		32	元気喪失
		33	体調不良
		34	肝腫大
		35	脾腫（非腫瘍性）
		36	腹水
		37	黄疸（詳細不明）
		38	リンパ節腫大
		39	不整脈（詳細不明）
		40	心雑音
		41	多血症・赤血球増多症
		42	貧血（詳細不明）
		43	白血球増加症
		44	白血球減少症
		45	肝酵素上昇
		46	高血糖
		47	高脂血症
		48	高窒素血症
		49	高カルシウム血症
		50	低血糖
		51	低アルブミン血症
		52	低タンパク血症
		53	低カルシウム血症
		54	血尿/蛋白尿/低比重尿/尿の性状異常
		55	その他の症状
		56	痴呆
		57	分離不安症

章	大分類	項	小分類
20	健康診断および予防措置	1	ワクチン接種（狂犬病除く）
		2	狂犬病ワクチン
		3	フィラリア予防/フィラリア検査
		4	ノミ予防/ダニ予防
		5	避妊手術/去勢手術
		6	歯垢/歯石除去/スケーリング
		7	歯切り/歯削り
		8	乳歯抜歯/抜歯
		9	爪切り/耳そうじ/肛門腺しぼり
		10	トリミング（毛刈り含む）
		11	血液検査
		12	抗体検査/抗原検査
		13	アレルギー検査
		14	糞便検査
		15	尿検査
		16	レントゲン検査
		17	超音波検査・エコー検査
		18	心電図検査
		19	スメア検査
		20	身体検査
		21	相談・しつけ・カウンセリング
		22	その他の予防/医学的処置

参考文献：ICD-10（WHO「世界保健機構」）  
：家畜共済事故病類別表（農林水産省）

## ご注意

- 「診断的治療」を施した場合は、該当する仮診断の傷病名を選択してください。（傷病名等の詳細が不明な「症状」についてのみ「19. 症状および異常検査所見で他に分類されないもの」に分類してください。）
- 解剖学的に部位の特定ができる「損傷（外傷）」については、当該部位に関する疾患分類に分類しています。（例えば、「骨折」については「11. 筋骨格系の疾患」に分類しています。なお、「熱傷」「打撲」については「17. 損傷、中毒およびその他の外因の影響」に分類しています。）
- 感染による傷病は原則として「15. 感染症」に分類しています。（「皮膚糸状菌症」、「マラセチア症」等。）なお、例外として「膿皮症」「膿瘍（皮膚・皮下）」は「12. 皮膚の疾患」に分類しています。また、「細菌性胃腸炎」は「3. 消化器系の疾患」の「胃腸炎」に含みます。
- 「行動異常」については「19. 症状および異常検査所見で他に分類されないもの」に分類しています。
- 健康体に行った検査・措置等については「20. 健康診断および予防措置」に分類しています。
- 「先天性疾患」の分類はなく、それぞれの病態に基いた疾患分類としています。
- 本冊子には、健康診断および予防措置等、補償の対象とならない項目も記載しています。

# あとがきに代えて

～涙を減らす社会的取組みの実現に向けて～

## Postscript

### 社会獣医学の提案

9月28日は、狂犬病ワクチンを開発したパスツールの命日。毎年この日は、世界各地で「World Rabies Day」として狂犬病予防に関する啓発活動が行われている。アニコムも過去3年ほど本活動に関わらせていただいているが、その心は保険が成り立つための重要な概念である「One for all, All for one」にも、通じるところが多い。ワクチン接種により個体への感染を防ぐことは、その個体の周辺における新たな感染を防ぐことになるし（One for all）、日本全体のワクチン接種率が高まれば個々の感染リスクは当然低くなる（All for one）。つまり、個々の取組みが社会的意義に結びつくと同時に、社会的取組みが個々の安心、安全に結びつく。

しかし個々に対するアプローチのみでは対策が十分とは言いがたい獣医学的テーマは数多くある。感染症等の予防、医療分野の経済的サポート体制、災害対策、法整備などである。これらは多岐に及び、関わる人や分野も多く、手間がかかり、期間中は・長期にわたるため、下手をすると個々にとっては優先順位を下げがちになる。しかし、実は重要なテーマであることばかりであるから、うまく分業し協力するために「社会獣医学」として、まずは意識化することを提案したい。

### 共通言語としての傷病名一覧

昨年度の本書のあとがきに、「根拠に基づいた医療を行うためには、集団を対象にした学問である疫学が必要。疫学をすすめるためには、診断名やその診断ガイドラインが必要」と書いた。まさに、この共通言語づくりも、個というよりは社会全体に貢献することが役割である社会獣医学の出番であろう。

診断をつけること自体は診療の目的ではないし、(確定)診断前に治療を始めることのほうがむしろ多いと思われる。あくまでも、臨床現場で重要視されている「その疾患の一般的な発生頻度、その個体の経過、予想できるアウトカム(結果/効果)」などといった臨床診断をサポートするデータを出すための共通言語と

なる診断名が理想的である。そして、一步一步コンセンサスをとりながら全員で育てていきたいと思う。そんな想いでこのたび、保険金請求の際にご使用いただいている現在の傷病名一覧(P.66～71)の使用頻度を調査し、それらをもとにさまざまな先生方の意見を伺いつつ、来年度以降の傷病名一覧を改訂させていただくこととした。最初は慣れずにご迷惑をおかけするかもしれませんが恐縮ではあるが、改訂版での保険金請求手続きにご協力いただくことで、結果としてより質の高いデータをお返ししていきたいと考えている。そして、社会全体で知の共有が進み、さらにどうぶつ医療が質の高いものとなるスパイラルにつなげていきたい。

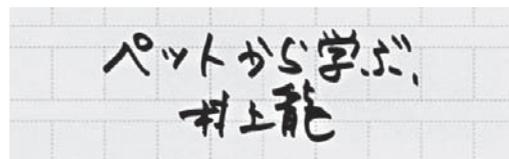
### 多様性の持つチカラ

共通言語をつくることで、それぞれの先生方の診療スタイルをさらにサポートし、どうぶつや症例の個性の理解を相対的により深めることにつながればと願う。

同様に、家庭どうぶつを対象にした医療や保険は、「相対認識を高める」という役割において、いずれはひとを対象にした医療や保険にも役に立つだろう。

2012年1月26日に放映された「カンブリア宮殿」※において、アニコムの取組みを観た同番組のMCで作家の村上龍さんは、最後に「ペットから学ぶ」という言葉を残した。

私たち人間に、温かい時間と学びを与えてくれるどうぶつたちに感謝をこめつつ。



参考:

※野口善令/福原俊一著、『誰も教えてくれなかった診断学』患者の言葉から診断仮説をどう作るか、医学書院。

※テレビ東京系列毎週木曜日よる10時放送

アニコム「家庭どうぶつ白書」制作チーム  
Team of "White Paper on Household Animals 2012" project  
島村 麻子 Asako Shimamura (Chief)  
井上 舞 Mai Inoue  
金子 真未 Masami Kaneko  
兵藤 未来 Miki Hyodo

# アニコム 家庭どうぶつ白書 ウェブサイトのご案内



## ● アニコム 家庭どうぶつ白書 ウェブサイト

<http://www.anicom-page.com/hakusho/>

- ペット保険の保険金支払データに基づいた疾患統計
- 日本全国の家庭どうぶつを網羅した対象頭数約42万頭 (2012年9月末時点) にのぼる巨大なデータベース
- その他、ペットに関する調査リリースを掲載
- 冊子「アニコム 家庭どうぶつ白書 2012」もダウンロード可

## ● 問い合わせ先

アニコム ホールディングス株式会社

経営企画部 アニコム「家庭どうぶつ白書」制作チーム

TEL: 03-5348-3911 (午前9時～午後6時)

メールアドレス: [hakusho@ani-com.com](mailto:hakusho@ani-com.com)

より皆さまのお役にたてるよう尽力してまいります

ご意見・感想をお寄せ下さい

アニコム家庭どうぶつ白書 2012

2012年11月15日 発行

発行 / アニコム ホールディングス株式会社  
〒161-0033  
東京都新宿区下落合1-5-22 アリミノビル4F  
TEL: 03-5348-3911 (午前9時～午後6時)

編集 / 株式会社アニマル・メディア社

デザイン / 株式会社ソニックバン

印刷所 / 株式会社社陵印刷

表紙写真: ©Nao Kinjo/ailead/amanaimages

©アニコムホールディングス株式会社 2012 Printed in Japan  
本書の無断複製・転載を禁じます。

アニコム

# 家庭どうぶつ白書 2012

White Paper on Household Animals 2012

